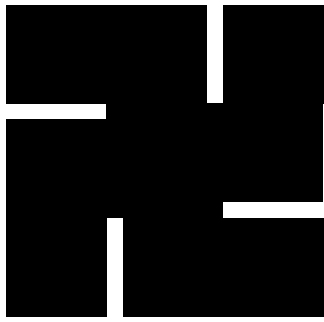


市 政 概 要

ひ ろ さ き
令 和 7 年 版



市章

卍（まんじ）は、藩政時代に津軽氏の旗印として用いられた由緒あるもので、功德・円満の意味で、吉祥万徳の相を表すといわれ、明治33年6月から旧弘前市の市章として用いられてきました。

平成18年2月27日の市町村合併に伴い、新弘前市の市章として平成18年11月15日に制定されました。

地名の由来

弘前（ひろさき）

弘前は、以前「高岡」とか「鷹岡（鷹ヶ岡）」と呼ばれていたということである。

これは、城地が高台にあることや、昔は鷹が多く生息していたというところに由来があるようである。

高岡が弘前に改称された理由は、はっきりしていない。ひとつには、北海道への海上交通の要地で、その地勢が広大なところから「広崎」と呼び、それが「弘前」になったという説や、十三岬から松前（北海道）までの海を「尾閭（びろ）」と呼び、十三岬を「尾閭ヶ崎」と呼んでいたのをとって「弘前」としたという説のほかイギリス人チェンバレンが唱えたアイヌ語に起源があるという考え方などがあるが、いずれも明らかでない。

「信枚君一代之自記」には、「弘前」という名称が用いられたのは、寛永5年（1628年）の8月20日からと記録されている。

（「弘前市史 藩政編」より）

ひろさき 市政概要

弘 前 市 民 憲 章

おやま
岩木山とお城に見守られ

春は 桜
夏は ねぶた
秋は りんご
冬は 雪

弘前 ひろさき
あずましい ふるさと

あふれる笑顔で
未来へつなごう

市 の 花 さくら

市 の 木 りんご

目次

市		勢			
1	沿			革	1
2	略	年		表	2
3	位	置	地	勢	5
4	地	目	土 地 面	積	6
5	人			口	6
6	市	民	所	得	8

議	会			
1	概	要	……	9
2	構	成	……	13
3	運	営	……	15
4	そ	の 他	……	20

総務		
1	職員数	21
2	行政機関図	22
3	歴代市長・副市長	24
4	特別職の給料	24

総 合 計 画					
1	概		要	…	25
2	計	画	の	構	成
3	将	来	都	市	像
4	後	期	基	本	計
5	後	期	基	本	計

財	政	
1	一般会計歳入歳出当初予算	… 29
2	特別会計当初予算	… 30
3	企業会計当初予算	… 30
4	一般会計歳入歳出当初予算の財源別・性質別内訳	… 31
5	財政力指数	… 33
6	地方公共団体の財政の健全化に関する法律による財政指標	… 33

広 聴 ・ 広 報				
1	広	聴	35
2	広	報	37
3	シティプロモーション		 38

生 活 ・ 環 境				
1	戸	籍	39
2	国 民 年	金	40
3	廃 棄 物 処	理	41
4	公	害	45
5	斎	場	45
6	霊	園	46
7	名	水	46
8	交 通 広	場	47
9	放 置 自 転 車 対	策	47
10	交 流 セ ン タ ー		49
11	泉 野 多 目 的 コ ミ ュ ニ テ ィ 施 設		51
12	市 民 生 活 セ ン タ ー		51

保	健						
1	国	民	健	康	保	険	…… 53
2	後	期	高	齢	者	医	療 …… 54
3	保		健		施	設	…… 55
4	健		康		診	査	…… 56
5	が		ん		検	診	…… 56
6	医	療	施	設	等	の	状 況 …… 57

福	祉	
1	社 会 福 祉 の 概 況	…… 59
2	高 齢 者 福 祉	…… 60
3	児 童 福 祉	…… 65
4	障 が い 者 福 祉	…… 68
5	生 活 保 護 の 状 況	…… 70

建		設			
1	道			路	71
2	河			川	72
3	建	築	確	認	73
4	公	営	住	宅	73
5	除	排		雪	75
6	消	流	溝	・ 流	76
				雪 溝	

都 市 計 画

1	都 市 計 画 区 域	……	77
2	都 市 計 画 道 路	……	79
3	都 市 公 園 等	……	79
4	市 街 地 開 発 事 業	……	81

農 林 業

1	農 業	……	83
2	農 業 基 盤 の 整 備	……	84
3	農 業 基 盤 の 整 備	……	87
4	農 業 基 盤 の 整 備	……	88

商 工 ・ 観 光

1	商 業	……	89
2	工 業	……	91
3	金 融	……	94
4	観 光	……	95
5	弘 前 市 立 観 光 館	……	97
6	旧 東 奥 義 塾 外 人 教 師 館	……	97
7	山 車 展 示 館	……	97
8	弘 前 公 園	……	98
9	藤 田 記 念 庭 園	……	101
10	野 外 活 動 施 設 等	……	101

教 育 ・ 文 化

1	学 校 教 育 ・ 文 化	……	103
2	社 会 教 育 ・ 文 化	……	106
3	社 会 教 育 ・ 文 化	……	119
4	学 校 給 食 財 産	……	128
5	文 化 財 産	……	129
6	総 合 学 習 セ ン タ ー	……	138

選 挙

1	選 挙 人 名 簿 登 録 者 数 の 推 移	……	141
2	市 議 会 議 員 一 般 選 挙 の 状 況	……	141
3	市 議 会 議 員 補 欠 選 挙 の 状 況	……	141
4	各 種 選 挙 の 状 況	……	142

消 防 団 ・ 防 災

1	消 防 団	……	143
2	防 災	……	144

公 営 企 業

1	水 道 事 業	……	149
2	下 水 道 事 業	……	152

広 域 行 政

1	広 域 行 政 の 概 要	……	155
2	圏 域 市 町 村 の 位 置	……	156

友 好 都 市

1	概 要	……	157
---	-----	----	-----

定 住 自 立 圏

構 想 の 推 進

1	定 住 自 立 圏 構 想 の 推 進	……	159
---	---------------------	----	-----

市 勢

1	沿				革	1			
2	略		年		表	2			
3	位	置	と	地	勢	5			
	(1)	位			置					
	(2)	気			象					
4	地	目	別	土	地	面	積	6	
5	人				口	6			
	(1)	人	口	と	世	帯	数	の	推	移
	(2)	人		口		動		態		
	(3)	産	業	別	就	業	者	数		
	(4)	年	齡	別	人	口				
6	市	民		所	得	8			

1 沿 革

弘前のまちは、戦国時代の津軽氏の台頭に始まる。

南部氏から所領（鼻和郡・旧岩木町）を与えられた大浦光信は、文亀2年（1502年）この地に大浦城を築城、五代目にあたる城主為信が津軽の統一を成し遂げ、天下統一を果たした豊臣秀吉から安堵朱印状を得て、津軽氏を称したのは天正18年（1590年）のことであり、二代藩主信枚が高岡（後の弘前）に城を築いたのは、慶長16年（1611年）のことである。

以来、明治維新までの約260年間、津軽10万石の城下町弘前は、一度も戦場となることも、また、幕命による国替えもなく、津軽の政治・経済・文化の中心となって繁栄し、現在400年余の歴史を歩んでいる。

明治4年の廃藩置県で弘前県となったが、その72日後には青森県と改称され、明治22年には全国30市とともにいち早く市制を施行し、さらに同31年には第八師団司令部が設置され、第2次大戦終了時まで軍都としての歩みを続けたが、その間の大正10年、官立弘前高等学校の設置により、学都の性格も加えられた。

終戦後の昭和24年、官立弘前高等学校と、戦災を受け青森から移転した青森師範学校及び青森医学専門学校を母体に国立弘前大学が設置され、また、幸いに戦災を免れたことにより、お山（岩木山）とお城とさくらに代表される数々の恵まれた自然環境と文化財を土台に発展の方向を文化都市に転換し、現在では、4大学、2短期大学、9高等学校を有する東北屈指の学園都市として成長を遂げている。

昭和30年から32年にかけて、地理的・歴史的に共同生活圏を形成してきた周辺12町村と合併し、米とりんごの田園都市、全国一のりんご生産圏としての大きな発展を遂げた。

さらに、昭和45年には、2市7町5村による「津軽地域広域市町村圏」を設置、平成10年2月には広域市町村圏に替わる「津軽広域連合」を設立し、新たな広域行政に取り組んできた。

そして、平成18年2月27日、歴史や文化の結びつきも深く、産業・経済や生活圏においても一体化している弘前市、岩木町及び相馬村の旧3市町村が合併し、新弘前市が誕生した。

平成23年には、周辺市町村と連携して活性化を図るため、定住自立圏の中心市宣言を行い、弘前圏域定住自立圏形成協定を締結し、事業連携を行っている。

平成31年3月には地域づくりの最上位計画である「弘前市総合計画」を策定し、現在、市民生活を第一に、市民の「くらし」を支え、市民の「いのち」を大切にし、次の時代を託す「ひと」を育てる、この3本の柱を横軸に据えて、新しい弘前づくりを全力で進めているところである。

2 略 年 表

西暦	年 号	月	事 項	西暦	年 号	月	事 項
2006	平成 18	2	新弘前市誕生	2008	平成 20	11	新たな顕彰制度(ゴールド卍賞)を創設
		4	新弘前市長に相馬鎬一氏 太宰治まなびの家開館	2009	平成 21	4	満開の桜に雪、寒さの恩恵で6日間満開 (最長記録更新)
		6	「第1回ひろさき市民花火の集い」開催			6	中心市街地14カ所を特例区域に指定
		7	高照神社が重要文化財に指定される			7	下土手町商店街振興組合、本県で唯一、 「新・がんばる商店街77選」に選出
		9	「弘前市と弘前大学の連携に関する協定 書」に調印、締結			8	県内初となる防災協力事業所登録制度に より、市内事業所10社を登録
		10	第37回日展弘前展を開催			10	「ジョッパル」閉鎖
		10	弘前公園が「日本の歴史公園100選」に 選定される				弘前自動車運転免許試験場運用開始
		11	新市章、市の花・木を制定			11	弘前城築城400年祭400日前イベント
			北海道斜里町、群馬県太田市と友好都市 提携盟約を締結	2010	平成 22	1	1月1日の24時間降雪量が40センチ (1月の観測史上最多)
			平成17年農業産出額、果樹部門で2年連 続日本一			2	弘前市歴史的風致維持向上計画が国の 認定を受ける(東北初)
			東部児童センター・千年交流センター開館			4	葛西憲之新市長が就任 (仮称)全天候型生涯スポーツレクリエー ション施設の建設計画が白紙へ
2007	平成 19	1	弘前公園が「美しい日本の歴史的風土 100選」に選定される			5	さくらまつりに261万人
		3	毎月5日を「りんごを食べる日」と条例制定			6	常陸宮妃殿下の御臨席を賜り、市民会館 などを会場に、第29回全国城下町シンポ ジウムつがる弘前大会が開催
		4	新定数34人で合併後初の議員選挙			7	津軽南地域8市町村長による「円卓会議」 開催(定住自立圏構想推進に向けた協議 参加に同意)
			大和沢、原ヶ平児童館を移転新築し開館				弘前大学医学部附属病院高度救命救急 センター稼働
		5	さくらまつり、3年連続で250万人を突破			8	弘前ねぶたまつりに84団体参加(昭和50 年以降で最多)
		7	渇水対策本部を19年ぶりに設置				新西部学校給食センター稼働により中学 校への給食開始
			市役所でクールビズ、エコ通勤デー実施				小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクト マネージャーを務めた川口淳一郎教授 に、二人目となる市民栄誉賞を授与
			弘前公園蓮池のハスが11年ぶりに復活			9	弘前城築城400年祭100日前イベント
		8	陸羯南生誕150年没後100年記念事業開催			10	弘前市アクションプラン2010公表
		9	スポレクあおもり2007、弘前市で3種目開催			12	東北新幹線が全線開業
		11	北辰学区高杉ふれあいセンター開館	2011	平成 23	1	弘前城築城400年祭オープニングイベント
		12	戸籍事務電算化始まる			3	11日、東日本大震災発生 被災地支援対策室を設置 定住自立圏構想に関する「中心市宣言」
2008	平成 20	1	弘前市総合計画、農林業計画策定			4	北児童センター開館
		2	高齢者世帯などに灯油購入費を助成			5	弘前城築城400年祭記念式典・市民交流 会開催
		3	健康ひろさき21策定			6	市民参加型まちづくり1%システム導入
		4	家庭ごみが12分別から9分別に変更				
			弘前公園の有料制度を変更				
			市立幼稚園、小・中学校敷地内全面禁煙				
			致遠児童センター開館				
		5	三省地区交流センター開館				
		7	中心市街地活性化基本計画の認定を受 ける				
			「趣のある建物」22選を公表、マップ作成				
		9	北京五輪ソフトボール日本代表監督の 齋藤春香さんに初の市民栄誉賞を授与				
		10	第1回弘前スポレク祭開催				

西暦	年 号	月	事 項	西暦	年 号	月	事 項
2011	平成 23	7	弘前マルシェ「FORET(フォーレ)」開催 東日本大震災への鎮魂と復興をテーマに ねふた特別運行	2015	平成 27	4	旧第八師団長官舎にスターバックス開店 新定数28人で初の市議会議員選挙
		8	ねふた・なぬか日スペシャル開催 弘前子ども議会を初開会			8	市庁舎本館が国登録有形文化財に登録
		9	弘前城築城400年祭ひろさき卅フェスティ バル開催	2016	平成 28	9	弘前城曳屋ウィークを開催 弘前市人口ビジョン、弘前市まち・ひと・ しごと創生総合戦略を策定
		10	Smile弘前子育てマスタープラン策定 弘前圏域定住自立圏形成協定締結 (黒石市、平川市、板柳町、大鰐町、田舎 館村、西目屋村のそれぞれ6市町村)			3	中国・武漢市と友好関係協議に関する 協定を締結
		12	弘前圏域定住自立圏形成協定締結 (藤崎町) 弘前城築城400年祭エンディングセレモ ニー開催			4	修斉小学校と草薙小学校が統合し、新 たに裾野小学校として開校
2012	平成 24	1	弘前市民憲章制定 豪雪対策本部を設置			6	市議会予算決算常任委員会のインター ネット中継スタート
		2	弘前城雪燈籠まつりへ被災者招待			7	市役所新庁舎供用開始
		3	第26回岩木山スキーマラソン大会ファイ ナル開催 弘前市アクションプラン2012公表 弘前圏域定住自立圏共生ビジョン策定			8	弘前ねふたまつり過去5年で人出最多の 168万人
		5	上海世界観光博覧会でPRブースを出展			10	ひろさき移住サポートセンター東京事務所 オープン
		7	市民課総合窓口オープン				岩木地区が「日本で最も美しい村」連合に 加盟
		9	市議会本会議のインターネット中継・会議 録検索システムスタート	2017	平成 29	12	第11回日本ファシリティマネジメント大賞の 最優秀賞に選ばれる
		10	弘前りんご博覧会2012開催			4	弘前城の石垣解体工事が本格開始
2013	平成 25	2	豪雪災害対策本部設置			5	さくらまつりに震災後最多の251万人 改修工事を終え、はるか夢球場完成
		3	相馬やすらぎ館オープン			6	県内29年ぶりのプロ野球一軍公式戦開催
		4	台湾・高雄市小中学生が教育旅行で来弘			8	創業120年津軽塗製造販売の田中屋閉店
		7	ヒロロスクエアオープン 友好都市交流30周年記念 弘前市民号が 斜里町訪問 世界最高齢でエベレスト登頂に成功した 三浦雄一郎氏に市民栄誉賞を授与	2018	平成 30	9	本庁舎改修工事終了
		8	聖愛高校甲子園初出場、ベスト16			10	津軽塗が国重要無形文化財に指定
		9	台風18号による大規模被害			4	高岡の森弘前藩歴史館オープン 弘前城情報館オープン 櫻田宏新市長が就任
2014	平成 26	1	市民会館リニューアルオープン			5	さくらまつり100周年に246万人
		3	昭和19年開設の弥生小学校閉校			7	友好都市交流35周年記念 弘前市民号が 斜里町訪問
		4	葛西憲之市長が再選			8	弘前霊園内に合葬墓が完成、運用を開始
		5	新たな総合計画「弘前市経営計画」を策定			10	国立病院機構・弘前市・青森県・弘前大学 の4者により新中核病院の整備及び運営 に係る基本協定を締結
		9	あおもり10市大祭典inひろさき開催	2019	平成 31	3	「弘前市総合計画」策定
		11	市民会館開館50周年記念「佐野ぬい氏 原画ステンドグラス」完成除幕式 市役所駐車場リニューアルオープン 市庁舎増築棟新築工事開始			4	弘前市誕生130周年を迎える ひろさき子育て世代包括支援センターを ヒロロスクエアに開設
2015	平成 27	2	佐野ぬいさん合併後初の名誉市民に		令和 元	5	平成最後、令和最初となったさくらまつり に過去2番目の多さとなる289万人 りんご公園リニューアルオープン
		4	泉野多目的コミュニティ施設がオープン			6	岩木山1625大作戦を開催
						7	市民参画センターがヒロロ内に移転

西暦	年 号	月	事 項	西暦	年 号	月	事 項
2020	令和 2	2	72時間降雪量が弘前80センチで全国1位を記録	2022	令和 4	8	弘前ねぶたまつり300年祭特別運行を実施
		4	当市を含む津軽圏域14市町村で構成された地域連携DMO「(一社) Clan PEONY 津軽」が活動を開始 新しくなった弘前市民中央広場を開放 新型コロナウイルス感染症の影響により、弘前さくらまつりが中止、弘前公園を一時的に閉鎖	2023	令和 5	4	弘前文化センターリニューアルオープン
		5	県内初となる図柄入りナンバープレート「弘前ナンバー」の交付が開始			5	内閣府から県内初のSDGs未来都市に、北東北3県初の自治体SDGsモデル事業に選定される
		6	堀越城跡ガイダンス施設が開館			6	愛媛県今治市で弘前ねぶたの特別運行を実施
		7	弘前れんが倉庫美術館がグランドオープン			7	友好都市交流40周年記念 弘前市民号が斜里町訪問
		8	弘前ねぶたまつりが中止			8	弘前で県内観測史上最高気温となる39.3度を記録
		9	弘前で観測史上最大となる1時間88ミリの降水量を記録 弘前城秋の大祭典を開催	2024	令和 6	2	2050年までに二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組む「ゼロカーボンシティひろさき」を表明
		12	東北で初、「パートナーシップ宣誓制度」を制定			3	市内で製造された清酒、ビール、果実酒、ジュース等による乾杯を推奨する「弘前市地酒等による乾杯を推奨する条例」を制定 勤労青少年ホームが閉館
2021	令和 3	4	小友小学校、三和小学校及び新和小学校が統合し、新たに新和小学校として開校 感染症対策を講じて、2年ぶりの弘前さくらまつり開催 旧第五十九銀行本店本館(青森銀行記念館)リニューアルオープン			4	ヒロロスクエアにこども家庭センターを設置
		7	大森勝山遺跡を含む北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録決定			7	旧身体障害者福祉センター跡地に障がい福祉プラザがオープン
		8	弘前ねぶたまつりが中止			12	旧弘前偕行社が市直営となりリニューアルオープン
2022	令和 4	3	国立病院機構弘前病院との再編により弘前市立病院が閉院	2025	令和 7	1	津軽地方を中心とする記録的な大雪により弘前市が災害救助法の適用を受ける
		4	新中核病院(「国立病院機構弘前総合医療センター」が開院 櫻田宏市長が再選			2	弘前で観測史上最多となる160センチの積雪を記録 大雪により再度災害救助法の適用を受ける
		5	香川県琴平町と連携し「四国金毘羅ねぶた祭り」で弘前ねぶたの運行を実施			5	広島県広島市のマツダスタジアムで弘前ねぶたの展示を実施
		8	弘前ねぶたまつりを3年ぶりに開催 線状降水帯により県内各地で河川が増水 市内リンゴ園などが被災			6	小型ビジネスジェット機「ホンダジェット」を開発した藤野道格氏を名誉市民に決定
						8	市内初の施設一体型校舎として建設した石川小・中学校等複合施設の全施設が供用を開始

3 位置と地勢

弘前市は、青森県の西南部に位置し、総面積524.20km²の内陸型地域となります。

東に奥羽山脈の八甲田連峰を望み、西に「津軽富士」と呼ばれる青森県最高峰の霊峰岩木山を有し、南には、秋田県にまたがり世界遺産に登録されている白神山地が連なり、山々に抱かれた平野部においては白神山地に源を発し、やがては十三湖を経て日本海へ注ぐ県内最大流域面積の一級河川岩木川が、約30kmにおよび緩やかに北流しています。この岩木川には平川、浅瀬石川が合流し、その流域の肥沃で広大な津軽平野では県内屈指の穀物地域を形成しています。また、平野周辺部の小高い丘陵地帯には、青森県の基幹農産物であるりんごの約4割を生産する樹園地が広がり、さらに、その地域を取りまくように山林地帯が伸び、緑豊かな自然環境に恵まれています。

(1) 位置

東 経	北 緯	東西最長	南北最長	面 積
140度09分 }	40度28分 }	37.6km	32.7km	524.20km ²
140度36分	40度45分			

(令和7年4月1日現在)

(2) 気 象

年 月	観測地点『弘 前』				観測地点『岳』
	平均気温 (℃)	降 水 量 (mm)	日 照 時 間 (h)	最深積雪 (cm)	降 水 量 (mm)
令和 3	11.3	1,201.5	1,664.0	66	1,890.5
4	11.1	1,699.5	1,783.0	112	2,610.0
5	12.3	1,239.0	1,837.6	120	1,774.0
6	12.1	1,216.5	1,705.9	31	1,500.0
1 月	0.8	127.0	56.5	23	90.0
2	0.7	97.5	56.9	24	46.5
3	2.6	87.0	109.6	31	68.0
4	11.6	29.5	224.6	0	43.5
5	15.7	34.0	212.0	0	48.0
6	20.3	63.0	236.3	0	108.0
7	24.5	173.5	156.1	0	224.0
8	25.6	110.5	151.0	0	179.0
9	21.1	40.5	216.6	0	54.0
10	14.8	87.5	160.7	0	139.5
11	7.0	123.5	93.1	8	201.0
12	0.4	243.0	32.5	84	298.5

観測地点:『弘 前』 緯度:北緯40度36.7分/経度:東経140度27.3分)

(気象庁)

観測地点:『岳』 緯度:北緯40度37.7分/経度:東経140度15.8分)

4 地目別土地面積

(単位:km²、%)

項 目	令 和 5 年		令 和 6 年		令 和 7 年	
	面 積	構成比	面 積	構成比	面 積	構成比
田	50.58	9.65	50.41	9.62	50.22	9.58
畑	103.29	19.70	102.79	19.61	102.63	19.58
宅 地	36.50	6.96	36.54	6.97	36.57	6.98
池 沼	1.79	0.34	1.79	0.34	1.79	0.34
山 林	108.94	20.78	108.95	20.78	108.96	20.79
原 野	32.70	6.24	32.91	6.28	33.12	6.32
雑 種 地	19.51	3.72	20.09	3.83	20.18	3.85
そ の 他	170.89	32.60	170.72	32.57	170.73	32.56
計	524.20	100.00	524.20	100.00	524.20	100.00

(固定資産概要調書)

(令和7年1月1日現在)

5 人 口

(1) 人口と世帯数の推移

(単位:世帯、人)

年 月 日	世 帯 数	人 口			1 世 帯 平 均 人 員
		総 数	男	女	
令和 元.10. 1 1)	72,037	170,556	78,084	92,472	2.37
2.10. 1 2)	71,022	168,466	77,251	91,215	2.37
3.10. 1 1)	71,034	166,469	76,328	90,141	2.34
4.10. 1 1)	71,155	164,292	75,359	88,933	2.31
5.10. 1 1)	71,120	161,998	74,348	87,650	2.28
6.10. 1 1)	70,948	159,497	73,087	86,410	2.25

1)推計人口(広聴広報課調べ) 2)令和2年度国勢調査

(2) 人口動態

(単位:人)

年	自 然 動 態			社 会 動 態			総増加
	出 生	死 亡	自 然 増	転 入	転 出	社 会 増	
令和元	1,005	2,440	△ 1,435	5,142	5,526	△ 384	△ 1,819
2	1,041	2,447	△ 1,406	4,687	5,014	△ 327	△ 1,733
3	939	2,610	△ 1,671	4,471	4,894	△ 423	△ 2,094
4	863	2,684	△ 1,821	4,810	5,131	△ 321	△ 2,142
5	836	2,764	△ 1,928	4,721	5,078	△ 357	△ 2,285
6	717	2,730	△ 2,013	4,472	4,929	△ 457	△ 2,470

(広聴広報課調べ)

(3) 産業別就業者数

(単位:人、%)

産業大分類	平成 27 年		令和 2 年	
	実 数	割 合	実 数	割 合
総 数	85,719	-	82,826	-
第 1 次 産 業	12,316	15.4	10,917	13.8
農 業	12,242	15.3	10,844	13.8
林 業	67	0.1	71	0.1
漁 業	7	0.0	2	0.0
第 2 次 産 業	13,579	16.9	12,995	16.5
鉱業・採石業・砂利採取業	14	0.0	14	0.0
建設業	5,334	6.7	5,068	6.4
製造業	8,231	10.3	7,913	10.0
第 3 次 産 業	54,242	67.7	54,926	69.7
電気・ガス・熱供給・水道業	365	0.5	346	0.4
情報通信業	583	0.7	641	0.8
運輸業・郵便業	2,833	3.5	2,791	3.5
卸売・小売業	12,843	16.0	12,557	15.9
金融・保険業	1,674	2.1	1,519	1.9
不動産業・物品賃貸業	893	1.1	975	1.2
学術研究、専門・技術サービス業	1,529	1.9	1,460	1.9
宿泊業・飲食サービス業	4,461	5.6	4,282	5.4
生活関連サービス業、娯楽業	2,960	3.7	2,921	3.7
教育、学習支援業	4,948	6.2	5,140	6.5
医療、福祉	12,569	15.7	13,297	16.9
複合サービス事業	848	1.1	804	1.0
サービス業	4,152	5.2	4,416	5.6
公務	3,584	4.5	3,777	4.8

注)総数には「分類不能」も含む。

(国勢調査)

注)割合には「分類不能」を除く就業者数に対する、各産業就業者数の割合を表記。

(4) 年齢別人口

(単位:人、%)

年	区 分	実 数			割 合		
		総 数	男	女	総 数	男	女
平 27	総 人 口	177,411	81,367	96,044	-	-	-
	年 少 人 口	19,410	9,961	9,449	11.0	12.3	9.9
	生産年齢人口	105,062	50,315	54,747	59.6	62.3	57.3
	老 年 人 口	51,830	20,483	31,347	29.4	25.4	32.8
令 2	総 人 口	168,466	77,251	91,215	-	-	-
	年 少 人 口	17,417	8,953	8,464	10.5	11.8	9.4
	生産年齢人口	95,115	45,946	49,169	57.1	60.2	54.5
	老 年 人 口	53,922	21,384	32,538	32.4	28.0	36.1

注)総人口には「年齢不詳」を含む。

(国勢調査)

注)割合には「年齢不詳」を含まない。

6 市民所得
 <産業別市内総生産>

(単位:百万円、%)

産業大分類	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度増加率	構成比
				令和4年度	令和4年度
第1次産業	25,337	28,369	27,306	△ 3.7	4.3
農	25,223	28,246	27,165	△ 3.8	4.4
林	113	123	141	14.6	0.0
水産業	0	0	0	-	0.0
第2次産業	78,451	77,310	81,571	5.5	12.8
鉱	248	205	230	12.2	0.0
製造業	41,981	49,883	52,646	5.5	8.4
建設業	36,221	27,222	28,695	5.4	4.6
第3次産業	511,721	522,901	528,141	1.0	82.9
電気・ガス・水道・廃棄物処理業	15,110	15,859	12,628	△ 20.4	2.0
卸売・小売業	94,716	99,693	103,251	3.6	16.5
運輸・郵便業	22,384	21,471	21,718	1.2	3.5
宿泊・飲食サービス業	9,882	8,850	11,918	34.7	1.9
情報通信業	32,632	38,080	42,160	10.7	6.8
金融・保険業	16,555	17,073	17,818	4.4	2.9
不動産業	73,618	71,480	69,281	△ 3.1	11.1
専門・科学技術、業務支援サービス業	41,553	44,324	44,957	1.4	7.2
公務	33,318	31,942	31,518	△ 1.3	5.0
教育	56,842	55,810	55,453	△ 0.6	8.9
保健衛生・社会事業	88,841	90,569	90,210	△ 0.4	14.4
その他のサービス業	26,270	27,750	27,229	△ 1.9	4.4
輸入品に課される税・関税	3,189	4,364	6,030	38.2	1.0
(控除)総資本形成に係る消費税	9,546	14,471	18,655	28.9	3.0
市内総生産	609,152	618,473	624,395	1.0	100.0

(令和4年度市町村民経済計算)

議 会

1	概	要	9
	(1) 議 組	員	数	
	(2) 組		組	
	(3) 議		員	
	(4) 議	員	簿	
	(5) 歴	正	長	
	(6) 議	報	移	
	(7) 議	出	等	
	(8) 議	・	局	
	(9) 視	各	況	
		事		
		訪		
		状		
2	構	成	13
	(1) 本	議		
	(2) 常	會		
	(3) 特	會		
	(4) 議	會		
	(5) 議	會		
	(6) 會	議		
		會		
		議		
		會		
		議		
3	運	営	15
	(1) 本	況		
	(2) 委	況		
	(3) 議	数		
	(4) 意	議		
	(5) 請	情		
	(6) 議	費		
4	そ	の	20
		他		

1 概 要

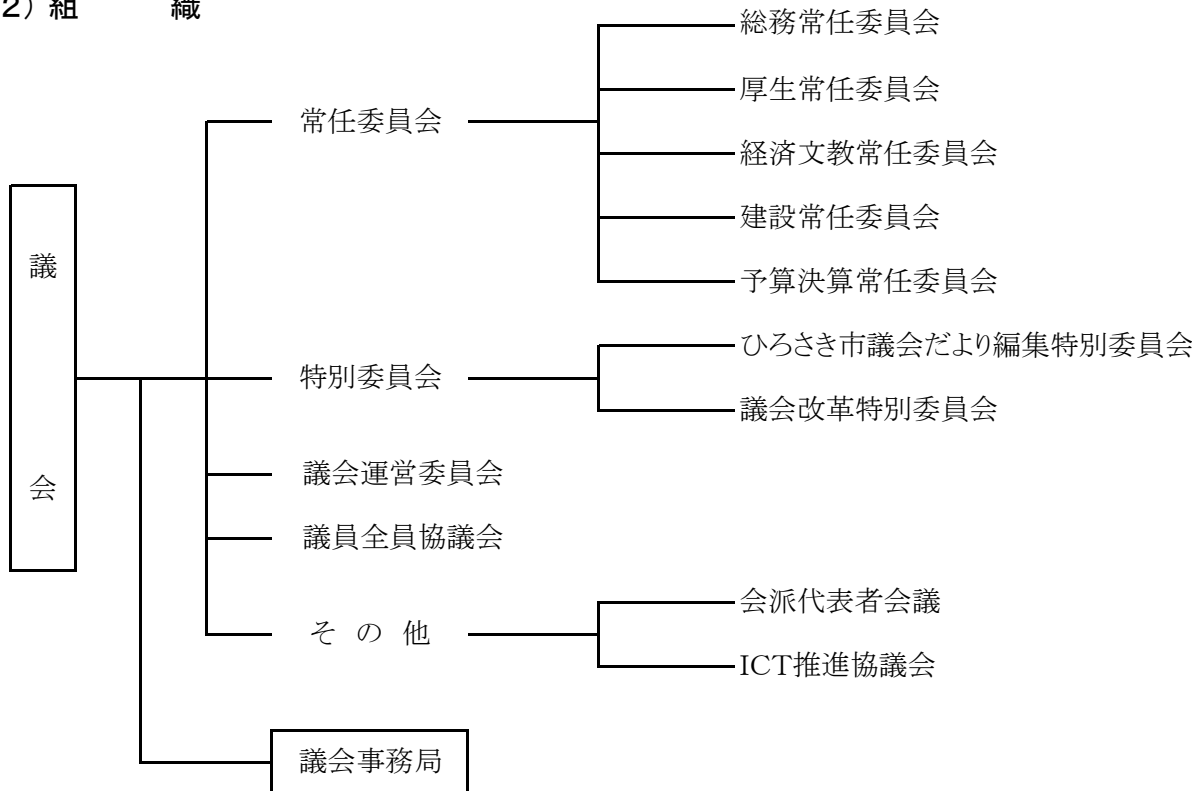
(1) 議 員 数

定数及び現員数（令和7年9月1日現在）

条例定数28人 現員数27人

（平成24年9月27日弘前市条例第34号）

(2) 組 織



(3) 議 員

会派別議員数（令和7年9月1日現在）

創和・公明	奏望会	弘前さくら未来	日本共産党	櫻鳴会	所属会派無 (りんごの会)	所属会派無 (東雲)
10	5	5	3	2	1	1

※会派とは、2名以上の議員で構成される(弘前市議会運営申し合わせ事項による)

年齢別議員数（令和7年9月1日現在）（最年長 77歳 最年少 34歳 平均 59.04歳）

25～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
0	2	6	5	7	7

当選回数別議員数（令和7年9月1日現在）

1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回
5	8	3	4	1	1	3	2

(4) 議員名簿

(令和7年9月1日現在)

議席	氏名	常任委員会	特別委員会	会派	当選回数
1	須藤 江利加	経文		日本共産党	1
2	工藤 裕介	総務	○議会だより	弘前さくら未来	1
3	志村 洋子	○厚生		創和・公明	1
4	三浦 行	厚生	議会だより	日本共産党	1
5					
6	工藤 賢生	○建設	議会改革	奏望会	1
7	竹内 博之	建設	議会改革	弘前さくら未来	2
8	樋川 篤子	○経文		弘前さくら未来	2
9	竹浪 敦	経文	◎議会だより	創和・公明	2
10	成田 大介	◎厚生		弘前さくら未来	2
11	坂本 崇	○総務		奏望会	2
12	齋藤 豪	厚生	議会だより 議会改革	奏望会	2
13	蛭名 正樹	◎建設		創和・公明	2
14	畑山 聡	総務		創和・公明	2
15	石山 敬	◎経文	議会改革	創和・公明	3
16	木村 隆洋	厚生		創和・公明	3
17	千葉 浩規	総務	議会改革	日本共産党	3
18	野村 太郎	建設	議会だより	無所属 (東雲)	4
19	外崎 勝康	◎総務	議会改革	創和・公明	4
20	尾崎 寿一			創和・公明	4
21	蒔苗 博英	建設	議会改革	創和・公明	4
22	松橋 武史	建設	議会だより ○議会改革	櫻鳴会	5

(令和7年9月1日現在)

議席	氏名	常任委員会	特別委員会	会派	当選回数
23	石岡千鶴子	厚生	議会改革	無所属 (りんごの会)	6
24	三上秋雄	経文		奏望会	7
25	佐藤哲	総務		櫻鳴会	7
26	工藤光志	建設	◎議会改革	弘前さくら未来	7
27	清野一榮	総務		創和・公明	8
28	田中元	経文		奏望会	8

◎は委員長、○は副委員長。

予算決算常任委員会の委員長、副委員長は総務常任委員会の委員長、副委員長が兼ねる。

(5) 歴代正・副議長

議長			副議長	
就任年月日	代	氏名	就任年月日	氏名
平成 18. 3 ～ 19. 4	1	町田藤一郎	平成 18. 3 ～ 19. 4	清野一榮
19. 5 ～ 23. 4	2	藤田昭	19. 5 ～ 23. 4	一戸兼一
23. 5 ～ 27. 4	3	田中元	23. 5 ～ 27. 4	藤田隆司
27. 5 ～ 31. 4	4	下山文雄	27. 5 ～ 31. 4	小山内司
令和 元. 5 ～ 5. 4	5	清野一榮	令和 元. 5 ～ 5. 4	小田桐慶二
5. 5 ～	6	尾崎寿一	5. 5 ～	工藤光志

(6) 議員報酬の推移

(単位:円)

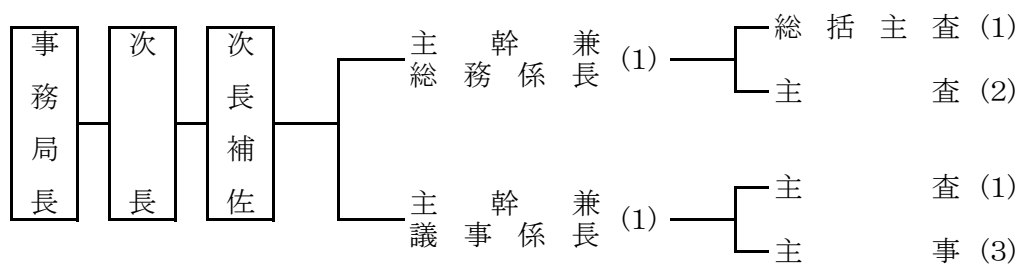
区分	平成18. 3.13 議決 平成18. 2.27 適用	平成25. 3.21 議決 平成25. 4. 1 適用	平成25. 9.27 議決 平成25.10. 1 適用	平成30. 6.29 議決 平成30. 4. 1 適用
議長	625,600	594,320	578,000	610,000
副議長	560,800	532,760	518,000	547,000
議員	530,000	503,500	490,000	517,000

(7) 議会選出各種委員等（定数）

津軽広域連合議会議員	7
弘前地区環境整備事務組合議会議員	7
弘前地区消防事務組合議会議員	6
弘前市都市計画審議会委員	4

(8) 議会事務局

定 数 12 人 現 員 12 人



※令和7年9月1日現在
 ※上記のほかに会計年度任用職員3人

(9) 視察来訪状況

年	令和2年※	令和3年※	令和4年※	令和5年	令和6年
団 体 数 (件)	0	1	15	16	28
人 数 (人)	0	9	105	119	171

※新型コロナウイルス感染症の影響により受入れを自粛

2 構 成

(1) 本 会 議

定例会の回数は、毎年4回とする。

(2) 常任委員会

名 称	定 数	所 管 事 項
総 務	7人	企画部、総務部、財務部、会計課、監査委員及び選挙管理委員会に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項
厚 生	7人 (6人)	市民生活部、福祉部及び健康こども部に関する事項
経済文教	7人 (6人)	農林部、商工部、観光部、農業委員会及び教育委員会に関する事項
建 設	7人	建設部、都市整備部及び上下水道事業に関する事項
予算決算	28人 (27人)	予算及び決算の審査に関する事項

※()内現員(令和7年9月1日現在)

(3) 特別委員会

名 称	定 数	付 託 事 件
ひろさき市議会 だより編集	6人	1. ひろさき市議会だよりの発行
議会改革	10人	1. 議会改革に関する件

(4) 議会運営委員会

名 称	定 数	所 管 事 項
議会運営委員会	9人	本会議の会期日程等、議会の運営に関する事項。議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項。議長の諮問に関する事項。

<開催状況>

(単位:回)

年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
開 会 中	8	10	12	9	11
閉 会 中	7	8	10	4	5
計	15	18	22	13	16

(5) 議員全員協議会

議決事件以外の事項について協議する。

<開催状況>

(単位:回)

年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
開 会 中	2	1	1	0	0
閉 会 中	2	2	2	3	0
計	4	3	3	3	0

(6) 会派代表者会議

各会派間の調整等を行う。

(単位:回)

年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
開 催 数	2	2	2	4	2

3 運 営

(1) 本会議開催状況

(単位: 日、人)

区 分		会 期		開催日数	会議延時間	一般質問者数	一般質問時間
令和2年	第1回定例会	2.21 ～ 3.19	28 日間	6	18時間58分	18	17時間 5分
	第1回臨時会	5.22	1 "	1	1時間18分	-	-
	第2回定例会	6. 5 ～ 6.30	26 "	5	9時間54分	10	7時間55分
	第2回臨時会	7.31	1 "	1	1時間59分	-	-
	第3回定例会	8.28 ～ 9.25	29 "	6	16時間 4分	20	15時間 6分
	第4回定例会	11.27 ～ 12.22	26 "	6	12時間48分	14	11時間10分
	計		111 日間	25	61時間 1分	62	51時間16分
令和3年	第1回定例会	2.19 ～ 3.18	28 日間	6	16時間57分	19	14時間27分
	第1回臨時会	5.21	1 "	1	1時間10分	-	-
	第2回定例会	6. 4 ～ 6.29	26 "	6	16時間38分	19	14時間48分
	第2回臨時会	8. 5	1 "	1	1時間 2分	-	-
	第3回定例会	8.27 ～ 9.24	29 "	6	15時間19分	18	14時間27分
	第4回定例会	11.26 ～ 12.21	26 "	6	18時間18分	20	14時間39分
	計		111 日間	26	69時間24分	76	58時間21分
令和4年	第1回臨時会	1.28	1 日間	1	1時間43分	-	-
	第1回定例会	2.18 ～ 3.17	28 "	6	16時間39分	18	13時間43分
	第2回臨時会	5.17	1 "	1	2時間13分	-	-
	第2回定例会	6. 3 ～ 6.28	26 "	6	18時間 9分	19	16時間23分
	第3回定例会	8.25 ～ 9.22	29 "	6	18時間54分	19	16時間54分
	第4回定例会	11.25 ～ 12.20	26 "	6	18時間 9分	19	16時間49分
	計		111 日間	26	75時間47分	75	63時間49分
令和5年	第1回臨時会	5.24	1 日間	1	1時間57分	-	-
	第1回定例会	2.17 ～ 3.16	28 "	6	18時間 1分	18	15時間23分
	第2回定例会	6. 9 ～ 7. 4	26 "	6	16時間 9分	19	14時間46分
	第3回定例会	8.25 ～ 9.22	29 "	6	19時間23分	21	17時間54分
	第4回定例会	11.24 ～ 12.19	26 "	6	20時間59分	22	18時間44分
	計		110 日間	25	76時間29分	80	66時間47分
令和6年	第1回定例会	2.16 ～ 3.14	28 日間	6	22時間39分	23	20時間48分
	第2回定例会	6. 7 ～ 7. 2	26 "	6	22時間33分	24	20時間48分
	第3回定例会	8.30 ～ 9.27	29 "	6	18時間30分	19	16時間49分
	第4回定例会	11.29 ～ 12.24	26 "	6	19時間40分	22	18時間 5分
	計		109 日間	24	83時間22分	88	76時間30分

(2) 委員会開催状況

(単位:日)

委 員 会 名	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
総 務	4	5	5	5	4
厚 生	4	5	5	6	5
経 済 文 教	4	7	6	6	6
建 設	4	4	5	6	5
予 算 決 算	10	10	10	10	10
議 会 だ より	8	9	8	9	8
りんご産業振興	4	-	-	-	
議 会 改 革	-	-	-	1	10

※組織会含む

(3) 議決事件内容別件数

(単位:件)

内 容	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
条 例 の 制 定	0	1	3	3	1
条 例 の 改 正	37	36	30	29	32
条 例 の 廃 止	2	4	0	2	1
予 算 ・ 決 算	53	47	53	52	43
工事請負契約の締結	1	5	6	1	5
市道路線の廃止・認定	1	0	2	1	2
人 事	4	7	33	3	8
専決処分の承認	7	8	4	6	6
意見書・決議	2	2	2	1	1
請 願 ・ 陳 情	1	7	2	3	2
そ の 他	7	11	16	57	20
合 計	115	128	151	158	121

(4) 意見書・決議

① 意見書

年	件 名	議決年月日	提 出 先
令和 2 年	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	2. 9.25	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣
	西十和田トンネル(仮称)早期建設を求める意見書	2.12.22	青森県知事、秋田県知事
令和 3 年	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	3. 9.24	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣
	西十和田トンネル(仮称)早期建設を求める意見書	3.12.21	青森県知事、秋田県知事
令和 4 年	西十和田トンネル(仮称)の早期建設を求める意見書	4. 9.22	青森県知事、秋田県知事
令和 5 年	西十和田トンネル(仮称)の早期建設を求める意見書	5.12.19	青森県知事、秋田県知事
令和 6 年	西十和田トンネル(仮称)の早期建設を求める意見書	6. 9.27	青森県知事、秋田県知事

② 決 議

年	件 名	議決年月日	
令和 4 年	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議	4. 3. 7	

(5) 請願・陳情 ※参考配布とした陳情書を除く

請 願

年	件 名	受 理	議 決	結 果
令和2年	国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願	2.11.19	2.12.22	不 採 択
令和3年	「学校給食の無償化」に関する請願書	3. 5.20	3. 6.29	不 採 択
	治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定について国への意見書の提出に関する請願書	3. 5.20	3. 6.29	不 採 択
	「日本政府に核兵器禁止条例の参加・調印・批准を求める」意見書の提出に関する請願	3. 5.20	3. 6.29	不 採 択
	国の責任による選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める請願	3. 5.27	3. 6.29	不 採 択
	新型コロナ禍による米危機の打開を求める請願	3. 5.27	3. 6.29	不 採 択
	再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書に関する請願書	3. 5.27	3. 6.29	不 採 択
	コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願	3.11.18	3.12.21	不 採 択
令和4年	新型コロナウイルス対策に影響されるスポーツ団体への支援に関する請願書	4. 2. 9	4. 3.17	採 択
	貴議会での加齢性難聴者の補聴器購入に公的補助制度の創設を求める決議採択の請願	4.11.17	4.12.20	不 採 択
令和5年	がん治療に伴う医療用補正具(ウィッグ等・乳房補正具)の助成に関する請願書	5. 2. 6	5. 3.16	採 択
	学校給食の無償化を求める請願	5. 6. 1	5. 7. 4	不 採 択
	再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書に関する請願書	5. 8.14	5. 9.22	不 採 択
令和6年	「健康保険証の存続を求める意見書」の採択を求める請願について	6. 5.30	6. 7. 2	不 採 択

(6) 議会費－当初予算の推移

(単位:千円)

科 目	令和4年度 予 算 額	令和5年度 予 算 額	令和6年度 予 算 額	令和7年度 予 算 額
議 会 費	424,963	434,870	436,032	436,000
報 酬	179,657	179,960	180,333	174,896
給 料	43,047	43,210	44,192	47,939
職 員 手 当 等	78,511	82,049	84,884	88,202
共 済 費	69,215	70,098	67,073	61,997
報 償 費	41	41	41	41
旅 費	18,486	20,616	21,730	26,547
交 際 費	850	850	850	850
需 用 費	7,625	8,228	6,755	6,739
役 務 費	734	981	722	792
委 託 料	5,014	5,217	5,257	5,442
使 用 料 及 び 賃 借 料	4,249	5,525	6,048	4,957
備 品 購 入 費	90	190	163	212
負担金、補助及び交付金	17,444	17,905	17,984	17,386

4 そ の 他

区 分	内 容
費 用 弁 償	<p>本会議・委員会・議員全員協議会に出席したとき</p> <p>日 当 1 日 1,500円</p> <p>鉄道賃または車賃 実費額</p> <p>(行程4km以上の場合に限る)</p>
旅 費	<p>日 当 1 日 3,000円</p> <p>宿 泊 料 甲 14,800円</p> <p>乙 13,300円</p> <p>(甲・・・市である地域、乙・・・甲以外の地域)</p> <p>議員に随行する職員の旅費は、当該職員の等級により支給する</p>
視 察 旅 費 (1 人 年 額)	<p>一般行政 170,000円</p> <p>常任委員会 170,000円</p> <p>議会運営委員会(委員改選時のみ) 170,000円</p>
海 外 行 政 視 察	凍結
政 活 動 務 費	<p>弘前市議会政務活動費の交付に関する条例 平成27年10月1日施行</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会派支給 ・四半期ごとに交付 ・按分を要する経費は対象外とする ・月額5万円/人 ・(公表)翌年7月1日から収支報告書等(領収書含む) をホームページで公開

総 務

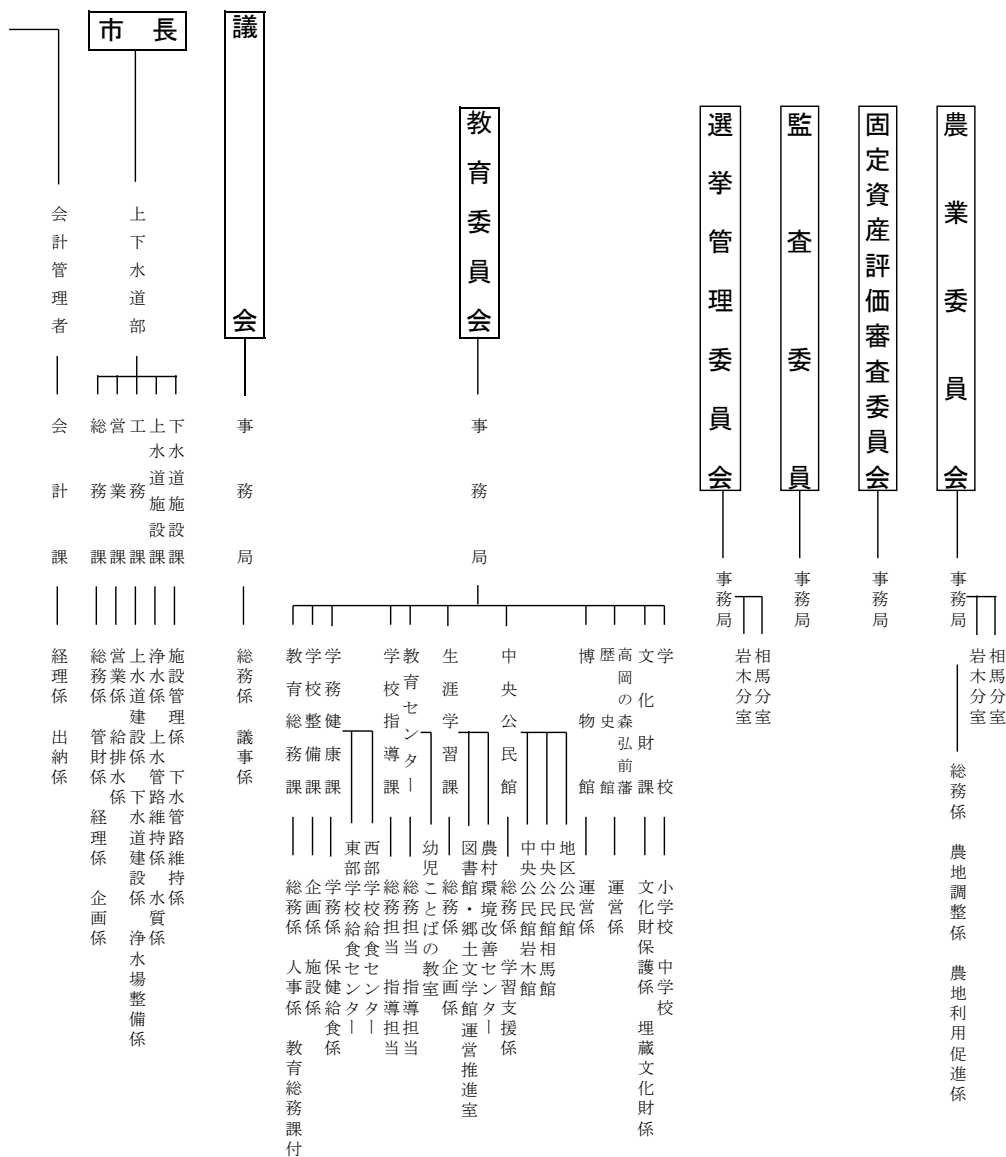
1	職 員 数	21
2	行 政 機 構 図	22
3	歴 代 市 長 ・ 副 市 長	24
	(1) 歴 代 市 長		
	(2) 歴 代 副 市 長		
4	特 別 職 の 給 料	24

1 職 員 数

(令和7年4月1日現在)

所 属	職 員 数	所 属	職 員 数
総 数	1,266	観 光 部	34
企 画 部	53	観 光 課	13
企 画 課	13	国 際 広 域 観 光 課	7
ひ と づ く り 推 進 室	3	D M O 推 進 室	4
東 京 事 務 所	3	文 化 振 興 課	8
法 務 文 書 課	6	岩 木 文 化 セ ン タ ー	併任
広 聴 広 報 課	15	建 設 部	127
健康づくりのまちなか拠点整備推進室	5	土 道 木 課	29
秘 書 課	5	道 路 維 持 課	48
総 務 部	71	雪 対 策 室	10
人 事 課	21	建 築 住 宅 課	23
総 務 部 付	2	建 築 指 導 課	16
人 事 課 付	12	都 市 整 備 部	54
契 約 課	9	都 市 計 画 課	22
検 査 室	3	地 域 交 通 課	6
防 災 課	13	公 園 緑 地 課	19
情 報 シ ス テ ム 課	10	弘 前 城 整 備 活 用 推 進 室	6
財 務 部	118	岩 木 総 合 支 所	20
財 政 課	9	総 務 課	7
管 財 課	14	民 生 課	12
公共施設マネジメント推進室	5	相 馬 総 合 支 所	14
市 民 税 課	30	総 務 課	6
資 産 税 課	24	民 生 課	7
収 納 課	35	会 計 課	10
市 民 生 活 部	112	上 下 水 道 部	95
市 民 協 働 課	13	総 務 課	20
地域コミュニティ振興室	5	営 業 課	14
市 民 参 画 セ ン タ ー	2	工 務 課	24
ひろさきボランティアセンター	兼務	上 水 道 施 設 課	21
市 民 生 活 セ ン タ ー	4	下 水 道 施 設 課	15
市 民 課	34	議 会 事 務 局	12
出 張 所	18	教 育 委 員 会	148
環 境 課	16	教 育 総 務 課	13
町 田 事 業 所	13	教 育 総 務 課 付	2
斎 場	6	学 校 整 備 課	13
福 祉 部	116	学 務 健 康 課	14
福 祉 総 務 課	12	東 部 学 校 給 食 セ ン タ ー	2
障 が い 福 祉 課	17	西 部 学 校 給 食 セ ン タ ー	2
生 活 福 祉 課	53	学 校 指 導 課	12
就 労 自 立 支 援 室	4	教 育 セ ン タ ー	9
介 護 福 祉 課	29	幼 児 こ と ば の 教 室	3
健 康 こ ど も 部	174	生 涯 学 習 課	11
こ ど も 家 庭 課	49	図 書 館 ・ 郷 土 文 学 館 運 営 推 進 室	2
少 年 相 談 セ ン タ ー	兼務	中 央 公 民 館	14
国 保 年 金 課	37	中 央 公 民 館 岩 木 館	3
健 康 増 進 課	37	中 央 公 民 館 相 馬 館	2
地 域 医 療 課	4	博 物 館	8
健康こども部スポーツ局	174のうち46	高 岡 の 森 弘 前 藩 歴 史 館	5
ス ポ ー ツ 振 興 課	10	文 化 財 課	14
国 ス ポ ・ 障 ス ポ 推 進 課	35	学 校	17
農 林 部	57	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局	7
農 政 課	23	岩 木 分 室	併任
り ん ご 課	14	相 馬 分 室	併任
農 村 整 備 課	19	監 査 委 員 会 事 務 局	6
商 工 部	24	農 業 委 員 会 事 務 局	14
商 工 労 政 課	10	岩 木 分 室	併任
産 業 育 成 課	11	相 馬 分 室	併任
産 業 用 地 整 備 推 進 室	2		





3 歴代市長・副市長

(1) 歴代市長

歴代	氏名	在職期間
1	相馬 鋁 一	平成18年4月 ～ 平成22年4月
2	葛西 憲 之	平成22年4月 ～ 平成30年4月
3	櫻田 宏	平成30年4月 ～ 現 在

(2) 歴代副市長

歴代	氏名	在職期間
1	高畑 幸	平成18年5月 ～ 平成19年10月
2	葛西 憲 之	平成19年12月 ～ 平成21年9月
3	小笠原 靖 介	平成22年5月 ～ 平成24年3月
4	蛭名 正 樹	平成24年4月 ～ 平成30年3月
5	山本 昇	平成28年4月 ～ 平成30年4月
6	鎌田 雅 人	平成30年5月 ～ 令和4年5月
7	出崎 和 夫	令和4年5月 ～ 令和6年3月
8	田中 泰 宏	令和6年4月 ～ 現 在

※ 平成28年4月1日から平成30年5月20日まで2人制

4 特別職の給料

(単位: 円)

区分	給料月額
市長	1,050,000
副市長	863,000

総 合 計 画

1	概	要	25									
2	計	画	の	構	成	25						
3	将	来	都	市	像	26						
4	後	期	基	本	計	画	の	基	本	方	針	27
5	後	期	基	本	計	画	の	構	成	28		

1 概 要

本市を取り巻く社会経済状況は、人口減少や超高齢社会の進行に伴う様々な課題、高度経済成長期に整備された多くの公共施設の老朽化、大規模自然災害の発生リスクの高まり、A I（人工知能）やI o T（モノのインターネット）等の第4次産業革命などさらに大きく変化しています。

複雑・多様化する地域課題に迅速かつ効果的に対応し、歴史、文化資源や豊かな自然環境に恵まれた、この住みよい「あずましい ふるさと」弘前市を次世代に引き継ぐため、2019（平成31）年3月に弘前市総合計画を策定しました。

この総合計画は、地域づくりの最上位計画としてまちづくりの方向性を明らかにするもので、行政運営の最も基本となる計画であり、この計画をもとに、市民との協働のもと持続可能なまちづくりを着実に進め、市民の幸せな暮らしの実現を目指しています。

2 計画の構成

計画の構成は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3層構造としています。

(1) 「基本構想」

基本構想は、将来都市像を定め長期的な展望のもと総合的かつ普遍的な市の方向性や政策の方針等を示すものです。計画期間は2040年頃の将来都市像を見据えつつ「2019年度から2026年度までの8年間」としています。

(2) 「基本計画」

基本計画は、基本構想で定めた将来都市像を実現するための具体的な施策などを示すものです。計画期間は前期4年、後期4年です。

(3) 「実施計画」

実施計画は、基本計画に示した施策に基づき具体的に実施する事業を示すものです。計画期間は基本計画と同じく前期4年、後期4年です。

3 将来都市像

みんなで創り みんなをつなぐ あずましいりんご色のまち

弘前の象徴であるりんごには品種、色、味、大きさ、形など様々あるように、弘前のまちにも、多様な人々、地域、資源があります。それらがつながり、まちに活気と活力そして愛着と誇りを生み出すことで、まちを進化・成長させていきたい、りんごのように様々な色で彩られるまちであり続けたいという思いを『りんご色』に込めています。『あずましい』は「心地よい」「安心できる」などを一言で表す、津軽の人にとって大切な言葉です。『あずましい』には、豊かさや幸福感が得られる、誰もが住みよいまちになりたいという思いを込めています。

弘前市は、市民や企業、大学、行政など「みんな」が一丸となって、地域を担う人材や新しい魅力、地域コミュニティなど新たな「ひと・もの・こと」を創り出し、先人から受け継いだ弘前の美しい自然と風格ある歴史・文化とともに「みんな」を次世代へつなぎ、『あずましき』が実感できるまちを目指します。

■将来都市像を実現するための5つの政策方針と仕組み

「将来都市像」を実現するため、「5つの政策方針」とそれを支える「仕組み」を定め、分野横断的に取り組みます。

1 将来の弘前を担う多様な人材が育つまちづくり

将来を担うひとづくりを進め、あらゆる分野において、これからの弘前を支える人材育成を推進します。



2 地域共生社会の実現に向けたまちづくり

健康的な暮らしと市民一人ひとりがお互いを尊重し、支え合う、地域コミュニティの形成に取り組みます。



3 地域資源を活かした魅力的な産業のあるまちづくり

農業、商工、観光産業の活性化などに取り組み、地域経済の活性化を推進します。



4 快適な雪国生活と安全・安心で環境にやさしいまちづくり

雪に強いまちづくりや地域防災力などの強化、防犯・交通安全対策やごみの減量化・資源化などの取組を推進します。



5 景観保全と都市基盤の整備による持続可能なまちづくり

景観資源の保全・活用や交通網の整備、空き家・空き地対策、道路の補修など快適な住環境等の整備を図ります。



仕組み

協働によるまちづくりの推進、市内大学との連携、AI（人工知能）、RPA（ロボットによる業務自動化）などの新技術の導入による市民サービスの向上や周辺市町村等との連携などにより、地域の維持・活性化を図ります。

4 後期基本計画の基本方針

基本構想に定めた将来都市像の実現に向け、子どもから高齢者まですべての市民が健康で長生きできるまちづくり、そして、それに留まらず雇用の創出と所得の向上などにより若者をはじめすべての人々がいきいきと住み続けられるまちづくりを推進する「健康都市弘前」の視点を市政の基軸に据え、後期基本計画において次のとおり基本方針を掲げ施策を展開します。

（１）市民の「いのち」を大切にする

市民一人ひとりが健康に関心を持ち、まち全体で健康増進に取り組む「ひとの健康」の実現を目指す取組を推進します。

（２）市民の「くらし」を支える

快適で豊かな住みよい生活環境が整い、地域経済が活力に溢れる、まちも自然も産業もすべてのものが元気で健康な「まちの健康」の実現を目指す取組を推進します。

（３）次の時代を託す「ひと」を育てる

地域づくりに関わる人材や様々な地域産業の担い手が育ち、地域の未来を担う多様な人材が活躍する「みらいの健康」の実現を目指す取組を推進します。

5 後期基本計画の構成

後期基本計画の構成は、将来都市像の実現に向け、重点的に取り組むものを「リーディングプロジェクト」として設定し展開していくこととします。

また、基本的・総合的な取組として「分野別政策」を位置づけ、計画の基本とします。

【後期基本計画体系図】

基本構想	将来都市像	<p>みんなで創り みんなをつなぐ あずましいりんご色のまち</p> <p>○お岩木山に お城と桜とりんご みんなに愛され 誇らしいまち</p> <p>○ひとがつながり 地域が和む 幸せ感じる あたたかいまち</p> <p>○雪とくらし 子育てしやすい 誰もが元気で住みよいまち</p> <p>○文化をつなぎ 未来を創るひとが輝き育つまち</p> <p>○豊かな実りとあふれる資源を 次へと紡ぐ 活力のあるまち</p>
	目指すまちの姿	
	将来都市像を実現するための5つの政策方針と仕組み	<p>①将来の弘前を担う多様な人材が育つまちづくり</p> <p>②地域共生社会の実現に向けたまちづくり</p> <p>③地域資源を活かした魅力的な産業のあるまちづくり</p> <p>④快適な雪国生活と安全・安心で環境にやさしいまちづくり</p> <p>⑤景観保全と都市基盤の整備による持続可能なまちづくり</p>
		<p>■協働によるまちづくりと新技術による市民サービスの向上</p>

後期基本計画	基本方針	<p>健康都市弘前の実現</p> <p>(1) 市民の「いのち」を大切にする</p> <p>(2) 市民の「くらし」を支える</p> <p>(3) 次の時代を託す「ひと」を育てる</p>
	リーディングプロジェクト	<p>(1) ひとの健康（すべての市民が健康で長生きできるまちづくり）</p> <p>(2) まちの健康（快適なくらしを送れるまちづくり）</p> <p>(3) みらいの健康（地域の未来を担うひとづくり）</p>
	分野別政策	<p>① 学び</p> <p>② 文化・スポーツ</p> <p>③ 子育て</p> <p>④ 健康・医療</p> <p>⑤ 福祉</p> <p>⑥ 雇用</p> <p>⑦ 農林業</p> <p>⑧ 商工業</p> <p>⑨ 観光</p> <p>⑩ 環境・エネルギー</p> <p>⑪ 安全・安心</p> <p>⑫ 雪対策</p> <p>⑬ 都市基盤</p> <p>⑭ 景観・文化財</p> <p>⑮ 移住・交流</p> <p>⑯ 市民協働</p>

財 政

1	一般会計歳入歳出当初予算	29
2	特別会計当初予算	30
3	企業会計当初予算	30
4	一般会計歳入歳出当初予算の 財源別・性質別内訳	31
5	財政力指数	33
6	地方公共団体の財政の健全化に 関する法律による財政指標	33

1 一般会計歳入歳出当初予算

<歳 入>

(単位:千円、%)

款 別	令和6年度		令和7年度		増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比	
歳 入 合 計	82,780,000	100.0	88,370,000	100.0	6.8
市 税	19,531,119	23.6	20,512,014	23.2	5.0
地 方 譲 与 税	580,000	0.7	572,432	0.6	△ 1.3
利 子 割 交 付 金	7,000	0.0	16,000	0.0	128.6
配 当 割 交 付 金	49,000	0.1	58,000	0.1	18.4
株式等譲渡所得割交付金	49,000	0.1	92,000	0.1	87.8
法 人 事 業 税 交 付 金	288,000	0.3	350,000	0.4	21.5
地 方 消 費 税 交 付 金	4,359,000	5.3	4,780,000	5.4	9.7
ゴルフ場利用税交付金	7,000	0.0	7,000	0.0	0.0
環 境 性 能 割 交 付 金	48,000	0.1	60,000	0.1	25.0
国有提供施設等所在市町村助成交付金	300	0.0	300	0.0	0.0
地 方 特 例 交 付 金	780,942	0.9	149,000	0.2	△ 80.9
地 方 交 付 税	20,130,000	24.3	19,840,000	22.5	△ 1.4
交通安全対策特別交付金	25,000	0.0	22,000	0.0	△ 12.0
分 担 金 及 び 負 担 金	317,871	0.4	335,243	0.4	5.5
使 用 料 及 び 手 数 料	1,118,077	1.4	1,128,409	1.3	0.9
国 庫 支 出 金	15,741,506	19.0	17,431,913	19.7	10.7
県 支 出 金	5,820,317	7.0	6,815,341	7.7	17.1
財 産 収 入	95,877	0.1	300,095	0.3	213.0
寄 附 金	1,477,807	1.8	1,641,503	1.9	11.1
繰 入 金	3,139,594	3.8	2,858,126	3.2	△ 9.0
繰 越 金	100,000	0.1	100,000	0.1	0.0
諸 収 入	2,752,090	3.3	2,526,424	2.9	△ 8.2
市 債	6,362,500	7.7	8,774,200	9.9	37.9

<歳 出>

(単位:千円、%)

款 別	令和6年度		令和7年度		増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比	
歳 出 合 計	82,780,000	100.0	88,370,000	100.0	6.8
議 会 費	436,032	0.5	436,000	0.5	0.0
総 務 費	7,688,135	9.3	12,768,865	14.4	66.1
民 生 費	34,084,976	41.2	35,462,146	40.1	4.0
衛 生 費	5,461,529	6.6	6,066,924	6.9	11.1
労 働 費	142,333	0.2	424,299	0.5	198.1
農 林 水 産 業 費	1,927,750	2.3	1,788,367	2.0	△ 7.2
商 工 費	4,245,998	5.1	4,176,164	4.7	△ 1.6
土 木 費	7,274,408	8.8	7,315,108	8.3	0.6
消 防 費	2,836,949	3.4	3,084,790	3.5	8.7
教 育 費	10,084,472	12.2	8,546,505	9.7	△ 15.3
災 害 復 旧 費	2,000	0.0	2,000	0.0	0.0
公 債 費	8,545,418	10.3	8,248,832	9.3	△ 3.5
予 備 費	50,000	0.1	50,000	0.1	0.0

2 特別会計当初予算

(単位:千円、%)

会 計 別	令和6年度	令和7年度	増 減 額	増減率
総 計	42,693,050	40,796,003	△ 1,897,047	△ 4.4
国 民 健 康 保 険	19,248,169	18,526,071	△ 722,098	△ 3.8
後 期 高 齢 者 医 療	2,588,086	2,519,108	△ 68,978	△ 2.7
介 護 保 険	20,856,795	19,750,824	△ 1,105,971	△ 5.3

3 企業会計当初予算

(単位:千円、%)

会 計 別	令和6年度	令和7年度	増 減 額	増減率
水 道 事 業 会 計				
収 益 的 収 入	4,435,111	4,685,588	250,477	5.6
〃 支 出	3,763,529	3,919,162	155,633	4.1
資 本 的 収 入	5,117,409	4,061,157	△ 1,056,252	△ 20.6
〃 支 出	8,159,197	6,716,309	△ 1,442,888	△ 17.7
下 水 道 事 業 会 計				
収 益 的 収 入	5,202,870	5,757,868	554,998	10.7
〃 支 出	5,296,140	5,300,078	3,938	0.1
資 本 的 収 入	1,910,754	2,275,770	365,016	19.1
〃 支 出	4,211,680	4,619,637	407,957	9.7

4 一般会計歳入歳出当初予算の財源別・性質別内訳

<歳 入>

(単位:千円、%)

財 源 別	令 和 6 年 度		令 和 7 年 度		増減率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	
歳 入 合 計	82,780,000	100.0	88,370,000	100.0	6.8
自 主 財 源	28,532,435	34.5	29,401,814	33.3	3.0
市 税	19,531,119	23.6	20,512,014	23.2	5.0
分 担 金 及 び 負 担 金	317,871	0.4	335,243	0.4	5.5
使 用 料 及 び 手 数 料	1,118,077	1.4	1,128,409	1.3	0.9
財 産 収 入	95,877	0.1	300,095	0.3	213.0
寄 附 金	1,477,807	1.8	1,641,503	1.9	11.1
繰 入 金	3,139,594	3.8	2,858,126	3.2	△ 9.0
繰 越 金	100,000	0.1	100,000	0.1	0.0
諸 収 入	2,752,090	3.3	2,526,424	2.9	△ 8.2
依 存 財 源	54,247,565	65.5	58,968,186	66.7	8.7
地 方 譲 与 税	580,000	0.7	572,432	0.6	△ 1.3
利 子 割 交 付 金	7,000	0.0	16,000	0.0	128.6
配 当 割 交 付 金	49,000	0.1	58,000	0.1	18.4
株式等譲渡所得割交付金	49,000	0.1	92,000	0.1	87.8
法 人 事 業 税 交 付 金	288,000	0.3	350,000	0.4	21.5
地 方 消 費 税 交 付 金	4,359,000	5.3	4,780,000	5.4	9.7
ゴルフ場利用税交付金	7,000	0.0	7,000	0.0	0.0
環 境 性 能 割 交 付 金	48,000	0.1	60,000	0.1	25.0
国有提供施設等所在市町村助成交付金	300	0.0	300	0.0	0.0
地 方 特 例 交 付 金	780,942	0.9	149,000	0.2	△ 80.9
地 方 交 付 税	20,130,000	24.3	19,840,000	22.5	△ 1.4
交通安全対策特別交付金	25,000	0.0	22,000	0.0	△ 12.0
国 庫 支 出 金	15,741,506	19.0	17,431,913	19.7	10.7
県 支 出 金	5,820,317	7.0	6,815,341	7.7	17.1
市 債	6,362,500	7.7	8,774,200	9.9	37.9

<歳 出>

(単位:千円、%)

性 質 別	令 和 6 年 度		令 和 7 年 度		増減率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	
歳 出 合 計	82,780,000	100.0	88,370,000	100.0	6.8
義 務 的 経 費	41,512,807	50.1	43,634,397	49.4	5.1
人 件 費	9,950,584	12.0	10,416,802	11.8	4.7
扶 助 費	23,016,805	27.8	24,968,763	28.3	8.5
公 債 費	8,545,418	10.3	8,248,832	9.3	△ 3.5
投 資 的 経 費	9,479,690	11.5	11,840,677	13.4	24.9
普 通 建 設 事 業 費	9,477,690	11.5	11,838,677	13.4	24.9
補 助 事 業 費	3,918,250	4.8	2,513,231	2.8	△ 35.9
単 独 事 業 費	5,559,440	6.7	9,325,446	10.6	67.7
災 害 復 旧 事 業 費	2,000	0.0	2,000	0.0	0.0
そ の 他 の 経 費	31,787,503	38.4	32,894,926	37.2	3.5
物 件 費	11,847,897	14.3	13,787,312	15.6	16.4
維 持 補 修 費	1,136,118	1.4	1,143,617	1.3	0.7
補 助 費 等	10,718,005	12.9	10,713,462	12.1	0.0
積 立 金	557,987	0.7	8,828	0.0	△ 98.4
出 資 金	684,131	0.8	691,050	0.8	1.0
貸 付 金	1,266,330	1.5	1,259,972	1.4	△ 0.5
繰 出 金	5,527,035	6.7	5,240,685	5.9	△ 5.2
予 備 費	50,000	0.1	50,000	0.1	0.0

5 財政力指数(規準財政収入額／規準財政需要額)

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0.50	0.49	0.49	0.48	0.49

※各年度に確定する過去3か年の平均

6 地方公共団体の財政の健全化に関する法律による財政指標

1 健全化判断比率	令和6年度決算 (%)	令和5年度決算 (%)	早期健全化基準 (%)	財政再生基準 (%)
実質赤字比率	—	—	11.37	20.00
連結実質赤字比率	—	—	16.37	30.00
実質公債費比率	6.9	6.9	25.00	35.00
将来負担比率	49.0	43.0	350.0	

2 資金不足比率	令和6年度決算 (%)	令和5年度決算 (%)	経営健全化基準 (%)
水道事業会計	—	—	20.0
下水道事業会計	—	—	

備考 表中の「—」は、実質赤字額、連結実質赤字額及び資金不足額がないことを表している。

広聴・広報

1	広聴	35
	(1) 市政懇談会の開催		
	(2) わたしのアイデアポスト		
	(3) 市長車座ミーティング・ 学生と市長の放課後ミーティング		
	(4) パブリックコメント制度		
	(5) アンケートの実施		
2	広報	37
	(1) 広報ひろさきの発行		
	(2) ひろさきだよりの発行		
	(3) 農業ひろさきの発行		
	(4) ひろさき市議会だよりの発行		
	(5) 新聞による広報		
	(6) ラジオによる広報		
	(7) C D - R による広報		
	(8) 市民便利帳「くらし弘前」の発行		
	(9) 市勢要覧の発行		
	(10) インターネットによる広報		
	(11) 出前講座		
3	シティプロモーション	38
	(1) SNSを活用した情報発信		
	(2) 首都圏メディアへのプレスリリース		
	(3) 100年ぶりの石垣修理・ 現存天守弘前城のブランディング		
	(4) ふるさと納税を活用した プロモーション		

1 広 聴

市民の価値観、あるいは連帯感など市民意識は社会情勢の変化に伴い、著しく変化してきています。このような中で、市政を住民自治の原則に立ち民主的に運営するため、本市では、市政に対する市民の意見や要望などを聞き、これを市政に反映させるよう絶えず努めています。

(1) 市政懇談会の開催

全市26地区を3つに分け、毎年8～9地区で開催

主催 弘前市町会連合会

<案件処理状況>

(単位:件)

年 度	解 決 処 理 済	要 望 に 沿 える も の	要 望 に 沿 えない も の	検 討 を 要 する も の	苦 情・意 見 等	計
令和 3	26	19	11	12	8	76
4	31	14	12	10	7	74
5	79	21	27	20	26	173
6	59	12	11	14	17	113

※令和3年度、4年度は書面による開催のため当日の意見なし

(広聴広報課調べ)

(2) わたしのアイデアポスト

広く市民からの意見を聴くため、市庁舎をはじめ、市内11カ所にポストを設置しています。

また、インターネットや郵送・ファクスで提案することもできます。

(令和6年度提案件数 98 件)

(3) 市長車座ミーティング・学生と市長の放課後ミーティング

市長と市民が市政に関して直接意見交換を行うことにより、市民との情報共有を促進し、市政に関する理解を深めてもらい、市民参画・市民との協働のための土台づくり及び市民の声に応える開かれた市政づくりを推進することを目的に平成22年度から実施しています。

(学生と市長の放課後ミーティングは平成26年度より実施。)

<令和7年度 実施状況>

NO	名 称『 テ ー マ 』	参加人数
1	第1回市長車座ミーティング 「子どもの健康と子どもの地域共生について」 「教育や福祉、子どもを取り巻く地域社会のあり方について」	9人

(4) パブリックコメント制度

市の基本的な政策等の策定過程における公正の確保と透明性の向上を図るとともに、市民の積極的な市政への参画を促進し、市民と行政との協働のまちづくりの実現に資することを目的に「弘前市パブリックコメント制度実施要綱」を平成21年4月28日に制定しました。

＜令和6年度パブリックコメント制度実施状況＞

募集対象項目	募集期間	意見等の提出件数	政策案の修正件数
弘前市雪対策総合プラン（改訂案）	令和6年5月1日～ 令和6年5月31日	0	0
弘前市上下水道ビジョン（案）	令和6年5月17日～ 令和6年6月14日	0	0
弘前市宿泊税制度（素案）	令和6年10月7日～ 令和6年10月31日	9	1
津軽広域連合広域計画（案）	令和6年12月2日～ 令和7年1月6日	0	0
弘前市宿泊税条例（案）	令和6年12月10日～ 令和7年1月6日	2	0
弘前市子ども・子育て支援事業計画（素案）	令和6年12月26日～ 令和7年1月20日	1	1
弘前市温暖化防止率先行動計画（地方公共団体実行計画・区域施策編）（案）	令和7年2月3日～ 令和7年2月28日	1	0

(5) アンケートの実施 調査回数 毎年1回

効率的な市政運営を行うため、市の取り組みの成果・満足度等を調査し、今後の施策の基礎資料として活用することを目的として実施しています。

＜実施の状況＞

年 度	アンケート名称	調査項目数	調査対象者	回答者数	回収率(%)
令和 3	市民意識アンケート	59	2,460	1,986	80.7
4		61	2,580	2,057	79.7
5		59	2,540	1,965	77.4
6		59	2,520	1,883	74.7

2 広 報

市政は、市民参加の下にその信頼と協力を得ながらまちづくり等の施策を進めることが基本であり、そのために広報は市の事務・事業の現状や将来の計画だけでなく、市民生活に関する必要な情報を広く周知し、市民と市政を結ぶパイプとして大きな役割を課せられています。

本市では、行政広報活動として次のものがあります。

(1) 広報ひろさきの発行

毎月1日発行号(年12回) 型式 A4判 32 ページ 発行部数 約 58,000 部
配布方法 業者委託により町会へ、町会から各世帯に配布

(2) ひろさきだよりの発行

毎月15日発行号(年12回) 型式 A4判 8 ページ 発行部数 約 8,000 部
配布方法 公共施設等に設置

(3) 農業ひろさきの発行

毎月1日 (年12回) 型式 A4判 4 ページ 発行部数 約 12,250 部
配布方法 広報ひろさきと同時に農家世帯に配布
編集発行 弘前市農業委員会

(4) ひろさき市議会だよりの発行

定例会終了後発行(年4回) 型式 A4判 8 ページ 発行部数 約 55,500 部
配布方法 広報ひろさきと同時に各世帯に配布
編集 ひろさき市議会だより編集特別委員会 発行 弘前市議会

(5) 新聞による広報

毎週1回 (年52回) 地方紙1社の紙面購入による「市政だより」の掲載

(6) ラジオによる広報

毎週月曜日～金曜日
地元コミュニティFM局より「市政みみより情報(7:30頃～)」 「行政なんでも情報(11:30頃～)」を放送

(7) CD-Rによる広報

年18回 (4月～9月:月2回、10月～3月:月1回) 視覚障がい者関係団体が作成

(8) 市民便利帳「くらし弘前」の発行

行政手続きや市の施設などを紹介した冊子を配布
A4判 140 ページ 発行部数 76,000 部(令和7年3月)

(9) 市勢要覧の発行

市勢に関する最新のデータや情報を掲載し、発行
A4判 36 ページ 発行部数 1,000 部(令和7年6月)

(10) インターネットによる広報

・ホームページ

弘前市: <https://www.city.hirosaki.aomori.jp/> ※令和6年度TOPページアクセス数 1,011,459件
シティプロモーション: https://www.city.hirosaki.aomori.jp/city_promotion/

・Facebook

弘前市: <https://www.facebook.com/hirosakicity>
シティプロモーション: <https://www.facebook.com/hirosaki.city.promo>

・X

弘前市: https://x.com/Hirosaki_City
シティプロモーション: https://x.com/hirosaki_promo

・LINE

弘前市(公式): @hirosakicp

(11) 出前講座

市政情報を積極的に市民へ提供し、市政への理解を深めてもらうことを目的に、市職員を講師として派遣しています。市が行っている行政サービスや制度・取り組み等をメニュー化し、分かりやすく説明します。

メニュー数 93 (令和7年7月現在) (令和6年度総実施回数 119回)

3 シティプロモーション

弘前の魅力の創出と掘り起こしを行い、国内外に向けて戦略的に情報発信することで、当市のブランド力・イメージ・認知度の向上を図ります。

また、弘前の魅力や資源を再発見・再認識し、市民全体で共有・発信する取り組みを進めることで、弘前に対して「誇り」と「愛着」を持つ市民を増やします。

その他、ふるさと納税制度をシティプロモーションのひとつの手段にとらえ、地域活性化を図るための財源を確保するだけでなく、ふるさと納税を通じて地域の魅力を全国に届け弘前ファンを増やします。

（１）SNSを活用した情報発信

Facebook や X、Instagram などを活用し、弘前の魅力を国内外に発信しています。

（２）首都圏メディアへのプレスリリース

プレスリリース専門会社を活用し、首都圏のマスメディアを中心に情報発信を行っています。

（３）100年ぶりの石垣修理・現存天守弘前城のブランディング

曳家の話題化を継続させるため、弘前城のPRを行っています。とくに、弘前城を含め日本に12しかない、江戸時代以前から現存する天守のある自治体等と連携してPRすることで、発信力の強化を図ります。

（４）ふるさと納税を活用したプロモーション

ふるさと納税の寄附者へ、弘前ならではの返礼品や特典を提供することにより、地域の特産品やまちの魅力を発信しています。

<主な返礼品>

りんご、りんご加工品、工芸品、地酒、体験チケット、宿泊チケット 等

<主な特典>

① さくらオーナー制度（日本一の「さくら」応援コース 限定）

さくらオーナー証の発行やさくらに関するイベントへの招待 等

② 一口城主制度（弘前城天守がお引越し！世紀の石垣大修理 ～石垣普請応援コース～ 限定）

城主証の発行や芳名板への氏名掲載等

③ ねふた絵の送付（弘前4大まつり応援コース限定）

弘前ねふたまつりの合同運行へ参加したねふたから切り取った絵（鏡絵、見送り絵、額絵、牡丹など）を送付

生活・環境

1	戸籍	39
	(1) 各種事務登録件数		
	(2) 各種事務届出件数		
	(3) 交付件数		
2	国民年金	40
	(1) 拠出制国民年金の加入状況		
	(2) 拠出制国民年金の受給状況		
	(3) 老齢福祉年金の受給状況		
3	廃棄物処理	41
	(1) ごみ処理		
	(2) し尿処理		
	(3) 河川清掃美化運動		
	(4) ごみ資源化推進運動		
4	公害	45
5	斎場	45
6	霊園	46
7	名水	46
8	交通広場	47
9	放置自転車対策	47
	(1) 弘前駅中央口駐車場		
	(2) 弘前市自転車等の放置防止に関する条例		
10	交流センター	49
	(1) 施設の概要		
	(2) 利用状況		
11	泉野多目的コミュニティ施設	51
	(1) 施設の概要		
	(2) 利用状況		
12	市民生活センター	51

1 戸 籍

(1) 各種事務登録件数

(単位:人、世帯)

区 分		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
戸 籍	本 籍 数	81,324	80,457	79,557	78,793
	本籍人口数	185,046	182,545	179,960	177,588
住 民 登 録	人 口	164,831	162,666	160,019	157,987
	男	76,073	75,088	73,828	72,880
	女	88,758	87,578	86,191	85,107
	世 帯 数	80,099	80,191	79,922	80,009
印 鑑 登 録	登 録 者 数	113,204	112,239	111,164	110,277

※平成24年7月の外国人登録法廃止で、要件を満たす外国人は住民基本台帳への記載となった。(令和7年3月31日現在)

(2) 各種事務届出件数

(単位:件)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
戸 籍	出 生	1,299	1,187	1,120	1,029
	死 亡	3,125	3,183	3,288	3,115
	婚 姻	1,387	1,267	1,336	1,304
	離 婚	363	403	352	365
	認 知	23	32	21	17
	入 籍	288	262	248	274
	転 籍	652	731	681	492
	養 子 縁 組	91	100	94	81
	養 子 離 縁	24	42	29	51
	そ の 他	474	511	497	475
	計	7,726	7,718	7,666	7,203
住 民 登 録	転 入	3,512	4,138	3,824	3,807
	転 出	3,893	4,335	4,392	3,911
	転 居	3,404	3,617	3,358	3,176
	世 帯 変 更	2,048	2,116	2,110	1,940
	計	12,857	14,206	13,684	12,834
印 鑑 登 録	登 録	5,254	5,229	5,359	4,889
	抹 消	6,258	6,205	6,462	5,797
	計	11,512	11,434	11,821	10,686

(市民課調べ)

(3) 交付件数

(単位:件)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
戸 籍	42,487	44,491	47,302	42,717
住 民 基 本 台 帳	72,209	72,188	66,937	65,056
印 鑑 登 録 証 明	38,362	37,759	38,230	36,785
印 鑑 登 録 証 明	5,202	5,170	5,313	4,853
身 分 証 明	1,789	1,722	1,506	1,411
自 動 車 臨 時 運 行 許 可	976	887	826	863
個 人 番 号 カ ー ド 等 再 交 付	71	0	0	0
そ の 他 証 明	188	240	232	205
計	161,284	162,457	160,346	151,890

注) 交付件数は無料及び免除を除いたもの。

(市民課調べ)

2 国民年金

(1) 拠出制国民年金の加入状況

(単位:人)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
強 制 加 入	20,322	20,048	19,363
任 意 加 入	224	236	259
計	20,546	20,284	19,622

(弘前年金事務所調べ)

(2) 拠出制国民年金の受給状況

(単位:人、万円)

区 分	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	受給者数	給付額	受給者数	給付額	受給者数	給付額
老 齢 年 金	620	21,724	492	17,609	404	14,936
老 齢 基 礎 年 金	52,687	3,278,215	52,730	3,360,586	52,808	3,470,713
障 害 年 金	85	7,778	77	7,174	71	6,775
障 害 基 礎 年 金	4,009	344,160	4,089	358,291	4,149	372,419
寡 婦 年 金	53	1,952	46	1,686	39	1,418
遺 族 基 礎 年 金	260	20,627	241	19,504	249	20,836
計	57,714	3,674,456	57,675	3,764,850	57,720	3,887,097

(弘前年金事務所調べ)

(3) 老齢福祉年金の受給状況

(単位:人、万円)

区 分	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	受給者数	給付額	受給者数	給付額	受給者数	給付額
老 齢 福 祉 年 金	0	0	0	0	0	0

(弘前年金事務所調べ)

3 廃棄物処理

本市における一般廃棄物の処理については、ごみの収集・運搬及び最終処分（埋立処分）は市が行い、ごみの中間処理（焼却、資源物回収）は2市3町1村からなる弘前地区環境整備事務組合が行っている。また、し尿は、これまで同組合で処理していたが、平成28年4月から津軽広域連合で処理している。

（1）ごみ処理

① ごみ排出状況

（単位：t）

区 分				令和3年度	令和4年度	令和5年度
家 庭 系 ご み	一 般 ご み	燃やせるごみ		34,247	32,956	31,437
		燃やせないごみ		1,363	1,319	1,297
		大型ごみ		2,094	2,115	2,004
		一般ごみ計		37,704	36,390	34,738
	資 源 ご み	容 器 包 装	缶	561	554	522
			びん	1,222	1,174	1,095
			紙パック	28	26	25
			ダンボール	677	675	628
			その他の紙	0	0	0
			ペットボトル	532	538	524
			容器包装計	3,020	2,967	2,794
	古紙類		1,217	1,231	1,147	
家庭系ごみ計			41,941	40,588	38,679	
事 業 系 ご み	一 般 ご み	燃やせるごみ		20,751	21,051	20,974
		燃やせないごみ		51	55	43
		大型ごみ		1,142	1,223	1,119
		一般ごみ計		21,944	22,329	22,136
	容器包装計		360	414	408	
	事業系ごみ計			22,304	22,743	22,544
公共回収量(不法投棄等)				38	46	63
資源物回収量(再生資源回収運動等)				1,088	1,102	989
総排出量				65,371	64,479	62,275

（環境課調べ）

② ごみ処理施設の概要

弘前地区環境整備センター(弘前市大字町田字筒井6番地2)

区 分	焼 却 施 設	資 源 化 施 設
処 理 能 力	246t／24h (123t／24h×2炉)	93t／5h
処 理 方 式	全連続燃焼式ストーカ炉	破碎・選別・圧縮・梱包
処 理 対 象 物	可燃ごみ	容器包装ごみ、不燃ごみ、 大型ごみ
運 転 計 画	1日24時間の連続運転	1日5時間の運転

※その他 プラザ棟(多目的ギャラリー、上映コーナー、体験学習室等)

南部清掃工場(弘前市大字小金崎字川原田54)

区 分	焼 却 施 設
処 理 能 力	140t／24h(70t／24h×2炉)
処 理 方 式	全連続燃焼式ストーカ炉
処 理 対 象 物	可燃ごみ
運 転 計 画	1日24時間の連続運転

※弘前地区環境整備センター及び南部清掃工場は、弘前地区環境整備事務組合所管

弘前市埋立処分場(弘前市大字十腰内字猿沢2397)

区 分	最 終 処 分 場
総 面 積	138,000m ² (第1区画から第3区画までの全体計画)
埋 立 面 積	第1区画：40,000m ² 第2区画：39,400m ²
埋 立 容 量	第1区画：220,000m ³ 第2区画：224,000m ³
埋 立 工 法	セル方式とサンドイッチ方式との併用方式
埋 立 期 間	第1区画：平成8年6月から供用開始 第2区画：平成30年6月から供用開始

(2) し尿処理

① し尿処理施設の概要

津軽広域クリーンセンター(弘前市大字津賀野字浅田1273)

区 分	し尿等希釈投入施設
処 理 能 力	116kl／日
処 理 方 式	来雑物除去→希釈投入方式
竣 工 年 月	平成27年9月
建 築 費	1,499,648 千円

※津軽広域連合所管

② し尿処理状況

(単位:kl)

年 度	し 尿	浄 化 槽 汚 泥	合 計
令和 2	3,784	14,154	17,938
3	3,643	14,292	17,935
4	3,566	14,140	17,706
5	3,153	14,421	17,574
6	2,973	13,373	16,346

※浄化槽汚泥処理量には、農集排汚泥を含む

(3) 河川清掃美化運動

ごみの不法投棄などで汚染された河川の自然環境や生活環境の向上を図るため、市と弘前市町会連合会が協働で河川清掃美化運動を実施している。

＜河川清掃美化運動の推移＞

(単位:団体、人、t)

年 度	清掃河川数		参 加 団 体 数			参 加 人 数			処 理 ごみ量
	春季	夏季	春 季	夏 季	計	春 季	夏 季	計	
令和 2	新型コロナウイルス感染症予防のため春・夏ともに中止								
3	天候不良のため春中止、新型コロナウイルス感染症予防のため夏中止								
4	11	6	126	70	196	3,837	1,427	5,264	17.9
5	11	6	83	73	156	2,129	1,516	3,645	10.7
6	11	6	128	72	200	3,189	1,485	4,674	10.1

(※) 雨天により中止団体あり

対象河川：岩木川、土淵川、平川、多沢川、後長根川
大和沢川、大沢川、寺沢川、前川、腰巻川、大蜂川

(4) ごみ資源化推進運動

ごみの資源化を推進するため、町会や学校ＰＴＡ等が各家庭から回収した資源ごみをリサイクル業者に引き渡す再生資源回収運動に対し、回収量に応じた報償金を支給している。

<資源ごみ回収運動実績>

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実 施 団 体 数		173	177	171	155	169
延 実 施 回 数		1,061	999	954	878	845
回 収 量 (kg)	古 紙	1,105,714	994,544	1,009,971	911,233	832,206
	せ ん い 屑	6,929	6,061	5,379	4,069	3,351
	ア ル ミ 缶	48,208	44,773	42,860	40,138	38,613
	ビ ー ル プ ラ ス チ ッ ク 箱	508	250	294	270	256
	空 ビ ン	20,293	15,495	16,201	13,018	15,025
	ペ ッ ト ボ ト ル	25,101	26,421	27,730	28,350	29,006
	計	1,206,753	1,087,544	1,102,435	997,078	918,457
回 収 団 体 収 益 (円)	回 収 金 額	4,328,253	3,508,163	4,693,183	4,289,848	3,966,686
	市 報 償 金	4,827,012	4,350,176	4,409,740	3,988,312	3,673,828
	合 計	9,155,265	7,858,339	9,102,923	8,278,160	7,640,514

<主な実施団体>

年度	町内会	婦人会	子ども会	小・中 PTA	幼稚園保育所 母の会	その他	計
令和 2	72	9	6	37	9	40	173
3	72	9	6	37	10	43	177
4	70	8	6	35	9	43	171
5	67	7	33	9	3	36	155
6	69	8	34	10	5	43	169

4 公 害

＜公害関係の苦情件数＞

(単位:件)

年 度	総 数	典 型 公 害					その他
		大気汚染	水質汚濁	騒音・振動	悪 臭	土壌汚染	
令和 2	115	8	4	0	3	0	100
3	260	0	2	0	1	0	257
4	47	0	1	0	1	0	45
5	70	0	1	0	0	0	69
6	155	1	12	7	7	0	128

5 斎 場

＜施設の概要＞

所 在 地	弘前市大字常盤坂2丁目20番地1
用 地 面 積	27,752.50 m ²
建 築 延 面 積	1,629.32 m ²
構 造 規 模	鉄筋コンクリート造平家建一部2階建
火 葬 炉	6基
動 物 炉	1基
そ の 他 設 備	エントランス・ホール、炉前ホール、収骨室、霊安室、 一般待合室、有料待合室(5室)、事務室、 駐車場(敷地内 普通車119台・大型車3台、樋の口 普通車28台)

＜斎場の利用状況＞

(単位:人、件)

年 度	火 葬 件 数							小 焼 動 物 却	胞 そ の 衣 他
	総 数	大 人		小 人		死 産 児			
		市 内	市 外	市 内	市 外	市 内	市 外		
令和 2	2,330	2,206	106	3	1	14	0	1,472	37
3	2,520	2,394	109	5	0	11	1	1,426	17
4	2,555	2,374	158	4	0	17	2	1,372	29
5	2,560	2,417	128	1	0	13	1	1,307	35
6	2,487	2,328	133	5	1	18	2	1,334	39

6 霊 園

<施設の概要>

名 称	弘前市墓地公園(冬期閉鎖:12/16～3/15)					
位 置	弘前市大字小沢字井沢43番地3					
敷 地 面 積	158,925 m ²					
着工及び竣工	昭和57年9月着工、昭和59年10月竣工					
工 事 費	10億8,470万円					
施 設 内 容	墓域、管理事務所、駐車場、貯溜池、植樹帯ほか					
造成済区画数	第1種	4 m ²	3,080 区画	第2種	6 m ²	748 区画
	合葬墓	焼骨埋蔵可能数 3,000体 (期間は50年間を予定)				
		平成30年8月1日供用開始				
永代使用料	第1種	280,000 円	(一部 300,000円)	第2種	420,000 円	
	合葬墓	60,000 円				

<分譲の状況>

(単位:区画、%)

区 分	造成済 区画数	S58～R5年度 までの分譲数	R6年度 分譲数	R6年度 返還数	計	
					分譲総区画	分譲率
第1種(4m ²)	3,080	3,053	14	35	3,032	98.4
第2種(6m ²)	748	739	1	8	732	97.9
計	3,828	3,792	15	43	3,764	98.3

(令和7年3月31日現在)

(単位:人、%)

	焼骨埋蔵可能数	R5年度 許可件数	R6年度 許可件数	計	
				許可件数	使用率
合 葬 墓	3,000	159	190	798	26.6

7 名 水

昭和60年、身近で清涼な水として古くから地域住民の生活に馴染み、良好に管理されてきたことから、「富田の清水(しつこ)」(紙漉町)が環境庁の「名水百選」に選定された。

この清水は、四代藩主信政の時代に紙すきに使われ、これが町名の由来といわれるもので、平成7年に市に寄贈され、観光名所や市民の憩いの場として親しまれている。

このほか、県指定「私たちの名水」に、御膳水(吉野町)、御茶水(石川字西ノ沢)、堂ヶ平桂清水(大沢字堂ヶ平)、清水(きよみず)観音水(桜庭字外山)、御神水(百沢字寺沢)、小杉沢の湧水(百沢字東岩木山)、羽黒神社霊水(はぐろさまのしつこ)(宮地字宮本)の7カ所が選定されている。

8 交通広場

交通広場は、幼児に対して、遊びを通して交通安全の知識とマナーを身につけさせるため、市街地北部の城北公園（1.7ha）内に、昭和54年7月、工費5,600万円、面積5,650㎡をもって開園した。

設備としては、信号機2カ所、踏切2カ所のほか、ミニS L、ミニ新幹線、ゴーカートを備えており、また、広場内の一角には、本物のD 5 1型蒸気機関車を配置して、利用者の目を楽しませている。なお、令和6年度における市内保育所等の幼児交通安全教育の実施状況は、前・後期を合わせて施設数112、延べ対象人員は2,599人となっている。

9 放置自転車対策

全国的に駅周辺の自転車等の放置が問題とされており、津軽地域の教育・文化・商業の中心地である当市でも、平成9年4月、駅前広場の地下に自転車駐車場が供用開始になったことに伴い、自転車等の放置防止条例を施行している。

現在も、通勤・通学や買い物客によるJ R弘前駅周辺での放置は無くならず、商店街の営業活動や通行に支障を来たすばかりではなく、観光都市弘前の景観を損なうことにもなるため、継続的に放置防止に努めている。

(1) 弘前駅中央口駐輪場

所在地	弘前市大字駅前町3番地
構造・面積	鉄筋コンクリート造(地下一階一層) 約 1,730 ㎡
収容台数	1,700 台
設備	自転車搬送機3基×2カ所 監視カメラ19台
工事費	9億400万円(機械装置9,600万円、電気設備4,200万円含む)
利用時間	午前6時から午後10時
利用料金	一時利用:最初の4時間無料 その後24時間ごとに100円 定期利用:3ヵ月4,980円、1ヵ月1,900円 冬期お預かりサービス(3ヵ月定期):1,000円

令和5年度 利用状況	定期利用:1ヵ月642件、3ヵ月2,654件、冬季保管797件 一時利用:15,299人(うち無料件数7,828件)
令和6年度 利用状況	定期利用:1ヵ月726件、3ヵ月2,884件、冬季保管665件 一時利用:16,274人(うち無料件数8,269件)

(2) 弘前市自転車等の放置防止に関する条例(平成18年2月27日弘前市条例第93号)

○ 条例施行日

平成18年2月27日

○ 放置禁止区域の指定

J R弘前駅を中心にした半径300～400mの範囲を規準として設定(約21ha)

○ 放置自転車の撤去・保管

放置禁止区域内に放置された自転車は、警告の後、撤去し、弘前駅中央口駐輪場に保管する。

○ 自転車の返還・処分

返還には、引き取り者の身元を証明するものと保管料(自転車2,090円、原付バイク3,140円)等が必要。引き取りに來ない自転車については、所有者を調査のうえ連絡するが、それでも引き取りのない自転車は、売却または廃棄処分する。

	令和5年度実績		令和6年度実績	
警告台数	71台(1日当たり	0.4台)	241台(1日当たり	1.3台)
撤去台数	41台(1日当たり	0.3台)	67台(1日当たり	0.4台)
返還台数	12台(1日当たり	0.1台)	29台(1日当たり	0.2台)
返還率	29.3%		43.3%	

10 交 流 セ ン タ ー

世代間の交流や高齢者の生きがいがづくり、地域住民の健康づくりなどの場として多目的利用できる施設。

(1) 施設の概要

① 弘前市清水交流センター

所 在 地	弘前市大字大開2丁目1番地2
床 面 積	1,331.84㎡
開 設 年 月	平成6年11月
概 要	集会室兼軽体育室／研修室／和室／伝承室／調理実習室／世代交流室 ／図書室

② 弘前市宮川交流センター

所 在 地	弘前市大字堅田2丁目2番地6
床 面 積	1,437.75㎡
開 設 年 月	平成9年10月
概 要	集会室兼軽体育室／研修室／和室／伝承室／世代交流室／調理実習室 ／図書室

③ サンライフ弘前

所 在 地	弘前市大字豊田1丁目8番地1
床 面 積	2,206.89㎡
開 設 年 月	昭和57年1月
概 要	体育室／トレーニング室／集会室／研修室／和室／伝承室／調理実習室

④ 弘前市町田地区ふれあいセンター

所 在 地	弘前市大字町田1丁目4番地1
床 面 積	960.38㎡
開 設 年 月	平成17年5月
概 要	体育室／集会室／和室／浴室

⑤ 新和地区体育文化交流センター

所 在 地	弘前市大字種市字木幡387番地
床 面 積	1,212.74㎡
開 設 年 月	平成8年10月
概 要	体育室／会議室／生涯学習室／調理実習室／郷土芸能習得室

⑥ 裾野地区体育文化交流センター

所 在 地	弘前市大字十面沢字轡8番地9
床 面 積	1,527.81㎡
開 設 年 月	平成15年11月
概 要	体育室／和室／調理実習室／調理加工室／体験学習室／陶芸室／茶室

⑦ 弘前市千年交流センター

所 在 地	弘前市大字原ヶ平5丁目1番地13
床 面 積	1,316.91㎡
開 設 年 月	平成18年11月
概 要	体育室／研修室／世代交流室／和室／調理実習室／図書室

⑧ 弘前市北辰学区高杉ふれあいセンター

所 在 地 弘前市大字独狐字山辺72番地1

床 面 積 1,438.74㎡

開 設 年 月 平成19年11月

概 要 体育室／研修室／世代交流室／和室／調理実習室／図書室

⑨ 弘前市三省地区交流センター

所 在 地 弘前市大字三世寺字鳴瀬68番地3

床 面 積 433.09㎡

開 設 年 月 平成20年5月

概 要 集会室／研修室／和室

(2) 利用状況

(単位:人、件)

区 分	令 和 4 年 度		令 和 5 年 度		令 和 6 年 度	
	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数
弘前市清水交流センター	29,286	2,879	28,797	3,102	29,781	2,997
弘前市宮川交流センター	24,537	2,725	26,409	2,895	27,527	3,037
サンライフ弘前	51,351	2,023	52,650	2,235	52,724	2,274
ワークトーク弘前	3,715	143	3,347	153	—	—
弘前市町田地区ふれあいセンター	26,717	803	31,269	1,046	34,057	1,235
新和地区体育文化交流センター	10,856	622	12,586	696	11,599	669
裾野地区体育文化交流センター	7,163	535	7,718	451	7,716	473
弘前市千年交流センター	20,675	2,031	22,990	2,053	24,559	2,094
弘前市北辰学区高杉ふれあいセンター	10,896	708	12,376	792	15,681	892
弘前市三省地区交流センター	6,838	917	6,996	998	7,275	1,051

注) 利用者数は延べ数。利用件数については、専用利用の件数のみを表す。弘前市清水交流センターの利用者数はなかよし会（令和5年度末で撤退）利用者数を含まない。
(市民協働課調べ)

注) ワークトーク弘前は令和6年3月31日で貸館業務終了。

11 泉野多目的コミュニティ施設

地域住民の避難場所並びにコミュニティ活動及び子育ての場としての機能を有するとともに、市民や事業者が多目的な活動を行う場所を提供するための施設。

(1) 施設の概要

所在地	弘前市大字泉野3丁目6番地2
床面積	499.26㎡
開設年月	平成27年4月
概要	調理室/和室(12畳)/和室(15畳)/多目的室1/多目的室2/多目的広場

(2) 利用状況

(単位:人、件)

区分	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数
泉野多目的コミュニティ施設	14,577	1,438	17,268	1,667	15,917	1,744

注)利用者数は延べ数。利用件数については、専用利用の件数のみを表す。(市民協働課調べ)

12 市民生活センター

(市民相談・消費生活相談)

平成18年4月11日設置 職員3名 専任相談員5名

<市民相談取扱状況>

(単位:件)

年度	総件数	金銭貸借	相続・遺言	家族関係	その他
令和2	537	22	80	58	377
3	505	14	78	51	362
4	663	16	115	65	467
5	790	36	183	100	471
6	868	29	148	83	608

<消費生活相談取扱状況>

(単位:件、回)

年度	相談件数			消費者講座 回数
	総数	苦情	その他	
令和2	860	790	70	5
3	631	587	44	3
4	688	665	23	4
5	788	753	35	4
6	738	688	50	1

保 健

1	国 民 健 康 保 険	53
	(1) 給 付 状 況		
	(2) 加 入 状 況		
	(3) 収 納 状 況		
2	後 期 高 齢 者 医 療	54
	(1) 加 入 状 況		
	(2) 収 納 状 況		
3	保 健 施 設	55
	(1) 弘 前 市 保 健 セ ン タ ー		
	(2) 弘 前 市 急 患 診 療 所		
	(3) ヒ ロ ロ 健 康 広 場		
	(4) 弘 前 市 こ ど も 家 庭 セ ン タ ー		
4	健 康 診 査	56
5	が ん 検 診	56
6	医 療 施 設 等 の 状 況	57
	(1) 医 療 施 設 の 状 況		
	(2) 医 療 従 事 者 の 状 況		
	(3) 主 要 死 因 別 死 亡 数		

1 国民健康保険

(1) 給付状況

(単位:件、万円)

区 分			令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
療 養 の 給 付 等	診 療 費	件 数	414,295	409,943	392,421
		費 用 額	1,129,510	1,157,517	1,119,567
	薬剂支給	件 数	259,575	260,408	250,391
		費 用 額	311,340	311,599	303,411
	入 院 時 食事療養費	件 数	(7,486)	(7,759)	(7,707)
		費 用 額	21,238	22,344	22,484
	訪問看護 療 養 費	件 数	621	714	741
		費 用 額	6,770	7,917	7,561
療 養 費 等		件 数	6,953	6,689	6,636
		費 用 額	6,768	6,211	6,783
計		件 数	681,444	677,754	650,189
		費 用 額	1,475,626	1,505,588	1,459,806
高 額 療 養 費		件 数	23,276	26,462	25,890
		費 用 額	164,464	176,889	175,722
出産育児一時金		件 数	69	69	65
		費 用 額	2,896	3,376	3,242
葬 祭 費		件 数	316	276	273
		費 用 額	1,580	1,380	1,365

注) 件数の計には食事療養費は含めない。

(2) 加入状況

(単位:人、世帯、%)

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
世 帯	総 数	80,575	80,569	80,357
	加入世帯	24,801	24,205	23,379
	加入率	30.8	30.0	29.1
人 口	総 数	164,610	162,350	159,848
	被保険者数	38,484	37,106	35,509
	加入率	23.4	22.9	22.2

(3) 収納状況(現年度分)

(単位:万円、%)

区 分	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
調 定 額	373,718	362,312	351,388
収 納 額	352,594	343,602	333,094
収 納 率	94.35	94.84	94.79
1世帯当たり調定額(円)	150,687	149,685	150,301
被保険者1人当たり 収 納 額(円)	91,621	92,600	93,806

注) 収納額に還付未済額は含まれていない。

2 後 期 高 齢 者 医 療

(1) 加入状況

(単位:人、%)

区 分		令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
人 口	総 数	164,610	162,350	159,848
	被保険者数	27,955	28,440	29,093
	加 入 率	17.0	17.5	18.2

(2) 収納状況(現年度分)

(単位:万円、%)

区 分	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
調 定 額	150,224	160,053	180,938
収 納 額	149,573	159,145	180,161
収 納 率	99.57	99.43	99.57
被保険者1人当たり 収 納 額(円)	53,505	55,958	61,926

注) 収納額に還付未済額は含まれていない。

3 保 健 施 設

(1) 弘前市保健センター

(弘前市大字野田二丁目7番地1 弘前総合保健センター1階・2階)

弘前市総合保健センター(1階・2階 延面積1,841.31㎡)
地域の保健活動の拠点として、市民の生涯に及ぶ健康づくりのため、各種保健事業を推進する。

主な事業

1. 各種予防接種
2. 各種健康教室・相談・訪問指導
3. がん検診・その他健診

(2) 弘前市急患診療所(弘前市大字野田二丁目7番地1 弘前総合保健センター1階)

毎夜間の午後7:00～10:30における内科及び小児科、日曜日、祝日、8/13及び12/31～1/3の午前10:00～午後4:00における内科、小児科及び外科(平成27年10月から診療開始)の1次急患に対応する施設。

(3) ヒロロ健康広場(弘前市大字駅前町9番地20 ヒロロ3階)

市街地における市民の健康づくり活動の拠点として、各種健康測定及び保健師等による健康アドバイスのほか、健康に関する情報提供や各種健康教室、健康相談等を実施。

主な事業

1. 健康相談事業の支援
2. ヒロロでQOL健診の実施(定期開催・随時開催)
3. セルフチェックコーナー(体組成、血圧、血管年齢、ベジチェック等)の補助、結果説明、相談支援
4. ヒロロスクエアを利用した「ヒロロスクエアでウォーキング」の実施
5. ヒロロ複合健診の運営補助
6. 各種健康教室等の補助
7. 健康増進課事業への市民からの問い合わせ対応 等

(4) 弘前市こども家庭センター(弘前市大字駅前町9番地20 ヒロロ3階)

全ての妊産婦や子育て世帯、子どもなどを対象に一体的な相談ができる窓口を開設している。

主な事業

1. 母子健康手帳の交付(妊婦相談)
2. 各種母子教室
3. 訪問指導
4. 各種相談(育児、歯科、発達等)
5. 妊婦・乳幼児健康診査
6. 家庭児童相談
7. 女性相談支援

4 健康診査

国民健康保険加入者（40歳以上75歳未満）と後期高齢者医療制度加入者を対象に健康診査を実施している。

健康診査年度別事業実績

(単位:人、%)

区	分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国民健康保険 特定健康診査	対象者数	30,093	29,361	26,623	25,204
	受診者数	9,207	8,875	9,784	9,557
	受診率	30.6	30.2	36.8	37.9
後期高齢者 健康診査	対象者数	25,220	25,514	26,489	26,814
	受診者数	5,542	6,227	6,832	7,360
	受診率	22.0	24.4	25.8	27.5

(国保年金課調べ)※国民健康保険特定健康診査の令和6年度は暫定値

5 がん検診

職場でがん検診を受ける機会のある人を除いた市民を対象に、胃がん・肺がん・大腸がん検診及び女性を対象に子宮がん検診、乳がん検診を実施している。

がん検診年度別受診率

(単位:人、%)

区	分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
胃がん検診	市	14.7%	15.1%	15.1%	14.5%
	県	12.6%	12.8%	12.6%	－
	国	6.5%	6.9%	6.8%	－
肺がん検診	市	4.0%	4.3%	4.4%	4.4%
	県	8.6%	8.7%	8.6%	－
	国	6.0%	6.0%	5.9%	－
大腸がん検診	市	9.6%	9.9%	9.8%	9.5%
	県	11.5%	11.5%	11.3%	－
	国	7.0%	6.9%	6.8%	－
子宮がん検診	市	24.0%	25.0%	25.2%	27.4%
	県	18.0%	18.2%	18.3%	－
	国	15.4%	15.8%	15.8%	－
乳がん検診	市	20.2%	21.3%	21.6%	22.7%
	県	18.8%	19.3%	19.5%	－
	国	15.3%	16.2%	16.0%	－

(地域保健・健康増進事業報告)※令和6年度は健康増進課調べによる暫定値

6 医療施設等の状況

(1) 医療施設の状況

(単位:床)

年	総 数		病 院		一 般 診 療 所		歯 科 診療所
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	
令和元	271	3,863	15	3,310	163	553	93
2	270	3,787	15	3,310	163	477	92
3	267	3,760	15	3,310	160	450	92
4	264	3,589	14	3,160	159	429	91
5	258	3,523	14	3,140	157	383	87

(青森県保健統計年報)

(2) 医療従事者の状況

(単位:人)

年	医師	人 口 千 人 当 た り	歯科医師	人 口 千 人 当 た り	薬剤師
平成30	811	4.7	135	0.78	458
令和元	—※	—※	—※	—※	—※
2	842	5.0	146	0.87	474
3	—※	—※	—※	—※	—※
4	871	5.3	142	0.86	477

※数値なし

(青森県保健統計年報)

(3) 主要死因別死亡数

(単位:人)

年	総 数	悪 新 生 性 物	心 疾 患	脳 血 管 疾 患	肺 炎	老 衰	そ の 他
令和元	2,443	702	369	189	177	226	780
2	2,435	703	372	187	145	238	790
3	2,593	723	372	191	160	278	869
4	2,699	720	416	189	164	345	865
5	2,741	685	428	187	158	379	904

(青森県保健統計年報)

福 祉

1	社 会 福 祉 の 概 況	59
2	高 齢 者 福 祉	60
	(1) 老 齢 人 口 の 推 移		
	(2) 老 人 ク ラ ブ 数 と 会 員 数		
	(3) 老 人 福 祉 セ ン タ ー 等 の 利 用 状 況		
	(4) 養 護 老 人 ホ ー ム へ の 入 所 相 談 と 措 置 状 況		
	(5) 高 齢 者 福 祉 施 策 事 業		
	(6) 弘 前 市 高 齢 者 福 祉 計 画 ・ 介 護 保 険 事 業 計 画		
	(参考) 介 護 保 険 関 係		
3	児 童 福 祉	65
	(1) 教 育 ・ 保 育 施 設 の 状 況		
	(2) 児 童 館 の 状 況		
	(3) 弘 前 市 放 課 後 児 童 健 全 育 成 事 業		
	(4) 児 童 扶 養 手 当 ・ 特 別 児 童 扶 養 手 当 支 給 状 況		
	(5) ひ と り 親 家 庭 等 医 療 費 給 付 状 況		
	(6) 母 親 ク ラ ブ 設 置 状 況		
	(7) 弘 前 市 少 年 相 談 セ ン タ ー		
	(8) 駅 前 こ ど も の 広 場		
4	障 が い 者 福 祉	68
	(1) 身 体 障 害 者 手 帳 交 付 数		
	(2) 愛 護 手 帳 交 付 状 況		
	(3) 精 神 障 害 者 保 健 福 祉 手 帳 交 付 状 況		
	(4) 障 が い 福 祉 プ ラ ザ の 利 用 状 況		
	(5) 障 が い 者 福 祉 施 策 事 業		
5	生 活 保 護 の 状 況	70

1 社会福祉の概況

本市では、社会環境の変化や多様な市民ニーズに的確に対応するために、各施策に取り組んでいる。子育て支援においては、保育所、放課後児童健全育成事業などの充実により、子育てに適した環境を整え、安心して子どもを産み、元気に育てることができるよう目指している。

また、高齢者については、在宅福祉をはじめ総合的な支援策を講じるほか、障がい者や低所得者には自立に向けての様々な取組を進め、命と暮らしの安心・安全づくりが充実し、市民が健康的な生活を送ることができるよう目指している。

＜社会福祉施設数と定数＞

(単位:箇所、人)

区 分	計		設 置 主 体			
			公 立		法 人 立・私 立	
	施 設 数	定 員	施 設 数	定 員	施 設 数	定 員
児 童 福 祉 施 設	143	-	26		117	
認 定 こ ど も 園	35	2,982			35	2,982
幼 稚 園	5	200			5	200
保 育 所	33	2,048			33	2,048
児 童 セ ン タ ー・児 童 館	20		20			
障 害 児 入 所 施 設	2	20	2	20		
児 童 発 達 支 援 セ ン タ ー	3	74			3	74
児 童 養 護 施 設	1	36			1	36
乳 児 院	1	12			1	12
助 産 施 設	1	1			1	1
児 童 遊 園	3		3			
児 童 家 庭 支 援 セ ン タ ー	1				1	
放 課 後 等 デ ィ サ ー ビ ス・ 児 童 発 達 支 援 事 業 所	38	386	1	10	37	376
障 が い 福 祉 関 連 施 設	124	-	9		115	
施 設 入 所 支 援 事 業 所	9	390	3	110	6	280
生 活 介 護 事 業 所	30	941	3	110	27	831
就 労 移 行・継 続 支 援 事 業 所	41	844			41	844
自 立 訓 練 事 業 所	4	33			4	33
グ ル ー プ ホ ー ム	26	458			26	458
地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー	4				4	
障 が い 福 祉 プ ラ ザ 等	2		2			
相 談 支 援 事 業 所	7		1		6	
障 害 者 就 業 生 活 支 援 セ ン タ ー	1				1	
老 人 福 祉 施 設	172	-				
養 護 老 人 ホ ー ム	2	190			2	190
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	13	793			13	793
軽 費 老 人 ホ ー ム	4	140			4	140
老 人 福 祉 セ ン タ ー	4		3		1	
デ ィ サ ー ビ ス セ ン タ ー	59	1,553			59	1,553
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	7				7	
在 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー	15				15	
介 護 老 人 保 健 施 設	9	927			9	927
介 護 医 療 院	3	83			3	83
グ ル ー プ ホ ー ム	43	708			43	708
小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護	7				7	
看 護 小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護	3				3	
生 活 支 援 ハ ウ ス	2	30			2	30
生 き が い セ ン タ ー	1		1			

(令和7年4月1日現在)

2 高齢者福祉

わが国の高齢化率が予想を上回る早さで伸びている中、令和7年4月1日現在における当市の65歳以上の高齢者人口は、54,263人、総人口の34.3%で、3人に1人が高齢者となっており、高齢化率は国のペースを上回っている。

このような中で、令和6年3月に、第9期の高齢者福祉計画・介護保険事業計画（2024年度から2026年度）を策定し、「高齢者が地域の中で生きがいと役割、居場所を持ち、自立と尊厳を保ちながら、健康で安心して社会生活を送れるまち」を基本目標に据え、5つの基本施策を掲げて各種事業を推進することとしている。

（1）高齢人口の推移

（単位：人、%）

区 分	平成27年度	令和2年度
総人口	177,411	168,466
65歳以上人口	51,830	53,922
比率	29.4	32.4

※比率は、総人口から年齢「不詳」を除いた人口を分母として算出している。（国勢調査）

（2）老人クラブ数と会員数

（単位：団体、人）

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
クラブ数	115	102	92	84
会員数	3,065	2,601	2,307	2,013

（3）老人福祉センター等の利用状況

（単位：箇所、人）

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	箇所	人員	箇所	人員	箇所	人員	箇所	人員
弘前市老人福祉センター	5	25,215	4	31,102	4	33,834	4	29,976
弘前市生きがいセンター	1	6,259	1	9,064	1	9,198	1	10,226

（4）養護老人ホームへの入所相談と措置状況

（単位：件）

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数	31	31	32	46
措置件数	18	22	18	15

(5) 高齢者福祉施策事業

(単位:千円)

区 分	開始 年度	制 度 の あ ら ま し	基 準	令和7年 度予算
生 き が い 教 室 の 開 催	S47	高齢者の生きがいをづくりを推進するため、 絵画、書道、俳句、健康等の各教室を開催 する。	各 教 室 月 1 ～ 2 回	
敬 老 大 会 長 寿 者 頭 会 彰	S47	敬老の日の行事として地区または町会ごと に大会を開催し、高齢者の顕彰を行う。	年 1 回	31,756
歩 行 安 全 杖 支 給 事 業	S47	高齢者の歩行及び交通の安全を図るため夜 光反射つきの杖を支給する。	65 歳 以 上	198
高 齢 者 は り ・ き ゅ う ・ マ ッ サ ー ジ 施 術 料 助 成 事 業	H7	助成を必要とする高齢者に年 5 枚のはり灸 等施術料の助成券を交付する。	65 歳 以 上	525
在 宅 高 齢 者 短 期 入 所 事 業	H12	介護保険適用外で短期入所の必要な高齢者 が一時的に養護老人ホームに入所すること により、養護が必要な高齢者がいる世帯の 負担を軽減する。	原 則 と し て 7 日 以 内	789
生 活 支 援 ハ ウ ス 運 営 事 業	H13	ひとり暮らしに不安のある高齢者に対し、 デイサービスセンター等に併設された居住 部門を住居として提供し、安心して健康で 自立した生活を送ることができるよう支援 する。	60 歳 以 上	19,403
ね た き り 高 齢 者 等 紙 お む つ 支 給 事 業	H8	在宅寝たきり高齢者等へ紙おむつを現物で 支給する (年 4 回)。	市 民 税 非 課 税 世 帯	1,819
ね た き り 高 齢 者 寝 具 丸 洗 い サ ー ビ ス 事 業	S48	在宅寝たきり高齢者の寝具等を洗濯、消 毒、乾燥し、快適な生活の維持を図る。	年 1 回	142
緊 急 通 報 シ ス テ ム 事 業	H2	病弱等により緊急連絡が必要なひとり暮ら し高齢者等に緊急通報システムを貸与し安 全の向上を図る。	お お む ね 65 歳 以 上	3,899
高 齢 者 補 聴 器 購 入 費 助 成 事 業	R6	難聴のある高齢者を対象に補聴器の購入に かかる費用の一部を扶助することにより、 高齢者の認知症予防及び社会参加の促進を 図る。	65 歳 以 上 軽 度 ・ 中 等 度 の 難 聴 者	3,000
岩 木 地 区 外 出 支 援 サ ー ビ ス 事 業	H12	高齢や障がいのため歩行が困難な人を対象 として、自宅と医療機関等との間を移送用 車両 (サイドリフト付) で送迎する。	60 歳 以 上 身 障 者 65 歳 以 上 高 齢 者 岩 木 地 区	2,884
岩 木 地 区 高 齢 者 ふ れ あ い 交 流 支 援 事 業	R2	岩木地区の高齢者の団体が、温泉施設を利 用し交流することで、社会的孤立の防止や 健康増進を図る。	65 歳 以 上 3 人 以 上 の 団 体 岩 木 地 区	1,160
自 立 支 援 介 護 推 進 事 業	H27	高齢者の自立支援に向けて、各種講習会を 実施するほか、事業者の自立支援介護の取 組みを支援する。	介 護 事 業 者 ほ か	580

(6) 弘前市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

高齢者福祉計画及び介護保険事業計画は、急速に進む高齢社会が抱えている深刻な現状や様々な課題を把握し、今後の長寿社会にふさわしい施策を構築するために、3年を1期として3年毎に策定していく。

第9期介護保険事業計画(2024年度から2026年度)においては、第8期介護保険事業計画(2021年度から2023年度)で構築した地域包括ケア体制をさらに深化・推進することにより高齢者が住み慣れた地域での在宅医療と介護の一体的な提供の支援、地域住民主体の助け合いによる生活支援の取組や認知症高齢者等に優しい地域づくり等、地域共生社会の実現に向けたものとして策定した。

(参考)介護保険関係

(1) 介護(予防)サービス

加入者が保険料を出し合い、介護が必要なとき要介護・要支援認定を受けて、サービスを利用する。サービス対価の9割(一部8割または7割)は保険給付、1割(一部2割または3割)は自己負担となる。

(単位:千円)

事業名	事業の内容	基準	令和7年度予算
1. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	ホームヘルパーが家庭を訪問し、介護や身の回りの世話をを行う。	1～14については要介護1以上と認定された人(要支援1・2と認定された人は2～5及び7～13)を給付の対象とする。	17,715,976 (1～20事業の合計と審査手数料等の合計)
2. 訪問看護 介護予防訪問看護	看護師等が家庭を訪問し、療養上の世話や診療の補助を行う。		
3. 訪問入浴介護 介護予防訪問入浴介護	訪問入浴車で家庭を訪問し、入浴の介護を行う。		
4. 訪問リハビリテーション 介護予防訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士等が家庭を訪問し、機能訓練を行う。		
5. 居宅療養管理指導 介護予防居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師等が療養上の管理や指導を行う。		
6. 通所介護 (デイサービス)	デイサービスセンターに日帰りで通い、入浴や食事、機能訓練などを受ける。		
7. 通所リハビリテーション 介護予防通所リハビリテーション	医療系施設に日帰りで通い、必要な機能訓練などを受ける。		
8. 短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護 (ショートステイ)	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)等に短期間入所し、介護や日常生活上の世話、機能訓練などを受ける。		
9. 短期入所療養介護 介護予防短期入所療養介護	医療系施設に短期間入所し、看護や医学的管理下における介護、機能訓練などを受ける。		
10. 福祉用具の貸与	車いすや特殊ベッドなどの用具を、専任業者から借りる。		
11. 福祉用具購入費の支給	腰掛便座や特殊尿器など、用具の購入費の支給を行う。		
12. 住宅改修費の支給	手すりの取り付け等、小規模な住宅改修に要する費用の支給を行う。		
13. 特定施設入居者生活介護 介護予防特定施設入居者生活介護	有料老人ホームなどの入所者が介護や日常生活上の世話、機能訓練などを受ける。		
14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期的な巡回又は随時通報により居宅を訪問し、介護・緊急時の対応等の援助を行う。		

事業名	事業の内容	基準	令和7年度予算
15. 認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	認知症の状態にある要介護者が、グループホームにおいて介護や日常生活上の世話、機能訓練などを受ける。	15については要支援2または要介護1以上、16については介護予防の指定を受けていれば要支援1以上で利用可能、17については要介護1以上、18については原則、要介護3以上(状況により要介護1・2の方も利用可。)、19・20については要介護1以上と認定された方を給付の対象とする。	17,715,976 (1～20事業の 合計と審査手数料等の合計)
16. 小規模多機能型居宅介護 介護予防小規模多機能型居宅介護	小規模な住宅型の施設への「通い」を中心に、介護士による自宅への「訪問介護」、施設に泊まる「宿泊」のサービスを受ける。		
17. 看護小規模多機能型居宅介護	小規模な住宅型の施設への「通い」を中心に、介護士による自宅への「訪問介護」、看護師による自宅への「訪問看護」、施設に泊まる「宿泊」のサービスを受ける。		
18. 介護老人福祉施設への入所	特別養護老人ホームに入所し、介護等の日常生活上の世話や機能訓練、その他の必要な世話を受ける。		
19. 介護老人保健施設への入所	病状の安定した人が、機能訓練を中心とする医療ケアや介護、日常生活上の世話を受ける。		
20. 介護医療院への入所	長期療養の必要な要介護者が、療養管理、看護、医学的管理の下における介護、機能訓練、その他必要な医療並びに日常生活の世話を受ける。		

(2) 地域支援事業

① 介護予防・日常生活支援総合事業

事業名	事業の内容	基準	令和7年度予算
1. 介護予防・生活支援サービス事業	訪問型サービスでは、ホームヘルパーが家庭を訪問し、調理や掃除などを利用者と一緒に行い、利用者が自分でできることが増えるように支援する。また、通所型サービスでは、デイサービスセンターに日帰りで通い、入浴や食事、機能訓練などを受ける。	基本チェックリスト該当者及び要支援1・2と認定された方	746,084
2. 一般介護予防事業	高齢者が介護を必要とする状態にならないように、介護予防のためのマシントレーニングや健康講座等を実施する。	65歳以上の市民	60,462

② 包括的支援事業

事業名等	事業の内容
1. 地域包括支援センターの運営	市内7か所にある地域包括支援センターにおいて、高齢者の介護予防、健康や福祉、生活などについて総合相談・支援を行う。
2. 生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等により、地域における生活支援の担い手やサービスの開発等を行う。
3. 認知症施策の推進	認知症サポーターの養成、認知症ケアパスの配布や認知症初期集中支援チームによる認知症の早期対応を行う。また、認知症に対する正しい知識の普及啓発を行う。
4. 在宅医療・介護連携の推進	地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制を構築する。
5. 地域ケア会議の推進	地域包括ケアシステムの構築のために、地域包括支援センター及び市が地域ケア会議を実施する。

③ 任意事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域の実情に合わせて取組ができる事業であり、本市においては、家族介護支援事業、住宅改修支援事業、成年後見制度利用支援事業、地域自立生活支援事業等を実施している。

(単位:千円)

区 分		事業内容	基 準	令和7年度予算
家族介護支援事業	家族介護慰労金支給事業	要介護3以上に相当する在宅高齢者であって、過去に1年間介護保険サービスを受けなかった者を介護している家族に対し、慰労金を支給する。	住民税非課税世帯 1件 100,000円	400
住宅改修支援事業		居宅介護支援の提供を受けていない要介護者に対し、住宅改修費の支給の申請に係る理由書を作成した者に助成する。	1件 2,200円	88
成年後見制度利用支援事業		民法で定める成年後見制度の利用に当たり、必要となる「申立て費用」や「成年後見人等への報酬」を支払うことが困難な場合、費用を助成することにより、本人の保護及び福祉の増進を図る。	弘前市に住所を有し、生活保護受給者またはそれに準ずると認められる方	9,936
高齢者世話付住宅等生活援助員配置事業		高齢者世話付住宅等に居住する入居者に対し、生活援助員を配置して安否確認や指導相談を行い、自立した安全快適な生活となるよう支援する。	市内5か所の市営住宅等	22,355
認知症支援事業		認知症に対する正しい知識を持ち、地域や職場における認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等の養成を行う。また、認知症に関する相談やパンフレットを活用して知識の普及・啓発を図る。	基準なし	993
介護給付等費用適正化事業		居宅介護支援専門員の資格を有する嘱託職員を採用し、サービス利用者の状況を把握したうえで、自立支援に資するケアプランとなっているかを担当ケアマネジャーと一緒に確認するケアプラン点検を行う。必要に応じて住宅改修や福祉用具の利用について、リハビリテーション専門職による点検・助言も行い、利用者の重度化防止及び介護給付費の適正化を図る。また、外部講師を招きケアプラン作成の手法や要望のあった制度に関する研修会を開催し、ケアマネジャーの意識改革及び資質の向上を図る。	市内の被保険者を支援している居宅介護支援事業所等	13,111

3 児 童 福 祉

(1) 教育・保育施設の状況

令和6年度における弘前市の教育・保育施設数は、74か所（認定こども園34か所・幼稚園6か所・保育所34か所）あり、総定員数は64,745人（令和7年3月現在）で、令和6年度の充足率は87.95%となっている。（※分園は施設数に含めない。）

（単位：箇所、人）

区 分	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	施設数	利用定員	現員	施設数	利用定員	現員	施設数	利用定員	現員
認定こども園	32	36,144	31,997	32	36,058	30,674	34	35,829	30,917
幼稚園	5	2,940	2,318	5	2,415	1,907	6	3,270	2,770
保育所	37	30,594	27,858	37	29,131	26,044	34	25,646	23,256
計	74	69,678	62,173	74	67,604	58,625	74	64,745	56,943

※月の累計人数

（こども家庭課調べ）

(2) 児童館の状況

本市には令和7年4月1日現在11館の児童館があり、体力増進機能を備えた児童センターについては、昭和56年に西部児童センターが初めて開設され、現在9児童センターを設置している。

（単位：人、日）

年 度	保 育 実 施 状 況		育 成 活 動 状 況	
	1 か 月 平 均	年 間	指 導 日 数	1日平均利用者数
令和2	—	—	6,742	915
3	—	—	6,375	916
4	—	—	6,416	951
5	—	—	5,863	1,064
6	—	—	5,865	1,107

（こども家庭課調べ）

(3) 弘前市放課後児童健全育成事業 — 令和7年4月1日現在16クラブ、在籍児童数1,395人

親の共働きなどにより留守家庭児童が増加する一方、児童が安心して遊ぶことができる場所が少なく、保護者の監護が行き届かないことから、放課後児童の居場所確保が問題となっている。放課後児童健全育成事業は、留守家庭児童のうち小学1年生から6年生までの児童を対象に、次の方針により健全育成を図ることを目的としている。

- ① 健全な遊びやグループ活動を通して、家庭や社会における基礎的生活習慣を体得させる。
- ② 望ましい友人関係の醸成、相互協力の態度を育成し、社会性や自主独立の精神を養う。
- ③ 家庭的雰囲気の中で生活することで、家庭関係の重要性を認識させるとともに、音楽、図画、工作、読書等を通して、情操の涵養に努める。

(4) 児童扶養手当・特別児童扶養手当支給状況

(単位:人、円)

年 度	児 童 扶 養 手 当 受 給 者 (対象児童数)	金 額 (月額)	特 別 児 童 扶 養 手 当 受 給 者 (対象児童数)	金 額 (月額)
令和2	1,727 (2,510)	(児童1人の場合) 全部 支給 43,160 一部 " 43,150 ～ 10,180	527 (574)	(児童1人につき) 1級 52,500 2級 34,970
	R3. 4月から	全部 支給 43,160 一部 " 43,150 ～ 10,180	R3. 4月から	1級 52,500 2級 34,970
3	1,730 (2,535)	(児童1人の場合) 全部 支給 43,160 一部 " 43,150 ～ 10,180	539 (593)	(児童1人につき) 1級 52,500 2級 34,970
	R4. 4月から	全部 支給 43,070 一部 " 43,060 ～ 10,160	R4. 4月から	1級 52,400 2級 34,900
4	1,621 (2,374)	(児童1人の場合) 全部 支給 43,070 一部 " 43,060 ～ 10,160	560 (622)	(児童1人につき) 1級 52,400 2級 34,900
	R5. 4月から	全部 支給 44,140 一部 " 44,130 ～ 10,410	R5. 4月から	1級 53,700 2級 35,760
5	1,548 (2,313)	(児童1人の場合) 全部 支給 44,140 一部 " 44,130 ～ 10,410	597 (667)	(児童1人につき) 1級 53,700 2級 35,760
	R6. 4月から	全部 支給 45,500 一部 " 45,490 ～ 10,740	R6. 4月から	1級 55,350 2級 36,860
6	1,519 (2,318)	(児童1人の場合) 全部 支給 45,500 一部 " 45,490 ～ 10,740	635 (711)	(児童1人につき) 1級 55,350 2級 36,860
	R7. 4月から	全部 支給 46,690 一部 " 46,680 ～ 11,010	R7. 4月から	1級 56,800 2級 37,830

注) 児童2人目以降は11,030～5,520円加算。(児童扶養手当R7.4月から)

(令和7年3月31日現在 こども家庭課調べ)

(5) ひとり親家庭等医療費給付状況

(単位:人、円)

年 度	対 象 者		世 帯 数	医 療 費 給 付 件 数	支 給 額
	児 童	父 母 等			
令和2	2,961	2,022	2,022	49,099	103,049,035
3	2,755	1,899	1,899	49,832	108,111,813
4	2,690	1,859	1,859	50,178	107,142,474
5	2,480	1,710	1,710	54,115	114,105,658
6	2,392	1,652	1,652	50,829	112,128,307

注)平成8年10月から父子家庭も該当。

(令和7年3月31日現在 こども家庭課調べ)

(6) 母親クラブ設置状況

児童厚生施設(児童館、児童センター)等と有機的な連携を保つ母親クラブが、家庭児童の健全な育成を図るため、母親など地域住民の積極的参加による地域組織活動を行っている。

令和6年度	母親クラブ数	16 クラブ
	会 員 総 数	1,390 人
	弘前市地域組織活動 事業費補助金確定額	3,024,000 円

(こども家庭課調べ)

(7) 弘前市少年相談センター(弘前市大字駅前町9番地20 ヒロロ3階)

昭和41年に設置し、現在は健康こども部こども家庭課が所管しており、11人の職員を配置している。

街頭指導、少年相談、環境浄化の3つの活動を柱として、青少年の健全育成、非行・被害防止に取り組んでいるほか、地域団体の育成や啓発活動を行っている。

また、街頭指導等に従事する少年指導委員は、関係機関・団体からの推薦により141人を委嘱している。

少年警察ボランティア連絡会45人、児童委員9人、保護司6人、 小学校教員33人、中学校教員17人、高校教員12人、所長推薦経験者8人、 センター等職員11人
--

(令和6年8月1日現在 こども家庭課調べ)

(8) 駅前こどもの広場(弘前市大字駅前町9番地20 ヒロロ3階)

親子の交流の場の提供の他、子育てに関する相談、地域の子育て関連情報の提供、乳幼児の一時預かり事業を実施している。

4 障がい者福祉

令和6年度末における身体障害者手帳所持者は6,589人、愛護手帳所持者は1,688人、精神障害者保健福祉手帳所持者は2,382人となっている。

障がい者や高齢者にやさしいまちづくりをめざし、従前より道路の段差の解消、点字ブロックの敷設、公共建築物の玄関口の改良、多目的トイレの設置などを積極的に進めてきており、令和3年3月には「弘前市障がい者・障がい児施策推進計画」を策定し、「障がい及び障がい者への理解の促進と共生社会の実現」、「自立への支援と社会参加の促進及び相談支援体制の充実」、「障がい児に対する早期からの教育・相談・支援体制の充実及び共生社会に向けた教育基盤の確立」、「やさしいまちづくりの推進」、「生涯の各段階に応じた施策の展開」を計画の重点目標として、国・県との連携はもとより、市民や民間企業、福祉団体等の理解と協力を得ながら推進している。

(1) 身体障害者手帳交付数

(単位:人)

年 度	肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	音声言語機能障害	内部障害	総 数
令和 3	3,294	447	788	61	2,249	6,839
4	3,231	447	831	60	2,390	6,959
5	3,080	430	834	58	2,331	6,733
6	3,014	419	862	63	2,231	6,589

注)障がいが重複している者は重度の方に算入。

(2) 愛護手帳交付状況

(単位:人)

年度	18 歳 未 満			18 歳 以 上			計		
	A	B	計	A	B	計	A	B	計
令和 3	81	185	266	549	788	1,337	630	973	1,603
4	71	204	275	547	792	1,339	618	996	1,614
5	80	214	294	552	816	1,368	632	1,030	1,662
6	88	225	313	538	837	1,375	626	1,062	1,688

注)A:最重度・重度、B:中度・軽度

(3) 精神障害者保健福祉手帳交付状況

(単位:人)

年度	1 級	2 級	3 級	計
令和 3	446	1,289	264	1,999
4	437	1,299	278	2,014
5	441	1,530	321	2,292
6	431	1,597	354	2,382

(4) 障がい福祉プラザの利用状況

(単位:人)

年 度	点 字	絵 画	手 芸	手 話	機 訓 能 回 復 練	そ の 他	計
令和 3	113	66	18	550	201	629	1,577
4	223	141	0	482	243	1,380	2,469
5	185	151	11	458	263	1,316	2,384
6	198	141	0	367	258	1,458	2,422

(5) 障がい者福祉施策事業(市単独事業)

(単位:千円)

区 分	開始 年度	制 度 の あ ら ま し	令和6年度実績
有 職 障 が い 者 交 通 費 助 成 事 業	S48	一般就労（福祉的就労を含む）している知的障がい者、身体障がい者、精神障がい者に対し、勤労意欲の向上と福祉の増進の一助として通勤費の一部を助成する。	1,598
身 体 障 害 者 福 祉 セ ン タ ー 事 業	S54	在宅身体障がい者に対する相談、機能回復訓練等により、身体障がい者の心のふれあいの場を設ける。	26,593
在宅心身障がい者タクシー 等 移 動 支 援 事 業	S55	障害福祉サービスを補うことを主旨として、在宅の心身障がい者に対し、生活行動範囲の拡大及び社会参加を促進するため、タクシー利用料金の一部を助成する。	5,318

5 生活保護の状況

本市の被保護世帯数と被保護人員は、平成20年のリーマンショック以降に急増し高止まりで推移していたが、平成24年度から上昇は鈍化し、平成28年度から令和2年度までは被保護世帯数は横ばい傾向、被保護人員は減少を続けていた。令和3年度以降は世帯数、人員ともに減少に転じた。

保護率は平成8年度から上昇を続け、令和2年度に26.34%を記録。以降は減少に転じ、3年度26.19%、4年度26.15%、5年度26.17%、6年度25.94%と推移しているが、全国の16.2%（7年3月分概数）、青森県の23.02%（6年度）と比較すると高率となっている。

また、世帯の類型別構成比では、高齢世帯が65.1%と高い割合となっている。

<扶助別状況>

（単位：世帯、人、百万円、%（パーミル））

※パーミル：保護人員÷推計人口×1,000

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
生活扶助	月平均世帯数	3,345	3,304	3,256	3,170
	月 平 均 人 員	3,926	3,864	3,780	3,657
	年 間 給 付 額	1,987	1,943	1,918	1,829
住 宅 扶 助	月平均世帯数	3,152	3,127	3,090	3,047
	月 平 均 人 員	3,627	3,588	3,523	3,445
	年 間 給 付 額	995	995	969	967
教育扶助	月平均世帯数	61	59	55	51
	月 平 均 人 員	91	81	75	66
	年 間 給 付 額	10	8	8	7
医 療 扶 助	月平均世帯数	3,349	3,298	3,263	3,182
	月 平 均 人 員	3,786	3,717	3,658	3,552
	年 間 給 付 額	2,988	3,013	3,277	3,164
介 護 扶 助	月平均世帯数	1,440	1,445	1,441	1,422
	月 平 均 人 員	1,483	1,485	1,476	1,457
	年 間 給 付 額	279	274	287	296
出 産 扶 助	月平均世帯数	0	0	0	0
	月 平 均 人 員	0	0	0	0
	年 間 給 付 額	1	1	1	0
生 業 扶 助	月平均世帯数	47	40	37	33
	月 平 均 人 員	53	50	43	37
	年 間 給 付 額	8	10	7	6
葬 祭 扶 助	月平均世帯数	3	3	4	4
	月 平 均 人 員	3	3	4	4
	年 間 給 付 額	14	15	19	18
施設事務費	月 平 均 人 員	18	16	15	12
	年 間 支 弁 額	35	32	32	27
総 計	月平均世帯数	3,724	3,678	3,655	3,584
	月 平 均 人 員	4,367	4,301	4,248	4,142
	延保護世帯数	44,687	44,130	43,860	43,011
	延 保 護 人 員	52,403	51,608	50,970	49,709
	給 付 額	6,317	6,291	6,518	6,314
	保 護 率	26.19	26.15	26.17	25.94

（令和7年3月31日現在）

建 設

1	道	路	71
	(1)	市 道 の 状 況		
	(2)	市 道 の 整 備 状 況		
2	河	川	72
	(1)	河 川 の 状 況		
	(2)	防 災 調 整 池 及 び 雨 水 貯 留 施 設		
3	建 築	確 認	73
4	公 営	住 宅	73
	(1)	公 営 住 宅 の 建 設 状 況		
	(2)	市 営 住 宅 等 管 理 戸 数		
	(3)	市 営 住 宅 等 の 現 況		
5	除	排 雪	75
	(1)	除 雪		
	(2)	排 雪		
	(3)	除 排 雪 経 費		
	(4)	機 械 台 数		
6	消 流 雪 溝 ・ 流 雪 溝		76

1 道 路

本市において、市道認定されている3,187路線、延長1440.5kmの整備状況は、舗装率73.8%、改良率73.2%であるが、このうち隣接町村を結ぶ一級市道、近接集落を結ぶ二級市道については、舗装率88.8%、改良率90.1%に達しており、バス路線をはじめとした集落間の連絡区間についてはほぼ整備が完了しているといえる。

(1) 市道の状況

区 分	路 線 数	実 延 長 (km)	舗 装 道		改 良 道	
			延 長 (km)	舗 装 率 (%)	改 良 済 延長 (km)	改 良 率 (%)
市 道	3,187	1,440.5	1,063.6	73.8	1,054.9	73.2

(令和7年4月1日現在)

(2) 市道の整備状況

(単位:m)

区 分		一 級	二 級	そ の 他	計
総 延 長		187,432.4	172,739.4	1,091,842.9	1,452,014.7
重 用 延 長		2,260.8	974.7	7,880.6	11,116.1
未 供 用 延 長		175.9	0.0	222.4	398.3
実 延 長		184,995.7	171,764.7	1,083,739.9	1,440,500.3
規格改良済延長		174,336.6	147,229.4	733,306.4	1,054,872.4
車道 19.5m 以上		828.7	127.6	143.7	1,100.0
車道 13.0m 以上		6,060.7	1,002.9	1,314.1	8,377.7
車道 5.5m 以上		134,028.0	82,783.7	180,823.9	397,635.6
車道 5.5m 未満		33,419.2	63,315.2	551,024.7	647,759.1
未 改 良 延 長		10,659.1	24,535.3	350,433.5	385,627.9
車道 5.5m 以上		3,204.8	810.4	4,695.6	8,710.8
車道 3.5m 以上		5,308.7	9,540.9	30,397.3	45,246.9
車道 3.5m 未満		2,145.6	14,184.0	315,340.6	331,670.2
うち自動車交通不能		292.1	886.2	76,104.3	77,282.6
橋 梁	個 数	113	71	334	518
	延 長	2,183.2	1,070.8	2,858.7	6,112.7
道 路 面 積 (m ²)		1,776,274.42	1,296,710.25	5,658,329.77	8,731,314.44
路 線 数		121	136	2,930	3,187

(令和6年度道路台帳総括表より)

(令和7年4月1日現在)

2 河 川

(1) 河川の状況

本市管内における河川は、1級河川・2級河川・準用河川合わせて45河川であり、その指定区間延長は215.7kmである。

このうち、国管理の岩木川中流部・平川等の改修は、平成6年度に岩木川水系後長根川の直轄区間が完成するなど着実な進捗を見せているものの、岩木川本川の改修については、完成まで相当の期間を要するものと思われる。

県管理の岩木川水系中小河川は、大和沢川、土淵川、多沢川の3河川で整備が進められている。昭和50、52年に大きな水害を出した土淵川、寺沢川については、放水路の完成により市街地の治水安全度は飛躍的に高められたが、その後の河川環境の悪化から、街並みと調和のとれた水辺空間の創出を図るため、土淵川河川再生事業に着手し、平成7年度から平成17年度にかけて、野田橋から徒橋までの延長1,060mについて整備を終えている。さらに、平成21年度に国土交通省が創設した「かわまちづくり」支援制度に土淵川環境整備事業として徒橋から上流の寺沢川合流点までの延長1,120mが認定され、親水護岸、遊歩道及び広場等の整備を計画実施している。

市管理の準用河川は、総延長30.1kmに対し、整備延長27.8km、整備率92.4%と順調に推移している。

<弘前市管内の一級河川・二級河川・準用河川>

河川区分	河川数	弘前市管内指定区間延長			
		国管理区間	県管理区間	市管理区間	計
一級河川	30	29.9 km	148.4 km	- km	178.3 km
二級河川	2	- km	7.3 km	- km	7.3 km
準用河川	16	- km	- km	30.1 km	30.1 km
計	45 (3河川重複)	29.9 km	155.7 km	30.1 km	215.7 km

(令和7年4月1日現在)

(2) 防災調整池及び雨水貯留施設

治水計画の一環として、流域の開発及び土地利用の変化に伴う洪水流出量の増大に対処するため、本市管内には県管理の防災調整池1箇所と市管理の雨水貯留施設20箇所を合わせ、21箇所の施設があります。県管理の防災調整池面積は10haで貯留量12万 m^3 、市管理は雨水貯留施設ほか20施設で、その総貯留池面積は9.8haで総貯留量14.3万 m^3 であり、洪水時には有効に機能しています。

3 建築確認 ＜確認件数＞

(単位:件)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
弘 前 市	53	49	52	64	44
指定確認検査機関	625	612	597	523	531
計	678	661	649	587	575

注) 件数は建築物だけのものである。また、計画通知及び計画変更を除く。

建築指導課調べ

(令和7年3月31日現在)

4 公 営 住 宅

(1) 公営住宅の建設状況

(単位:戸)

年 度	市 営 住 宅				県 営 住 宅	
	新 規 戸 数	建 設 戸 数	除 却 戸 数	年 度 末 数	建 設 戸 数	年 度 末 数
令和 2	0	0	0	2,096	0	1,254
3	0	0	0	2,096	0	1,254
4	0	0	2	2,094	0	1,254
5	0	0	0	2,094	0	1,254
6	0	0	0	2,094	0	1,254

(県営住宅出所:中南地域県民局地域整備部建築指導課)

(令和7年3月31日現在)

(2) 市営住宅等管理戸数

構 造	公 営 住 宅	改 良 住 宅	駅 前 住 宅	計
木 造 平 家 建	33	-	-	33
木 造 2 階 建	63	-	-	63
準耐火構造平家建	28	-	-	28
準耐火構造2階建	267	-	-	267
耐火構造3階建	732	-	-	732
耐火構造4階建	725	-	-	725
耐火構造6階建	72	-	-	72
耐火構造9階建	-	-	96	96
耐火構造10階建	78	-	-	78
計	1,998	0	96	2,094

(令和7年3月31日現在)

(3) 市営住宅等の現況

(単位:戸)

名称	所在地	建設年度	構造	戸数		
					うち身障者用	うち高齢者向け
山王団地	弘前市大字 山王町	S53～54	耐火構造3～4階建	88	2	
野田団地	〃 野田1丁目	S51～56	〃 4階建	80		
茂森団地	〃 西茂森2丁目	S58	準耐火構造 2階建	20		
〃	〃 茂森新町1丁目	S57	耐火構造3～4階建	28		
田町団地	〃 田町4丁目	S47～50	準耐火構造 2階建	26		
〃	〃 〃	S54～55	耐火構造 3階建	54		
浜の町団地	〃 浜の町東1丁目	S57	準耐火構造 2階建	22		
〃	〃 浜の町東2丁目	S51～53	〃 〃	72		
〃	〃 浜の町東4丁目	S55～56	耐火構造 3階建	60	4	
中野団地	〃 中野2丁目	S63～H元	〃 3～4階建	92		
〃	〃 〃	S49～50	準耐火構造 2階建	12		
城南団地	〃 城南1丁目	S59～60	耐火構造 3階建	66		
豊原団地	〃 豊原2丁目	S46～47	準耐火構造 2階建	20		
石川団地	〃 石川字村元	S56～58	〃 〃	20		
緑ヶ丘団地	〃 緑ヶ丘2丁目	H4～7	耐火構造 3階建	153	4	48
〃	〃 緑ヶ丘3丁目	H3	〃 3階建	36		
〃	〃 緑ヶ丘2丁目	H5	木造 2階建	1		
松原団地	〃 松原東2丁目	S50～58	準耐火構造 2階建	61		
桔梗野団地	〃 桔梗野3丁目	S59～62	耐火構造 4階建	216	2	
樹木団地	〃 樹木1丁目	S58	準耐火構造 2階建	14		
富士見橋団地	〃 栄町1丁目	S39	〃 平家建	28		
城西団地	〃 城西2丁目	H9～12	耐火構造 3階建	114		36
〃	〃 城西5丁目	H10～12	〃 〃	48		14
桜ヶ丘団地	〃 桜ヶ丘5丁目	H15～19	耐火構造 4階建	157		34
〃	〃 〃	H16～17	木造 平家建	8		8
〃	〃 〃	H20～21	木造 平家建	20		20
青葉団地	〃 南大町2丁目	H27	耐火構造 10階建	78	1	29
〃	〃 〃	H30	〃 6階建	42	1	18
宮園団地	〃 宮園4丁目	S55～58	〃 4階建	64	4	
宮園第2団地	〃 青山1丁目	S63～H3	〃 4階建	80		
南城西団地	〃 南城西1丁目	H8	〃 3階建	51		17
若葉一丁目団地	〃 若葉1丁目	H13	木造 平家・2階建	25		
大町住宅(借上)	〃 大町3丁目	H14	耐火構造 6階建	30		
賀田団地	〃 賀田2丁目	S62～63	木造 2階建	21		
〃	〃 〃	H元	耐火構造 3階建	18		
〃	〃 〃	H4・5・7	木造 2階建	21		
安田団地	〃 湯口字二ノ安田	S56	耐火構造 3階建	24		
〃	〃 〃	S57	耐火構造3～4階建	28		
駅前住宅	〃 大町1丁目	S60・63	耐火構造 9階建	96		

(令和7年3月31日現在)

5 除 排 雪

(1) 除 雪

(単位:km、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
除雪計画路線延長	1,017.3	1,019.5	1,019.8	1,019.7
除 雪 路 線 延 長	1,017.3	1,019.5	1,019.8	1,019.7
除 雪 率	100	100	100	100

(市道延長 1,452.0 km)

(2) 排 雪

① 車 道 排 雪

(単位:km)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
排雪実施延長	535.0	184.0	4.8	664.3

② 歩 道 除 雪

(単位:km、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
歩 道 延 長	207.6	209.7	211.2	211.8
除雪路線延長	124.6	123.9	124.0	126.0
除 雪 率	59.4	59.1	58.7	59.5

(3) 除排雪経費

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
除 排 雪 経 費	1,932,726	1,853,240	811,179	2,368,530

(4) 機 械 台 数

(単位:台)

区 分	除 雪 ドーザ	除 雪 グレーダ	除 雪 トラック	ロータリ 除雪車	ダンプ トラック	ブ ル ドーザ	その他	計
直営所有台数	12	4	0	10	13	0	17	56
委託確保台数	338	7	0	92	554	28	84	1,103
計	350	11	0	102	567	28	101	1,159

(令和7年3月31日現在)

(土木課、道路維持課調べ)

6 消流雪溝・流雪溝

積雪寒冷地帯である本市においては、毎冬の降雪による除排雪に多額の費用が必要とされている。そのときどきで変化する降雪量、多種多様化する要望に対し、道路交通・歩行者安全を確保するためには、市民参加型の雪対策が求められてきている。

本市では効率的な除排雪を推進するため、消流雪溝の面的整備計画を策定し実施してきた。昭和58年度には旧建設省（現在の国土交通省）より流雪溝面的整備計画都市として指定され、第1次面的整備計画（昭和59年度～平成9年度）を実施した。さらに、消流雪溝に対する市民からの要望が多くなり、第2次面的整備Ⅰ期計画（平成10年度～平成16年度）、第2次面的整備Ⅱ期計画（平成17年度～平成22年度）を実施した。また、旧建設省においても岩木川から消流雪溝用水の安定供給を確保するため、弘前地区消流雪溝用水導入事業（平成4年度～平成12年度）を実施した。令和6年度末で、県と市合わせて、整備延長88.5kmの整備を行った。

<弘前市流雪溝・消流雪溝全体整備延長>

（単位：km）

区 分	令和3年度まで	令和4年度まで	令和5年度まで	令和6年度まで
流雪溝・消流雪溝整備延長 （県道・市道含む）	88.3	88.4	88.4	88.5

（道路維持課調べ）

都 市 計 画

1	都 市 計 画 区 域	77
	(1) 都 市 計 画 区 域 の 変 せ ん		
	(2) 弘 前 広 域 都 市 計 画 区 域		
	(3) 用 途 地 域		
	(4) その他の都市計画法による地区		
2	都 市 計 画 道 路	79
3	都 市 公 園 等	79
	(1) 都 市 公 園 等 の 整 備 状 況		
	(2) 市 民 1 人 当 たり 公 園 等 面 積		
4	市 街 地 開 発 事 業	81
	(1) 土 地 区 画 整 理 事 業 の 概 要		
	(2) 青 森 県 住 宅 供 給 公 社 に よ る 事 業		
	(3) 開 発 行 為		

1 都市計画区域

(1) 都市計画区域の变せん

弘前市は、慶長16年（1611年）津軽信枚が弘前城を築城して以来、城下町として発展し、明治以降は軍都として繁栄した。しかし、明治以降に開発された地域は都市計画の用件を欠いていたため、昭和6年12月初めて都市計画法の適用を受け、周辺8村の行政区域を包含した都市計画区域が昭和8年10月に決定した。

戦後は、幸いにも戦災を免れたため古い街並みも往事の姿をそのまま残していたが、昭和30年の市町村合併等社会情勢の変化により、昭和38年には都市計画の見直しが行われ、さらに、全国的な都市問題解決の手段として制定された新都市計画法の施行に伴い、昭和46年2月に弘前市及び周辺6町村を含む「弘前広域都市計画区域」が決定され、昭和48年12月には用途地域も定められ現在に至っている。

(2) 弘前広域都市計画区域

(単位:ha)

区 分	※行政区域面積	都市計画区域	市 街 化 区 域	
			市 街 化 区 域	市街化調整区域
弘 前 市	52,420	17,897	2,835	15,062
藤 崎 町	3,729	2,201	181	2,020
大 鰯 町	16,343	2,043	172	1,871
平 川 市	34,601	4,849	426	4,423
田舎館村	2,235	1,916	143	1,773
計	109,328	28,906	3,757	25,149

※国土地理院調査

(令和7年3月31日現在)

(3) 用 途 地 域

区 分	建ぺい率(%)	容積率(%)	面積(ha)	構成比(%)
第一種低層住居専用地域	50	80	462	16
	60	150	237	8
第二種低層住居専用地域	50	80	22	1
	60	150	12	1
第一種中高層住居専用地域	60	200	594	21
第二種中高層住居専用地域	60	200	100	4
第一種住居地域	60	200	576	20
第二種住居地域	60	200	131	5
準住居地域	-	-	-	-
田園住居地域	-	-	-	-
近隣商業地域	60	100	7	1
	80	200	77	2
商業地域	80	400	134	4
	80	600	19	1
準工業地域	60	200	231	8
工業地域	60	200	140	5
工業専用地域	60	200	93	3
計	-	-	2,835	100

(令和7年3月31日現在)

(4) その他の都市計画法による地区

(単位:ha)

地 区 名	最終告示年月日	面 積	
特 別 業 務 地 区	昭和48年12月1日 弘前市告示第168号	約 13.7	都市計画街路3・3・7号弘前 黒石線沿道、奥行約50m
高 度 利 用 地 区	昭和63年3月3日 弘前市告示第23号	1.9	①駅前第1地区1.4ha ②駅前第2地区0.5ha
大規模集客施設 制 限 地 区	平成30年12月25日 弘前市告示第598号	231.0	市内全域の準工業地域
伝統的建造物群 保 存 地 区	昭和53年2月27日 弘前市告示第20号	10.6	仲町地区
防 火 地 域	昭和63年3月3日 弘前市告示第24号	18.0	土手町地区、駅前地区、大町地区
準 防 火 地 域	平成24年1月10日 弘前市告示第8号	409.0	過密市街地及び近隣商業地域
地 区 計 画 区 域	平成29年12月25日 弘前市告示第590号	4.8	千年地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第590号	1.4	浜の町地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第590号	6.3	茂森新町地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第590号	1.4	南大町地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第590号	8.5	小比内地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第589号	21.9	弘前駅前・上土手町地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第589号	1.5	下土手町地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第590号	6.4	富士見台地区
〃	平成21年2月13日 弘前市告示第30号	28.5	オフィス・アルカディア地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第590号	20.3	藤代工業団地地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第589号	63.4	城東第五地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第590号	8.8	自由ヶ丘地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第590号	12.2	大久保地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第590号	2.0	美山団地地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第589号	58.3	安原第二地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第589号	18.8	賀田地区
〃	平成29年12月25日 弘前市告示第589号	6.6	樋の口地区
〃	平成27年8月7日 弘前市告示第411号	4.2	樹木・桔梗野地区
〃	令和4年10月14日 弘前市告示第516号	3.4	向外瀬地区
駐 車 場 整 備 地 区	平成6年4月8日 弘前市告示第86号	132.0	

(令和7年3月31日現在)

2 都市計画道路

都市計画道路の整備状況

(単位:km、%)

路 線 数	計画決定延長	改良済延長	進 捗 率
60	122.51	83.33	68.0

注)「青森県の都市計画」資料編 交通施設 都市計画道路・駅前広場総括表による (令和7年3月31日現在)

3 都市公園等

(1) 都市公園等の整備状況

(単位:箇所、ha)

区 分	整 備 済	
	箇 所	面 積
総 合 公 園	2	77.65
運 動 公 園	1	28.52
地 区 公 園	1	3.79
近 隣 公 園	8	14.33
街 区 公 園	85	22.47
幼 児 公 園	130	2.77
緑 地	89	16.12
墓 園	1	15.20
広 場 (街 角 広 場 含 む)	13	1.05
都 市 公 園 に 準 ず る 公 園	25	50.55
計	355	232.45
		墓域を除く
		227.35

(令和7年3月31日現在)

※ 都市のポイントとなる街角に歩行者の休憩や語らいの場、住民の交流の場となる街角広場の整備を進めており、令和6年度末現在で11か所、約6,676㎡が整備されている。

(2) 市民1人当たり公園等面積

区 分	行 政 区 域	都市計画区域	市 街 化 区 域
区 域 面 積 (ha)	約 52,420	約 17,897	約 2,835
人 口 (人)	157,988	143,576	112,445
公 園 等 数	355	355	320
公 園 等 面 積 (ha)	約 232.45 (227.35)	約 232.45 (227.35)	約 138.53
公 園 等 面 積 比 率 (%)	約 0.4 (0.4)	約 1.3 (1.3)	約 4.9
1人当たり公園等面積 (㎡)	約 14.7 (14.4)	約 16.2 (15.8)	約 12.3

注) ()内は墓域を除いた面積。

(令和7年3月31日現在)

4 市街地開発事業

(1) 土地区画整理事業の概要

本市の土地区画整理事業は、公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図るため、昭和40年の住宅供給公社による城西団地に始まり、令和元年までに18地区約735haに及び、市街化区域総面積の4分の1以上を占めるなど市街地形成の中心的役割を果たしてきた。

<土地区画整理事業実施状況一覧表>

(単位:ha、千円、%、人)

地 区 名		施行者	事業年度	施行面積	事業費	減歩率	権利者数	計画人口
施 行 済	城 西	住宅公社	S40 ～ S43	41.2	218,350	22.40	1	3,900
	城西第二	組 合	S44 ～ S46	7.1	56,561	31.10	25	650
	城 東	〃	S43 ～ S48	69.2	654,990	28.40	407	6,000
	城東第二	〃	S46 ～ S51	20.2	645,215	26.48	198	2,000
	城東第三 第一工区	〃	S46 ～ S49	23.6	228,500	29.03	202	2,100
	城東第三 第二工区	〃	S49 ～ S52	19.7	521,630	24.03	59	500
	駅 前 南	弘 前 市	S43 ～ S57	18.4	3,530,000	20.06) (12.82)	404	1,660
	和 徳	〃	S51 ～ S58	73.7	3,048,606	23.38	175	965
	安 原	組 合	S59 ～ H1	28.9	1,515,000	30.25	129	1,900
	茂森新町	〃	S60 ～ H1	5.8	265,300	41.24	16	460
	小 比 内	〃	S53 ～ H3	60.7	3,571,800	26.74	266	4,500
	宮 川	〃	S53 ～ H7	66.4	4,553,652	24.38	380	3,812
	賀 田	弘 前 市	S56 ～ H1	18.8	1,421,000	23.73	123	1,200
	城東第四	組 合	S59 ～ H7	119.1	10,261,244	30.25	356	8,000
	駅 前	弘 前 市	S54 ～ H14	29.7	36,100,000	16.82) (11.61)	622	2,900
	城東第五	組 合	H9 ～ H17	63.5	6,888,176	35.24	280	2,400
	安原第二	組 合	H11 ～ H18	58.3	7,807,000	45.42	179	3,000
	弘前駅前北	弘 前 市	H16 ～ R1	11.2	13,230,000	24.37) (18.78)	169	870

※ ()は、減価買取後の減歩率

(令和7年3月31日現在)

(2) 青森県住宅供給公社による事業

(単位:ha、千円、人)

地 区 名	事 業 年 度	事 業 面 積	事 業 費	計 画 人 口
栄 町	S42 ～ S46	4.9	115,120	700
桜ヶ丘	S44 ～ S56	37.4	1,501,000	4,500
宮 園	S51 ～ S59	11.2	1,780,000	1,300
浜 の 町	S53 ～ S58	4.3	634,700	600
宮 園 第 二	S57 ～ H3	28.2	6,455,000	3,000
宮 園 第 三	H2 ～ H15	24.0	6,929,000	1,900
ゆ め み の	H10 ～ H17	2.0	360,000	90
ゆめみの第二	H11 ～ H17	1.7	322,000	130
美 山	H10 ～ H19	2.8	703,300	160
城 東 第 五	H12 ～ H20	0.5	285,000	65
安 原 第 二	H11 ～ H20	1.2	520,000	130

※ 公社は平成21年3月末に解散したため、今後は事業予定なし。

(3) 開 発 行 為

(単位:ha)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市 街 化 区 域	1.5	2.2	0.8	1.8	0.6
市街化調整区域	1.7	2.4	0.8	0.4	0.3
計	3.2	4.6	1.6	2.2	0.9

(令和7年3月31日現在)

農 林 業

1	農 業	83
	(1)	総農家数及び農家世帯員数	
	(2)	経営耕地面積規模別経営体数	
	(3)	経営耕地のある経営体数 と経営耕地面積	
	(4)	経営耕地の状況	
2	りんご	84
	(1)	県別りんご収穫量	
	(2)	りんご結果樹面積	
	(3)	弘前市品種別りんご結果樹面積	
	(4)	青森県りんご加工量	
	(5)	りんご公園	
3	農業基盤の整備	87
	(1)	ほ場整備	
	(2)	農道	
4	林業	88
	(1)	森林資源	
	(2)	所有形態別森林面積	

1 農 業

令和2年（2020年）の農林業センサス 農林業経営体調査結果の概要(確定値)によると、本市の農家戸数は5,441戸で、平成27年の調査結果に比べ、946戸減少しています。

また、経営耕地面積は963,345aで140,155aの減となっており、1経営体当たり耕地面積は203.07aとなっています。本市の基幹作物であるりんごと米の販売動向が市の経済に与える影響は極めて大きいことから、今後も、生産コストの低減、省力栽培技術の導入・普及、消費者の嗜好に合った安全・安心な農作物生産への取り組みが重要となっています。

(1) 総農家数及び農家世帯員数

区 分	農 家 数(戸)			基幹的農業従事者数(人)(個人経営体のみ)	
	総農家数	販 売 農 家			自給的農家
		法人化している			
令 和 2 年	5,441	4,687	12	754	9,190

(2020年農林業センサス 農林業経営体調査結果の概要(確定値))

(2) 経営耕地面積規模別経営体数

(単位:経営体)

区 分	計	経営 耕地 なし	0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ha 以上
令 和 2 年	4,792	48	129	422	1,022	852	668	891	536	224

(2020年農林業センサス 農林業経営体調査結果の概要(確定値))

農林業経営体：農林産物の生産を行うか又は委託を受けて農林作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が規定に該当する事業を行う者をいう。

(3) 経営耕地のある経営体数と経営耕地面積

(単位:経営体、a)

区 分	実経営体数	面積計	田	畑	樹園地	1経営体 当たり 耕地面積 ②÷①
	①	②				
令 和 2 年	4,744	963,345	275,363	65,971	622,011	203.07

(2020年農林業センサス 農林業経営体調査結果の概要(確定値))

実経営体：経営耕地を有している経営体をいい、受託組織等を除く。

(4) 経営耕地の状況

(単位:a)

区 分	経営耕地 総面積	田の面積計			畑の面積計			樹園地
			稲作田	その他		作物	牧草地	
令和2年	963,345	275,363	231,314	44,049	65,971	62,840	3,131	622,011

(2020年農林業センサス 農林業経営体調査結果の概要(確定値))

2 り ん ご

(1) 県別りんご収穫量

(単位:千t、%)

県 別	令 和 4 年		令 和 5 年		令 和 6 年	
	実 数	構成比	実 数	構成比	実 数	構成比
青 森 県	439.0	59.6	374.4	62.0	370.5	60.8
長 野 県	132.6	18.0	106.9	17.7	106.4	17.5
岩 手 県	47.9	6.5	31.6	5.2	36.7	6.0
山 形 県	41.2	5.6	30.3	5.0	32.7	5.4
福 島 県	23.7	3.2	18.5	3.1	19.4	3.2
そ の 他	52.7	7.1	42.1	7.0	43.5	7.1
計	737.1	100.0	603.8	100.0	609.2	100.0

(青森農林水産統計年報、農林水産省HP)

(2) りんご結果樹面積

(単位:ha、%)

区 分	令 和 4 年		令 和 5 年		令 和 6 年	
	実 数	前年比	実 数	前年比	実 数	前年比
弘 前 市	8,159	△ 0.40	8,100	△ 0.70	8,095	△ 0.10
中 南	12,960	△ 0.10	12,936	△ 0.20	12,936	0.00
青 森 県	19,586	△ 0.20	19,526	△ 0.30	19,504	△ 0.10

(青森県りんご果樹課調べ)

(3) 弘前市品種別りんご結果樹面積

(単位:ha、%)

品 種 名	令 和 4 年		令 和 5 年		令 和 6 年	
	実 数	構成比	実 数	構成比	実 数	構成比
ふ じ	3,721	45.6	3,682	45.5	3,677	45.4
陸 奥	231	2.8	228	2.8	227	2.8
つ が る	935	11.4	931	11.4	931	11.5
王 林	862	10.6	854	10.5	851	10.5
ジョナゴールド	829	10.2	818	10.1	813	10.0
そ の 他	1,581	19.4	1,587	19.7	1,596	19.8
計	8,159	100.0	8,100	100.0	8,095	100.0

(青森県りんご果樹課調べ)

(4) 青森県りんご加工量

年産	収穫量	加工量	加工率	加工量のうち		
				果汁用加工量	果汁用加工率	果汁用原料価格
	t	t	%	t	%	円/kg
令和 3	415,700	62,369	15	51,411	82.4	38
4	439,000	81,178	18.5	67,759	83.5	41
5	374,400	79,136	21.1	67,792	85.7	42

(青森りんご流通対策要項)

(5) りんご公園

りんご公園は、りんごの知識や情報を提供するとともに、りんご産業の発展に寄与するため、昭和40年に青森放送株式会社より敷地966㎡の寄贈を受けて開設。

当市のりんご産業の歴史を後世に伝えとともに、四季を通して来園者がりんごに関する体験・学習・交流をより一層深めることを目的に、展示学習スペースのリニューアルや用地の拡張、スマート農業の導入などりんごの情報発信拠点として順次整備を行い、りんご生産者における更なる技術の発展と将来の担い手育成にも配慮した施設となっています。

<施設の概要>

敷地面積	約9.7ha
事業費	21億8千9百万円 (内訳) 平成9年度から平成13年度 10億6千万円 平成16年度から平成17年度 4千4百万円 平成26年度から平成30年度 10億8千5百万円
施設内容	<p>りんごの家 : りんごの栽培・歴史などを映像等で学習 (展示学習スペース、休憩スペース、飲食・喫茶コーナー、物産販売コーナー、研修室)</p> <p>りんご生産体験園 : りんごの生産体験や園地散策、りんごの品種の紹介</p> <p>○りんご品種 : 約80品種約2,300本、観賞りんご約300本</p> <p>もぎ取りできる品種 : 30品種</p> <p>品種見本 : 30品種</p> <p>花・実の綺麗なりんご : 20品種</p> <p>旧小山内家住宅 : りんご栽培の先駆者と農具の展示紹介</p> <p>木造一部2階建1棟257㎡ 文久3年(江戸末期)、市内高杉に建てられた農家住宅を移築復元 平成13年に市文化財に指定</p> <p>ふれあい広場 : 約5,400㎡ (芝生広場、遊具、ミニステージ、ふるさとの花・りんごの花歌碑1基)</p> <p>ピクニック広場 : 約2,100㎡ (休憩とバーベキューができる広場)</p> <p>すり鉢山 : 標高83m。藩政時代に鉄砲、大砲の的としてつくった人工の山。 近隣のりんご園や津軽の有名な山々を眺望できる。リンゴ追分歌碑1基。</p> <p>その他施設 : 土蔵(りんごやりんごジュースの冷蔵保管) トイレ4棟(屋外)、駐車場約12,800㎡(小型車460台、車いす使用者用7台、大型バス6台) 農機具格納庫1棟(鉄骨平屋140㎡) シャッター物置3棟(鉄骨平屋8.49㎡×3)</p>
開園期間	年中無休
開園時間	午前9時から午後5時まで(施設利用時間以外でも園内の散策は可能)
休園日	なし

3 農業基盤の整備

(1) ほ 場 整 備

(単位:ha、%)

年 度	水田面積	整備済面積	整備率	整備済の内訳		未整備面積
				30a以上	30a未満	
令和 2	4,170.0	3,065.0	73.5	1,799.4	1,265.6	1,105.0
3	4,160.0	3,058.0	73.5	1,794.7	1,263.3	1,102.0
4	4,140.0	3,043.0	73.5	1,786.0	1,257.0	1,097.0
5	4,140.0	3,043.0	73.5	1,786.0	1,257.0	1,097.0
6	4,140.0	3,043.0	73.5	1,786.0	1,257.0	1,097.0

(市農村整備課調べ)

(2) 農 道

農道の整備状況

(単位:ha、m、%)

年 度		総面積	農道延長	農道密度	改良済延長	改良率	舗装済延長	舗装率
令和 2	水田	4,170.0	546,633	125.7	424,461	77.7	53,393	9.8
	りんご園	8,864.0	680,458	75.4	376,024	55.2	512,897	75.3
令和 3	水田	4,160.0	546,633	125.7	424,461	77.7	53,393	9.8
	りんご園	8,843.0	680,458	75.4	376,024	55.2	514,759	75.6
令和 4	水田	4,140.0	546,633	125.7	424,461	77.7	53,393	9.8
	りんご園	8,812.0	680,458	75.4	376,024	55.2	515,986	75.8
令和 5	水田	4,140.0	546,633	125.7	424,461	77.7	53,393	9.8
	りんご園	8,753.0	680,458	75.4	376,024	55.2	516,910	75.9
令和 6	水田	4,140.0	546,633	125.7	424,461	77.7	53,393	9.8
	りんご園	8,095.0	680,458	77.7	376,024	55.2	517,853	76.1

(市農村整備課調べ)

4 林 業

(1) 森 林 資 源

(単位:千m³、ha)

区 分			平成14年度		令和6年度	
			蓄 積	面 積	蓄 積	面 積
立	人 工 林	針 葉 樹	929	3,934	1,291	3,875
		広 葉 樹	5	30	6	57
		計	933	3,964	1,297	3,932
木	天 然 林	針 葉 樹	155	775	160	642
		広 葉 樹	446	3,739	517	3,753
		計	602	4,514	677	4,396
地	総 数	針 葉 樹	1,084	4,709	1,451	4,517
		広 葉 樹	451	3,769	523	3,810
		計	1,535	8,479	1,974	8,327
無 立 木 地	伐 採 跡 地 未 立 木 地 計		0	23	0	153
			0	32	0	74
			0	54	0	228
合 計			1,535	8,533	1,974	8,555

(青森県森林資源統計書に基づく)

(2) 所有形態別森林面積

(単位:ha)

区 分		平成14年度	令和6年度
民 有 林	公 有 林	809	1,235
	公 社 造 林	409	0
	会 社 有 林	82	271
	そ の 他	7,235	7,049
	計	8,535	8,555
国 有 林	官 行 造 林	8	0
	林 野 庁 所 管	15,085	15,077
	計	15,093	15,077
合 計		23,626	23,631

注)その他には、共有林、社寺有林、森林組合有林、部落有林を含む。

(青森県森林資源統計書に基づく)

※表中に四捨五入の関係で計算が合わない箇所があります。

商 工 ・ 観 光

1	商 業	89
	(1) 産業分類別商店数、従業員数、 年間商品販売額		
	(2) 大 規 模 小 売 店 舗		
2	工 業	91
	(1) 産 業 中 分 類 別 事 業 所 数、 従 業 者 数、製 造 品 出 荷 額 等		
	(2) 誘 致 企 業 一 覧		
3	金 融	94
	(1) 融 資 制 度 の 利 用 状 況		
	(2) 青森県信用保証協会の保証状況		
4	観 光	95
	(1) 主 な 年 中 行 事		
	(2) 観 光 ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン 客 入 込 数		
	(3) 宿 泊 施 設 数		
5	弘 前 市 立 観 光 館	97
6	旧 東 奥 義 塾 外 人 教 師 館	97
7	山 車 展 示 館	97
8	弘 前 公 園	98
	(1) 弘 前 公 園 沿 革		
	(2) 弘 前 城 園		
	(3) 弘 前 城 植 物 園		
	(4) 緑 の 相 談 所		
	(5) 弘 前 城 情 報 館		
9	藤 田 記 念 庭 園	101
10	野 外 活 動 施 設 等	101
	(1) 弥 生 い こ い の 広 場		
	(2) こ ど も の 森		
	(3) 星 と 森 の ロ マ ン ト ピ ア		

1 商 業

(1) 産業分類別商店数、従業員数、年間商品販売額

令和3年経済センサス活動調査による本市商業の概況は、商店数1,774店、常時従業員数15,351人、年間商品販売額4,683億1,300万円となっている。

区分	平成28年			令和3年		
	商店数 (店)	常時従業員数 (人)	年間商品販売額 (百万円)	商店数 (店)	常時従業員数 (人)	年間商品販売額 (百万円)
総 業	1,833	14,949	492,637	1,774	15,351	468,313
卸 売 業	376	3,883	263,312	363	3,980	249,706
小 売 業	1,457	11,066	229,326	1,411	11,371	218,608
各種商品	5	680	21,053	8	630	14,555
織物・衣服 身のまわり品	190	774	12,068	172	787	10,035
飲 食 料 品	446	4,096	67,815	419	4,269	59,673
自動車・自転車	133	997	30,763	153	989	28,485
家具・建具 じゅう器	102	494	12,342	94	725	13,609
そ の 他	530	3,560	79,321	508	3,504	79,414
無 店 舗	51	465	5,964	57	467	12,837

(経済センサス活動調査)

※各項目の金額は単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と総数が一致しない場合がある。

(2) 大規模小売店舗(店舗面積1,000㎡以上のもの)

大規模小売店舗立地法(新大店法)及び大規模小売店舗法(旧大店法)に基づき、県に届出があった店舗を掲載しております。

※閉店となっても廃業の届出がない店舗については、掲載しております。

(単位:㎡)

大規模小売店舗名	所在地	形態	営業開始年月	建物延床面積	店舗面積
中 三 弘 前 店	土手町49-1*	百貨店	昭和 43 年 9 月	26,488	20,434
弘前食料品市場(協)	駅前町12-1*	寄合百貨店	昭和 47 年 9 月	2,177	1,255
イトーヨーカ堂弘前店	駅前三丁目2-1*	総合スーパー	昭和 51 年 10 月	52,554	20,885
ルネスアベニュー	土手町78*	専門店	昭和 55 年 2 月	3,752	2,469
ベニーマート松原店	中野四丁目4-9	スーパー	昭和 56 年 12 月	1,783	1,371
アプリーズ弘前店	表町2-11*	専門店	昭和 57 年 4 月	9,427	3,038
川 島 ビ ル	土手町126-1*	専門店	昭和 58 年 9 月	14,613	1,974
サンワドー弘前城東店	高田三丁目1-1	専門店	昭和 62 年 8 月	2,592	2,038
弘前駅前共同ビル	大町一丁目1-2*	専門店	平成 2 年 1 月	17,713	2,641
タケダスポーツ弘前バイパス店	城東北四丁目5-5	専門店	平成 4 年 7 月	1,389	1,009
ユニバース堅田店	青山二丁目23-1	スーパー	平成 4 年 11 月	4,803	3,018
サンワドー弘前堅田店	堅田字神田378-1	専門店	平成 5 年 3 月	2,435	1,800

大規模小売店舗名	所在地	形態	営業開始年月	建物延床面積	店舗面積
さくら野弘前店	城東北三丁目10-1	百貨店	平成 5 年 10 月	60,024	24,491
さくら野弘前店 ラフォルテ	高崎二丁目15-1	専門店	平成 6 年 9 月	32,896	2,322
スーパースポーツゼビオ弘前店	高田五丁目1-1	専門店	平成 7 年 5 月	6,651	3,448
サンデー弘前店	八幡町三丁目1-5	専門店	平成 9 年 4 月	4,105	3,697
サンデー弘前石渡店	石渡四丁目5-1	専門店	平成 9 年 12 月	4,894	4,448
ユニバース南大町店	南大町一丁目10-1	スーパー	平成 10 年 11 月	6,098	4,424
保険調剤薬局タイキファーマシー城東北店	城東北四丁目4-20	専門店	平成 11 年 6 月	2,001	1,000
スーパードラッグアサヒ弘前堅田店	宮川一丁目2-13	専門店	平成 11 年 11 月	2,613	2,012
サンワドー弘前城東店2号館	高田三丁目2-1	専門店	平成 12 年 11 月	4,800	2,000
カブセンター弘前店	高田四丁目2-10	スーパー	平成 14 年 9 月	6,047	3,453
スーパードラッグアサヒ南大町店	取上一丁目1-1	専門店	平成 14 年 11 月	1,769	1,145
安原ショッピングセンター	泉野一丁目4-5	スーパー	平成 15 年 4 月	12,411	11,098
ケーズデンキ	高田四丁目2-7	専門店	平成 15 年 7 月	10,243	4,454
城東タウンプラザ	早稲田四丁目2-1外	スーパー	平成 15 年 8 月	20,203	11,550
洋服の青山ダイソー&アオヤマ100円プラザ	早稲田四丁目5-1外	専門店	平成 16 年 3 月	1,883	1,473
カブセンター神田店	神田三丁目2-8	スーパー	平成 16 年 4 月	3,501	3,154
萬屋弘前大清水店	大清水一丁目9-20	専門店	平成 16 年 8 月	2,090	1,449
TSUTAYA Wonder GOO弘前店	高田二丁目1-1	専門店	平成 16 年 11 月	9,458	4,463
ニトリ弘前店	末広二丁目1-4	専門店	平成 16 年 11 月	8,442	6,943
ファッションモール城東高田	高田四丁目3-5	専門店	平成 17 年 12 月	2,289	2,034
弘前アルカディアショッピングセンター	扇町三丁目1-1外	スーパー	平成 18 年 4 月	4,172	3,004
コジマ×ビックカメラ弘前店	城東北四丁目6-3	専門店	平成 18 年 11 月	3,220	2,400
イオンタウン弘前樋の口	樋の口二丁目9-6	スーパー	平成 18 年 12 月	17,995	12,300
薬王堂弘前若葉町店	清水一丁目2-2	専門店	平成 19 年 8 月	1,829	1,536
薬王堂弘前安原店	泉野五丁目5-1	専門店	平成 19 年 8 月	1,752	1,516
ユニバース松原店	松原東一丁目3-1外	スーパー	平成 25 年 2 月	2,152	1,465
ヒロロ	駅前町9-20*	専門店	平成 25 年 7 月	50,455	22,168
ドン・キホーテ弘前店	高田五丁目2-8	専門店	平成 25 年 9 月	3,422	2,536
テックランドNew弘前神田店	神田一丁目7-2	専門店	平成 25 年 10 月	9,894	4,967
メガ城東北店	城東北四丁目4-10	専門店	平成 25 年 11 月	1,675	1,376
萬屋弘前城東店	和泉一丁目2-1	専門店	平成 27 年 9 月	2,261	2,104
ハルル樹木	樹木五丁目7-1外	スーパー	平成 28 年 12 月	9,829	7,823
メガ弘前駅前店	駅前二丁目8-16	専門店	平成 30 年 4 月	1,663	1,325
弘前田園複合施設	田園三丁目5-12外	専門店	平成 31 年 4 月	1,290	1,126
いとく浜の町店	浜の町西一丁目5-21外	スーパー	令和 元年 7 月	4,649	3,638
コープあおもり和徳店	野田二丁目2-18外	スーパー	令和 元年 11 月	2,626	1,558
メガ富田店	富田三丁目7-8外	専門店	令和 3 年 9 月	1,646	1,340
いとく弘前末広店	末広5丁目1-4外	スーパー	令和 3 年 11 月	2,999	2,199
ツルハドラッグ弘前岩木店	一町田字村元714外	専門店	令和 4 年 5 月	1,257	1,127
ハッピー・ドラッグ弘前岩木店	一町田字村元712-1外	専門店	令和 4 年 8 月	1,353	1,212
ツルハドラッグ弘前境関店・ローソン弘前境関店	境関一丁目2-2外	専門店	令和 4 年 10 月	1,602	1,432
コメリパワー弘前店	向外瀬豊田217外	専門店	令和 6 年 4 月	9,967	9,157

*…大規模小売店舗立地法上の特例区域設定(平成21年6月8日付)により、店舗面積は設定以前の数値

(令和7年3月31日現在、青森県:大規模小売店舗立地法届出状況、市独自調査)

2 工 業

2023年経済構造実態調査製造業事業所調査地域別統計表によると、弘前市における製造業の事業所（個人経営を含まない全事業所）は172事業所、従業者数7,692人、製造品出荷額等222,137百万円である。

（1）産業中分類別事業所数、従業者数、製造品出荷額等

区 分	調査年 令和5年		
	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等(万円)
総 数	172	7,692	22,213,676
食 料 品	37	972	1,462,843
飲 料 ・ た ば こ ・ 飼 料	14	331	883,542
織 維 工 業	12	725	357,835
木 材 ・ 木 製 品	6	85	85,481
家 具 ・ 装 備 品	4	71	124,681
パルプ・紙・紙加工品	6	60	151,249
印 刷 ・ 同 関 連 業	13	262	346,417
化 学 工 業	2	18	X
石 油 製 品 ・ 石 炭 製 品	1	8	X
プ ラ ス チ ッ ク 製 品	6	305	760,501
窯 業 ・ 土 石 製 品	10	193	328,161
鉄 鋼 業	3	97	225,374
金 属 製 品	13	149	324,646
は ん 用 機 械 器 具	4	30	33,495
生 産 用 機 械 器 具	3	56	52,581
業 務 用 機 械 器 具	11	2,163	6,480,000
電子部品・デバイス・電子回路	8	1,771	9,794,803
電 気 機 械 器 具	7	206	562,917
情 報 通 信 機 械 器 具	2	28	X
そ の 他	10	162	121,607

（2023年経済構造実態調査 製造業事業所調査 地域別統計表）

注) 事業所数及び従業者数は令和5年6月1日現在、製造品出荷額等は令和4年1月～令和4年12月の実績。

注) Xについては、非公表。

(2) 誘致企業一覧

昭和34年から令和7年3月末現在まで、弘前市の誘致企業となった企業数は延べ80社に及び、従業者数、出荷額ともに市内の製造業に占める割合は高く、雇用の創出、地域経済の活性化に大きな役割を果たしている。（令和7年3月末現在の誘致企業数：42社）

企 業 名	所 在 地	誘 致 認 定 年 月	操 業 年 月	業 種
ニッカウキスキー(株)弘前工場	栄町2丁目	S35. 10	S35. 10	酒 類 製 造 販 売 業
共和コンクリート工業(株)弘前工場	石川字中川原	S39. 7	S39. 7	コンクリートブロック製造業
(株) タ ム ロ ン 青 森 工 場	清水3丁目	S42. 10	S42. 11	業 務 用 機 械 器 具 製 造 業
日本パルスモーター(株)岩木工場	高屋字安田	S49. 7	S50. 9	電 気 機 械 器 具 製 造 業
弘 前 航 空 電 子 (株)	清野袋5丁目	S54. 3	S55. 6	電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路 製 造 業
弘 前 八 紘 (株)	神田2丁目	S57. 4	S57. 4	電 気 機 械 器 具 製 造 業
キ ャ ノ ン プ レ シ ュ ン (株)	清野袋5丁目	S59. 7	S61. 11	電 気 機 械 器 具 製 造 業
中 村 弘 前 (株)	清野袋5丁目	S63. 5	H2. 2	そ の 他 の 製 造 業
(株)みちのくジーンズ弘前工場	小沢字大開	H1. 2	H1. 7	繊 維 工 業
(株)センチュリーテクノコア弘前工場	清野袋3丁目	H1. 5	H2. 4	繊 維 工 業
(株) コ ー ア	神田1丁目	H2. 7	H3. 5	金 属 製 品 製 造 業
(株) オ オ ト リ テ ク ニ カ	小沢字大開	H2. 7	H5. 4	生 産 用 機 械 器 具 製 造 業
音羽電機工業(株)弘前工場	岩賀1丁目	H3. 1	H5. 4	電 気 機 械 器 具 製 造 業
明治安田システム・テクノロジー(株) 弘 前 開 発 セ ン タ ー	代官町	H4. 3	H8. 10	情 報 サ ー ビ ス 業
コ ス モ 食 品 (株) 藤 野 工 場	藤野2丁目	H10. 2	H10. 10	食 料 品 製 造 業
(有) 八 王 子 機 熱 弘 前 工 場	藤野2丁目	H10. 6	H10. 10	精 密 機 械 部 品 製 造 業

企 業 名	所 在 地	誘致 認定年	致 定月	操 業 年 月	業 種
三光化成(株) 第二事業部 弘前工場	藤野2丁目	H11.	7	H12. 3	プラスチック製品製造業
(株) ウェバランス	駅前町	H14.	3	H14. 4	情報サービス業
ゴールドパック(株) 青森工場	清水2丁目	H18.	11	H18. 11	食料品製造業
ダイヘン青森(株)	岩賀1丁目	H21.	4	H21. 4	電気機械器具製造業
(株) バリュース H R 弘前データセンター	駅前町	H21.	7	H21. 9	情報サービス業
(株) NTT東日本サービス営業推進部 事業推進部門 弘前光受付センタ	本町	H24.	10	H24. 10	コールセンター業
(株) バリュース H R 弘前オペレーションセンター (カスタマーグループ)	富田3丁目	H27.	9	H27. 11	コールセンター業
(株) コバヤシ 弘前工場	城東北4丁目	H29.	5	S49. 8	プラスチック製品製造業
エア・ウォーター東日本メディエス(株) 弘前滅菌センター	扇町1丁目	H29.	12	H30. 3	滅菌業
(株) 大林デザインパートナーズ 弘前事務所	駅前2丁目	H30.	4	H25. 11	情報サービス業
(株) バリュース H R 弘前オペレーションセンター (オペレーショングループ)	富田3丁目	H30.	8	R2. 7	情報サービス業
(株) シーエス・プレナー 弘前コールセンター	城東北3丁目	H31.	1	H31. 2	コールセンター業
(株) グロツプ 弘前コンタクトセンター	土手町	R1.	5	R1. 7	コールセンター業
(株) エスプールリンク 弘前エントリーセンター	城東北3丁目	R2.	1	R2. 4	コールセンター業
(株) コバヨウ 青森工場	藤野2丁目	R2.	7	R2. 7	ドラム缶再生業
CFG マーケティング(株) 弘前コンタクトセンター	駅前町	R3.	5	R3. 7	コールセンター業
(株) グロツプ 弘前 BPO センター	土手町	R3.	6	未操業	情報サービス業
(株) エスプールグローバル 弘前支社	城東北3丁目	R3.	7	R3. 9	情報サービス業
(株) ストラテジーテック・コンサルティング デジタルイノベーションセンター 弘前	土手町	R3.	11	R3. 12	情報サービス業

企 業 名	所 在 地	誘致 認定年	月	操 業 年 月	業 種
(株)シーエス・プレナー 弘前コンタクトセンター	城東北3丁目	R4.	1	R4. 4	コ ー ル セ ン タ ー 業
(株)エントリ シェアジョブ農家さん相談弘前支店	城東北3丁目	R4.	6	R4. 8	情 報 サ ー ビ ス 業
P S P (株) 弘 前 営 業 所	北瓦ヶ町	R4.	8	H17. 9	情 報 サ ー ビ ス 業
中部電力パワーグリッド(株) 弘前 B O センター	城東北3丁目	R4.	10	R5. 4	情 報 サ ー ビ ス 業
グ ラ ウ ド (株) 青 森 営 業 所	北瓦ヶ町	R5.	9	H30. 7	コ ー ル セ ン タ ー 業
エ ル ナ ー (株) 青森工場 第2工場(弘前工場)	神田5丁目	R6.	6	未操業	電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路 製 造 業
エコビジネスソフトウェア(株) 弘 前 オ フ ィ ス	鍛冶町	R6.	11	R6. 11	情 報 サ ー ビ ス 業

(令和7年3月末日現在)

3 金 融

(1) 融資制度の利用状況

(単位:百万円)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小 口 資 金 特 別 保 証 融 資	2,641	2,234	2,714	1,675	1,640
小 口 零 細 企 業 特 別 保 証 融 資	242	116	151	285	211
協同組合・地場産業 等 振 興 資 金	15,962	14,038	12,014	9,768	11,826
事業活性化資金 特 別 保 証 融 資	1,189	1,266	1,522	1,867	1,770
商業近代化資金	70	15	5	1	0
工場・IT整備資金	0	0	0	0	0
計	20,104	17,669	16,406	13,596	15,447

(2) 青森県信用保証協会の保証状況(弘前市分)

(単位:件、百万円)

年 度	保 証 承 諾	
	件 数	金 額
令和2	2,245	28,672
3	1,087	11,103
4	1,104	11,526
5	1,486	17,424
6	1,407	17,299

(青森県信用保証協会調べ)

4 観 光

本市は、弘前城跡を始めとする歴史的遺産と美しい自然に囲まれており、豊かな観光資源を有している。四季それぞれの情緒豊かな四大まつりを主体として通年観光を確立し、観光及び観光関連産業の振興を図ってきた。近年では観光客のニーズが多様化し、地域の生活文化そのものが魅力となっており、市では津軽地域全体を世界自然遺産白神山地を舞台背景とする一つの劇場に見立て、観光客も地域住民も共に共感・共鳴できる感動と交流の新しい旅のスタイルである「弘前感交劇場」をキーワードに、関係者をはじめ市民一丸となって滞在型観光に向けた魅力創出に努め、本市の観光振興を図っていくこととしている。

(1) 主な年中行事

行 事 名	開 催 期 間	開 催 場 所
弘前さくらまつり	4 月 中 旬 ～ 5 月 上 旬	弘 前 公 園
弘前ねぶたまつり	8 月 1 日 ～ 8 月 7 日	市 内 一 円
弘前城菊と紅葉まつり	10 月 下 旬 ～ 11 月 上 旬	弘 前 公 園
弘前城雪燈籠まつり	2 月 上 旬	弘 前 公 園
お 山 参 詣	旧暦8月1日	岩 木 山 神 社

(2) 観光・レクリエーション客入込数

(単位:千人)

年 度	弘 前 さくらまつり	弘 前 ねぶたまつり	弘前城 菊と紅葉まつり	弘前城 雪燈籠まつり	お 山 参 詣	合計
令和 2	-	-	-	45	-	45
3	207	-	43	-	-	250
4	336	910	43	220	40	1,549
5	2,040	1,390	499	200	70	4,199
6	2,450	1,440	384	230	70	4,574

(観光課調べ)

(3) 宿泊施設数

(単位:軒、室)

年 度	ホテル・旅館		簡 易 宿 所		総 数	
	施設数	客室数	施設数	客室数	施設数	客室数
令和 2	73	2,689	46	148	119	2,837
3	70	2,645	45	160	115	2,805
4	67	2,609	48	171	115	2,780
5	62	2,494	45	168	107	2,662
6	60	2,392	44	174	104	2,566

(中南保健所調べ)

5 弘前市立観光館

弘前市の観光の拠点となる施設で、当市を訪れる観光客や市民に観光情報を提供するだけでなく、コミュニケーションの場としても活用されている。

<施設の概要>

建物延面積	3,489.66 m ²
施設内容	1階 — インフォメーション、レストラン、ねふた展示コーナー、 観光情報コーナー、物産販売コーナー、多目的ホール、 物産協会事務室 2階 — 津軽塗・民芸品展示コーナー、友好都市コーナー、 観光コンベンション協会事務室
開館時間	午前9時～午後6時 ※有料施設(多目的ホール) 午前9時～午後10時
休館日	12月29日から1月3日(臨時閉館の場合あり)
入館料	無 料

6 旧東奥義塾外人教師館

東奥義塾高等学校には、創立当時から外人教師がおり、初めて教師館ができたのは明治23年である。しかし、これは同32年に全焼し、翌33年に再建されたのが今の建物である。設計はアメリカ人のメソジスト伝道本部、施工は堀江佐吉と伝えられる。

レンガ積みの基礎に木造二階建、質実堅牢でシンプルな仕上げであり、昭和63年に市に寄贈され、復元、平成5年に県重宝に指定されている。

<施設の概要>

建物延面積	341.04 m ²
事業費	4,487 万円
施設内容	1階 — 喫茶室 2階 — (一社)Clan PEONY 津軽執務室(一般見学可)
開館時間	午前9時～午後6時(喫茶店は午前9時30分～午後6時)
休館日	12月29日から1月3日
入館料	無 料

7 山車展示館

弘前市に現存する藩政時代からの山車を展示するとともに、長く後世に伝えるため平成6年4月にオープンした。

弘前の山車は、人形を中心とした高欄つきの山車で、四代藩主津軽信政公の時代の天和2年(1682年)8月15日の弘前八幡宮祭礼施行の際、神輿の露払いとして各町内の若衆たちにより繰り出されたのが初めである。

また、同展示館には市制施行百周年の際寄贈された津軽剛情張大太鼓も保管展示されている。

<施設の概要>

建物延床面積	680.01 m ²
事業費(建築費)	395,694 千円
開館時間・休館日・入館料	とも弘前市立観光館と同じ。

8 弘前公園(弘前城跡)

弘前城は、弘前藩初代藩主津軽為信^{ためぶ}が計画し、2代藩主信枚^{のぶひら}により1611年に築城されたが、五層の天守は16年後（1627年）に落雷により焼失した。現在の天守は北方警備の功績により10万石になったのを契機に1810年に造営したものである。城跡は築城当初に極めて近い形状を今日に伝えており、全国的にも貴重な遺産となっている。現在、城跡は弘前公園として開放され弘前市の顔として国内外から多くの観光客が訪れている。また、市民の憩いの場として親しまれており、朝夕の散歩を初め、軽スポーツやピクニック、春には桜まつり、秋には菊と紅葉まつり、冬には雪燈籠まつりの会場など、多種多様な形態で利用されている。



(1) 弘前公園沿革

慶長	16 年 (1611)	高岡城(弘前城)築城
寛永	5 年 (1628)	高岡を「弘前 ^{ひろさき} 」と改称
明治	4 年 (1871)	廃藩置県 城地全域兵部省の管轄に入る
	15 年 (1882)	城跡に桜1,000本が植えられる
	28 年 (1895)	「弘前公園」として開放
	41 年 (1908)	皇太子来弘、「鷹揚園」と命名される
	42 年 (1909)	樹木や建造物を含む城跡の大部分が市有地となる
大正	7 年 (1918)	第1回観桜会開催
昭和	12 年 (1937)	天守を含む8棟の建造物が国宝保存法に基づく「国宝」に指定される
	23 年 (1948)	総合公園として都市計画決定 49.2ha
	24 年 (1949)	三の丸に弘前市営球場開場
	27 年 (1952)	文化財保護法による史跡指定
	28 年 (1953)	三の丸東門が文化財保護法に基づく「重要文化財」に指定される
	37 年 (1962)	第1回菊ともみじまつり開催
	39 年 (1964)	三の丸に市民会館開館
	52 年 (1977)	第1回弘前城雪燈籠まつり開催 三の丸に市立博物館開館
	54 年 (1979)	弘前市営球場跡地に市民広場開場
	56 年 (1981)	三の丸に緑の相談所開設
	63 年 (1988)	弘前城植物園開園
平成	元 年 (1989)	さくらまつり期間中入園料有料化(本丸・二の丸) 「日本の都市公園100選」認定(緑の文明学会・(財)日本公園緑地協会)
	2 年 (1990)	「日本さくら名所100選」認定((財)日本さくらの会)
	4 年 (1992)	公園内下水道整備完了
	7 年 (1995)	公園開園百周年
	13 年 (2001)	電線類幹線地下埋設完了
	14 年 (2002)	北の郭整備完了
	15 年 (2003)	本丸・北の郭入園有料化(4月1日から11月23日)
	18 年 (2006)	「日本100名城」認定((財)日本城郭協会) 「日本の歴史公園100選」認定(都市公園法施行50周年記念事業実行委員会)
	19 年 (2007)	「美しい日本の歴史的風土100選」認定((財)古都保存財団)
	23 年 (2011)	弘前城築城400年
	26 年 (2014)	本丸石垣修理事業着手
	30 年 (2018)	二の丸に弘前城情報館開設・弘前観桜会100周年
令和	2 年 (2020)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため弘前公園内を一時閉鎖し、園内閉鎖に伴い追手門、東門、北門を一時閉門(4月10日から5月17日)

(2) 弘前城(本丸・北の郭)

本丸は、面積1.42haで四方に石垣が築かれ、藩政時代には御殿や能舞台が建てられていたが、現在はソメイヨシノやシダレザクラをはじめ、数多くの桜が植栽され、ここから秀峰岩木山(標高1,625m)を望める。また、文化7年(1810年)に再建された天守は、全国で現存する12天守の一つで、国指定の重要文化財となっている。

北の郭は、面積0.93haで本丸の北に位置し、発掘調査により、子の櫓のほか、館神、靱蔵などの跡が確認され、遺構表示している。江戸時代前期には藩主の家族が暮らす屋敷等が置かれていたことから、本丸に次ぐ重要な郭である。

有 料 期 間	4月1日から11月23日まで
有 料 時 間	午前9時から午後5時まで (さくらまつり期間は午前9時から午後9時まで)
無 料 開 放 日	5月最後の日曜日
休 園 日	有料期間中は無休

(3) 弘前城植物園

弘前城植物園は、弘前城三の丸整備の一環として昭和54年度から始められた都市緑化植物園整備事業の1つとして、昭和56年度に着工、昭和63年5月に開園したものである。

本植物園は、面積7.65haの園内に23の区画を設け、約1,500種124,000本の樹木、草花を植栽しており、主な見所としては、江戸末期の優れた築庭法により造られた「三の丸庭園」、津軽地方の庭園文化を象徴する「大石武学流庭園」、ハスやハナショウブの「湿性植物園」、ブナを主体とした「白神山地生態園」のほか、サクラの品種を集めた「さくらの園」などがある。

開 園 期 間	4月中旬から11月23日まで
開 園 時 間	午前9時から午後5時まで(入園券の販売は午後4時30分まで)
無 料 開 放 日	5月最後の日曜日
休 園 日	開園期間中は無休

(4) 緑の相談所

緑の相談所は、緑に関する相談窓口のほか、講習会及び展示会を開催し、緑に関する知識を育む場所として昭和56年に開設。弘前城植物園とともに弘前市の緑化の拠点施設である。

<施設の概要>

施 設 内 容	緑の相談室、休憩室、常設展示場、集会室、図書コーナー、授乳室
開 館 期 間	1月4日から12月28日まで
開 館 時 間	午前9時から午後5時まで
休 館 日	毎週月曜日(祝日のときはその翌日)※4月1日から11月23日は無休

(5) 弘前城情報館

弘前城の歴史や城郭構造をビジュアルで紹介するとともに、周辺の観光インフォメーション機能を有する施設。

<施設の概要>

施設内容	展示室、ガイドンス室、授乳室、公衆トイレ
開館期間	通年開館
開館時間	午前9時から午後5時まで (さくらまつり期間は、午前9時から午後9時まで)
休館日	無休

9 藤田記念庭園

この庭園は、弘前市出身の日本商工会議所初代会頭 藤田謙一氏が邸宅を構えるに当たって、大正8年に東京から庭師を招いて造らせた江戸風な景趣の庭園である。

庭園の高台部は岩木山を眺望する借景式庭園で、洋館などの建築物は大正ロマンを伝える貴重な遺産となっており、低地部は池泉廻遊式庭園で、茶屋から眺める池やハナショウブ、さらに崖地のツツジや滝、反橋など景趣の変化と四季折々の風景を楽しむことができる。

<施設の概要>

敷地面積	24,597.95 m ²
施設内容	登録有形文化財 … 洋館(2階第1・2会議室 有料)、和館、 匠館(旧考古館)、東案内所(両袖番屋)、冠木門 その他施設 … 茶屋(松風亭 有料)、西案内所
開園期間	4月中旬から11月23日まで
開園時間	午前9時から午後5時まで(入園券の販売は午後4時30分まで)
無料開放日	6月最後の日曜日
休園日	開園期間中は無休

10 野外活動施設等

(1) 弥生いこいの広場

弥生いこいの広場は、雇用促進事業団が設置した勤労者福祉のための余暇活動施設「弘前勤労者野外活動施設」として昭和51年に開設。本施設は、雇用促進事業団からの受託施設だったが、昭和58年に動物広場を建設したことに伴い、自然環境を活用した市民の憩いの場と位置づけ、弘前市野外活動施設「弥生いこいの広場」として開設した。

所在地	弘前市大字百沢字東岩木山2480番地1
開設月日	昭和51年9月
面積	159,385 m ²
施設内容	ピクニック広場、ポニーボート等、ハイランドハウス(休憩室・食堂・売店)、 動物広場(ニホンザル他哺乳類20種、ペンギン他鳥類20種、爬虫類1種、 ポニー乗馬等)、オートキャンプ場
開設期間	4月中旬から11月上旬まで
開館時間	午前9時から午後4時30分(オートキャンプ場を除く)
定休日	開設期間中は無休(動物広場のみ繁忙期を除く月曜日)

(2) こどもの森

こどもの森は、久渡寺山を中心として多くの動植物が生息する自然豊かな森を活かした市民憩いの場で、自然教室や体験型イベントが楽しめる施設である。

平成元年には、環境庁の「ふるさといきものの里」の認定を受けている。

所在地	弘前市大字坂元字山元地内
開設月日	昭和44年5月
面積	約 207 ha
施設内容	ビジターセンター、学習植物園、キャンプ場、あそびの森、ハイキングコース
開設期間	ビジターセンターの開設期間 4月1日から11月30日 12月1日から3月31日は、土・日・祝日。市内小中学校冬・春休み
開館時間	午前8時30分から午後4時30分
定休日	火曜日(祝日のときはその翌日) 12月29日から1月3日まで。12月1日から3月31日は市内小中学校冬・春休み以外の平日

(3) 星と森のロマンТПィア

星と森のロマンТПィアは、旧相馬村の村制施行百周年記念の一環として平成元年に開設。平成7年にはロマンТПィアの拠点施設である温泉付宿泊施設「農林漁業体験実習館白鳥座」が完成。コテージ「満天ハウス」12棟や温泉、ペアリフト・ナイター照明付のスキー場、温水プール(25m)、テニスコートなど観光・レクリエーション・スポーツ施設が整備され、体験や交流、グリーンツーリズム、スポーツ・レジャー等で一年中楽しめる施設となっている。

所在地	弘前市大字水木在家字桜井113番地2
開設月日	平成元年4月
面積	約 28.6 ha
施設内容	農林漁業体験実習館白鳥座、満天ハウス、体験学習館、テニスコート、多目的広場、バーベキューハウス、天文台、スキーリフト ※ ロマンТПィアスキー場については、132ページに詳細を掲載しています。
開設期間	一年中
開館時間	24時間

教育・文化

1	学 校	103
	(1) 学 校 の 状 況		
	(2) 専修学校・各種学校の状況		
	(3) 市内の大学・短期大学		
	(4) 中学校卒業生の進路状況		
	(5) 高等学校卒業生の進路状況		
2	社 会 教 育 ・ 文 化	106
	(1) 市民会館・弘前文化センター・ 岩木文化センター・市民文化交流館		
	(2) 公 民 館		
	(3) 弘 前 図 書 館		
	(4) 岩 木 図 書 館		
	(5) 駅前分室こども絵本の森		
	(6) 相馬ライブラリー		
	(7) 旧弘前市立図書館		
	(8) 郷土文学館		
	(9) 百石町展示館		
	(10) 博物館		
	(11) 鳴海要記念陶房館		
	(12) 高岡の森弘前藩歴史館		
	(13) 弘前れんが倉庫美術館		
3	社 会 体 育	119
	(1) 体育施設の概要		
	(2) 体育施設別利用状況		
4	学 校 給 食	128
	(1) 弘前市東部学校給食センター		
	(2) 弘前市西部学校給食センター		
	(3) 自校式給食校		
	(4) 給食実施状況		
5	文 化 財	129
	(1) 文化財件数一覧		
	(2) 国指定文化財		
	(3) 国登録有形文化財		
	(4) 国登録記念物		
	(5) 記録作成等の措置を講ずべき無形の文化財		
	(6) 重要美術品（旧法）		
	(7) 県指定文化財		
	(8) 市指定文化財		
6	総 合 学 習 セ ン タ ー	138
	(1) 全体の概要		
	(2) 各施設の事業の概要		

1 学 校

本市は、国立大学法人弘前大学を初めとして、私立大学3校、私立短期大学2校を有し、津軽地域の教育文化の中心地となっている。

市立小・中学校については、小学校32校、中学校16校のうち建築から40年を経過した学校施設が6割以上となっており、その老朽化対策が喫緊の課題となっている。

子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、校舎等の改築のほか、トイレ環境改善、屋根の葺き替え、体育館暖房設備の改修など、教育環境の整備を進めている。

教育機器整備としては、平成27年度からICT活用教育推進事業に着手し、全ての市立小・中学校に実物投影機及びプロジェクターを配備した。加えて、国のGIGAスクール構想に基づき、令和2年度末までに全ての児童生徒への1人1台の端末配備と校内通信ネットワークの整備を終えた。

令和6年度の学校基本調査によると、本市の令和6年3月卒業者の高等学校等進学率は99.3%であり、昨年度から0.2%上昇している。大学等進学率は57.5%と昨年度から3.4%低下している。

(1) 学校の状況

(単位:校、人)

区 分	学 校 数				本 教 員 数	児 童 ・ 生 徒 ・ 学 生 数		
	総 数	国 立	公 立	私 立		総 数	男	女
総 数	81	5	56	20	2,636	25,440	13,156	12,284
幼 稚 園	10	1	0	9	86	409	195	214
小 学 校	33	1	32	0	589	6,959	3,652	3,307
中 学 校	19	1	16	2	384	3,799	1,912	1,887
高 等 学 校	9	0	5	4	412	5,169	2,642	2,527
全 日 制	9	0	5	4	412	5,169	2,642	2,527
定 時 制	0	0	0	0	0	0	0	0
聾 学 校	1	0	1	0	17	9	6	3
養 護 学 校	3	1	2	0	168	285	198	87
短 期 大 学	2	0	0	2	49	407	130	277
大 学	4	1	0	3	931	8,403	4,421	3,982

(学校一覧)

(令和6年5月1日現在)

(2) 専修学校・各種学校の状況

(単位:人)

区 分	学校数	本 務 教 員 数	生 徒 数		
			総 数	男	女
専 修 学 校	6	48	605	182	423
看 護	2	26	360	62	298
和 裁 ・ 洋 裁	1	3	12	0	12
栄 養	0	0	0	0	0
情 報 処 理	1	6	140	95	45
介 護 福 祉 ・ 保 育	1	4	20	3	17
理 容 ・ 美 容	1	9	73	22	51
各 種 学 校	3	5	33	19	14
情 報 処 理	0	0	0	0	0
高 校 ・ 大 学 受 験	3	5	33	19	14

(学校一覧)

(令和6年5月1日現在)

(3) 市内の大学・短期大学

(単位:人)

大 学 ・ 学 部	学生数	本 務 教 員 数	大 学 ・ 学 部	学生数	本 務 教 員 数
弘 前 大 学	6,936	795	弘 前 学 院 大 学	650	53
人 文 社 会 科 学 部	1,170	64	文 学 部 社 会 福 祉 学 部 看 護 学 部	645	53
教 育 学 部	686	74	大 学 院	5	0
理 工 学 部	1,501	0	弘 前 医 療 福 祉 大 学 保 健 学 部	448	44
医 学 部	1,667	0	柴 田 学 園 大 学 短 期 大 学 部		
農 学 生 命 科 学 部	915	78	生 活 科 保 育 科	198	21
大 学 院	997	399	弘 前 医 療 福 祉 大 学 短 期 大 学 部		
柴 田 学 園 大 学 生 活 創 生 学 部	363	38	介 護 福 祉 学 科 救 急 救 護 生 学 科 口 腔 衛 生 学 科 別 科	209	28

(学校一覧)

(令和6年5月1日現在)

(4) 中学校卒業生の進路状況

(単位:人)

区 分		高等学校 等 進 学 者	専 修 学 校 (高等課程) 進 学 者	専 修 学 校 (一般課程) 進 学 者	公共職業能 力開発施設 等 入 学 者	就職者	左 記 以 外 の 者	死 亡 ・ 不 詳	計	高等学校 等 進 学 率 (%)
令和5年	総数	1,299	0	0	0	0	12	0	1,311	99.1
	男	671	0	0	0	0	7	0	678	99.0
	女	628	0	0	0	0	5	0	633	99.2
令和6年	総数	1,296	1	0	0	0	8	0	1,305	99.3
	男	649	1	0	0	0	6	0	656	98.9
	女	647	0	0	0	0	2	0	649	99.7

(学校基本調査)

(令和6年5月1日現在)

(5) 高等学校卒業生の進路状況

(単位:人)

区 分		大 学 等 進 学 者	専 修 学 校 (専門課程) 進 学 者	専 修 学 校 (一般課程) 進 学 者	職 業 能 力 開 発 施 設 等 入 学 者	就職者	一時的な 仕事に 就いた 者	左 記 以 外 の 者	死 亡 ・ 不 詳	計	大 学 等 進 学 率 (%)
令和5年	総数	1,116	212	56	33	334	-	81	0	1,832	60.9
	男	520	70	20	29	226	-	49	0	914	56.9
	女	596	142	36	4	108	-	32	0	918	64.9
令和6年	総数	997	214	72	33	357	-	61	0	1,734	57.5
	男	472	83	34	30	240	-	25	0	884	53.4
	女	525	131	38	3	117	-	36	0	850	61.8

(学校基本調査)

(令和6年5月1日現在)

2 社会教育・文化

(1) 市民会館・弘前文化センター(中央公民館併設)・岩木文化センター・市民文化交流館

① 施設の概要

区 分	市 民 会 館	弘 前 文 化 セ ン タ ー
所 在 地 開 館	弘前市下白銀町1番地6(弘前公園内) 昭和39年5月	弘前市下白銀町19番地4 昭和56年9月
建 築 延 面 積 構 造 規 模	5,593.73 m ² 鉄筋コンクリート造3階建	7,346.03 m ² 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地下1階・ 地上3階建
設 備 の 概 要	<大ホール> 客 席 1,343 席 舞 台 14.4m×16m×7.8m オーケストラピット、楽屋、投光室等 <管理棟> 大・中会議室、和室、小会議室2、 喫茶室	<大ホール> 客 席 552 席 (車椅子4席分を含む) 舞 台 15m×12m×7m 楽屋2、練習室3、シャワー室 美術展示室、会議室6、小ホール、 託児室、授乳室、和室3、工作実習室2、 調理実習室、多目的研修室、 多目的活動室／プラネタリウム

区 分	岩 木 文 化 セ ン タ ー (あ そ べ ー る)	市 民 文 化 交 流 館
所 在 地 開 館	弘前市賀田1丁目18番地4 平成13年2月	弘前市駅前町9番地20 ヒロロ3・4階 平成25年7月
建 築 延 面 積 構 造 規 模	2,766.91 m ² 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリ ート造一部鉄骨造地下1階・地上2階建	
設 備 の 概 要	<ホール> 客 席 571 席 親子室 10 席 車椅子用スペース3席 舞 台 13m×8m×6.5m 楽屋4、パントリー、 エントランスホール、ホワイエ ミニシアター(64席)	<ホール> 客 席 椅子 300 席 机・椅子 150 席 舞 台 移動式 楽屋1、ロビー、ホワイエ 多世代交流室6、 イベントスペース408m ²

② 利用状況

(単位:件、人)

区 分		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		利用件数	参集人員	利用件数	参集人員	利用件数	参集人員	利用件数	参集人員
市民会館	大ホール	107	33,608	147	62,281	158	71,363	135	66,995
	管 理 棟	1,004	17,004	1,453	31,803	1,367	30,405	1,395	30,861
弘前文化センター	ホ ー ル					360	41,560	366	41,855
	美術展示室					96	9,212	100	9,590
	各会議室	令和3年度から4年度まで休館	令和3年度から4年度まで休館	令和3年度から4年度まで休館	令和3年度から4年度まで休館	944	25,705	1,124	30,111
	各和室					368	5,821	396	6,695
	各実習室					324	4,878	322	5,098
	各練習室					459	6,608	700	7,988
	そ の 他					529	17,729	616	21,670
	プラネタリウム					—	7,942	—	5,597
	計					3,080	119,455	3,624	128,604
岩手県文化センター	ホ ー ル	115	10,510	185	23,176	145	17,686	157	21,931
	ミニシアター	33	625	59	1,102	57	2,171	71	3,380
	計	148	11,135	244	24,278	202	19,857	228	25,311
市民文化交流館	多世代交流室	3,102	20,481	3,876	49,904	4,264	59,669	4,337	47,696
	イベントスペース	286	19,299	339	33,907	364	43,323	427	53,818
	ホ ー ル	299	8,428	439	21,389	363	23,302	392	26,038

注) 弘前文化センターの参集人員には中央公民館を含む。

(文化振興課調べ)

(2) 公 民 館

① 施設の概要

施 設 名	所 在 地	令 和 6 年 度 主 要 事 業
中 央 公 民 館	下白銀町19番地4	○ 中央公民館 1 地域でまなぼう！食育講座いただきます 2 子どもの活動推進事業 3 子どもリーダー養成事業(弘前市・太田市青少年交流事業) 4 弘前市子どもの祭典(実行委員会)支援事業 5 子ども観劇・演劇ワークショップ事業 6 アーティスト体験ワークショップ事業 7 中学生×医師交流プログラム 8 メディカルスタッフについて学ぼう 9 来て・見て・学ぼう！医療福祉体験 10 学区まなびい講座支援事業 11 弘前大学との地域づくり連携事業 12 市民講座事業 13 公民館管理運営業務 14 プラネタリウム
中央公民館岩木館	賀田1丁目18番地3	
中央公民館相馬館	五所字野沢41番地1	
東 目 屋 公 民 館	中野字中豊田20番地	
和 徳 公 民 館	大久保字沼田204番地3	
東 部 公 民 館	末広4丁目10番地1	
清 水 公 民 館	小沢字御笠見46番地10	○ 中央公民館岩木館 1 ふるさと青少年教育事業 2 伝統文化学習講座 3 高齢者教室(万年青大学)、大人のまなびば 4 花いっぱい運動 5 子育てサロン「岩木ぴよぴよひろば」 6 ねっとワークいわき関連事業 7 岩木地区レクリエーション大会事業支援 8 家庭教育ミニセミナー 9 岩木文化祭事業支援
石 川 公 民 館	石川字庄司川添19番地1	
堀 越 公 民 館	門外2丁目3番地11	
千 年 公 民 館	小栗山字川合115番地1	
船 沢 公 民 館	折笠字宮川95番地5	○ 中央公民館相馬館 1 相馬地区住民講座(相馬熟) 2 紙漉き体験事業 3 高齢者教室(福寿大学) 4 相馬地区文化祭
高 杉 公 民 館	独狐字山辺72番地1	
裾 野 公 民 館	大森字勝山81番地1	○ 地区公民館 1 少年教育事業 2 青年教育事業 3 女性教育事業 4 成人教育事業(家庭教育事業、高齢者教育事業) 5 明るい選挙出前講座(政治学習講座) 6 弘前大学との地域づくり連携事業(再掲) 7 文化祭・公民館まつり 8 クラブ活動支援
新 和 公 民 館	種市字熊谷5番地1	
藤 代 公 民 館	八代町2番地10	

② 令和6年度実施状況

(延べ)

区分	少年教育		青年教育		女性教育		成人教育 (高齢者)		成人教育 (家庭)		市民講座		文化祭等	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	日数	参加者数
中 央	193	4,543	2	17	-	-	13	377	-	-	23	324	-	-
中 央 (岩)	126	2,058	-	-	-	-	88	748	10	92	-	-	-	-
中 央 (相)	8	301	-	-	-	-	2	23	-	-	14	328	5	753
東 目 屋	6	295	-	-	5	48	12	145	6	46	-	-	9	468
和 徳	12	459	5	57	17	176	8	188	4	380	-	-	13	238
東 部	14	253	9	184	20	260	53	656	3	374	-	-	8	1,539
清 水	11	332	5	56	7	62	13	302	11	84	-	-	4	235
石 川	5	117	4	61	12	171	13	189	4	94	-	-	7	310
堀 越	7	181	4	63	10	109	17	221	-	-	-	-	3	440
千 年	10	1,250	3	30	-	-	11	174	11	168	-	-	4	440
船 沢	5	147	-	-	3	15	4	40	3	95	-	-	1	150
高 杉	26	696	-	-	9	78	9	175	-	-	-	-	1	500
裾 野	6	45	15	229	23	378	7	68	18	860	-	-	2	244
新 和	6	1,060	1	836	6	50	-	-	15	825	-	-	3	700
藤 代	35	667	36	361	20	176	10	116	-	-	-	-	14	527

出典:令和7年度教育年報

(3) 弘 前 図 書 館

弘前図書館は明治39年5月に開館、平成2年7月に現在の追手門広場に移転新築した。
令和2年に移転30周年を迎え、市民への情報提供や生涯学習の場として、広く利用されている。

① 施 設 の 概 要

建 物 延 面 積	4,922.77 m ²
事 業 費	19億8,000万円
所 在 地	弘前市大字下白銀町2番地1(追手門広場内)
開 館	明治39年5月(平成2年7月新館オープン)
施 設 内 容	地下 書庫、BM書庫、中央監視室、その他機械室等 1階 貸出閲覧室、点字読書室、ロビー、事務室 2階 調査室、読書学習室、視聴覚室、特別書庫、会議室 3階 読書学習室
開 館 時 間	午前9時30分～午後7時(ただし、土・日曜、祝日は午後5時まで)
休 館 日	第3木曜日、年末年始、蔵書点検期

② 利 用 状 況

(単位:人、冊)

区 分	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
登 録 者 数	23,936	22,337	21,018
貸 出 者 数	71,052 (7,180)	71,347 (7,400)	68,813 (7,218)
貸 出 冊 数	325,452 (42,591)	317,042 (42,570)	302,453 (40,779)
視聴覚資料コーナー利用者数	167	242	256

()内:移動図書館を内書

出典:令和7年度教育年報

③ 読書団体の状況

(単位:人、冊)

区 分	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
団 体 数	47	47	46
登 録 者 数	3,256	3,205	3,384
貸 出 冊 数	22,084	21,168	18,907

(生涯学習課調べ)

④ 蔵 書 数

(単位:図書=冊、AV資料ほか=点)

一 般 図 書	262,690
児 童 図 書	86,437
B M ・ 一 般 図 書	18,236
B M ・ 児 童 図 書	13,767
津軽古図書保存会文庫	1,851
岩 見 文 庫	5,528
津 軽 家 文 書	13,236
石 坂 洋 次 郎 文 庫	196
和 徳 小 学 校 資 料	1,900
成 田 文 庫	2,141
行 政 資 料	1,453
八 木 橋 文 庫	5,850
牧野家・伊東家文書	1,194
長 利 家 文 書	2,365
山 崎 家 文 書	613
一 般 郷 土 資 料	38,131
和 装 本	26,790
松 木 文 庫	6,565
り ん ご 資 料	3,441
蘭繁之氏寄贈稀覯本	120
計	492,504
視 聴 覚 資 料 (C D ・ D V D 等) ほ か	7,752

注)「BM」=移動図書館車

出典:令和7年度教育年報

(4) 岩 木 図 書 館

津軽富士岩木山麓に位置し、中央公民館岩木館と併設しており、建物の外見はレンガとガラスを基調にした落ち着いた施設で、遠くから目に飛び込んでくるような存在感がある。閲覧室南側は全面ガラス張りで庭には芝生と桜があり、外光を十二分に取り入れた開放的な設計の図書館となっている。

① 施 設 の 概 要

建 物 延 面 積	399.00 m ²
所 在 地	弘前市大字賀田1丁目18番地3
開 館	昭和57年4月(岩木町立中央公民館図書室開室) 平成15年4月(岩木町立図書館開館)
施 設 内 容	一般閲覧室、児童閲覧室、学習室、レファレンス、書庫
開 館 時 間	午前9時30分～午後7時(ただし、土・日曜、祝休日は午後5時まで)
休 館 日	毎週月曜日、年末年始、蔵書点検期

② 利 用 状 況

(単位:人、冊)

区 分	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
登 録 者 数	1,040	1,011	965
貸 出 者 数	7,859	8,613	8,250
貸 出 冊 数	38,251	39,423	38,471

出典:令和7年度教育年報

③ 読書団体の状況

(単位:人、冊)

区 分	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
団 体 数	2	2	2
登 録 者 数	-	-	-
貸 出 冊 数	569	457	357

(生涯学習課調べ)

④ 蔵 書 数

(単位:図書=冊、AV資料ほか=点)

図 書	一 般 図 書	27,917
	児 童 図 書	11,178
	一 般 郷 土 資 料	2,069
	視 聴 覚 資 料	331
計		41,495

出典:令和7年度教育年報

(5) 駅前分室こども絵本の森

J R弘前駅にほど近い商業ビルヒロロの3階にある、子ども向けの開放的な図書館となっている。

① 施設の概要

建物延面積	264.20 m ²
所在地	弘前市大字駅前町9番地20(ヒロロ3階)
開館	平成25年7月
施設内容	閲覧スペース、読み聞かせコーナー、レファレンス、書庫
開館時間	午前10時～午後6時
休館日	毎月第3木曜日、年末年始、蔵書点検期

② 利用状況

(単位:人、冊)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録者数	2,527	2,559	2,565
貸出者数	12,954	13,598	13,433
貸出冊数	64,740	65,073	66,776

出典:令和7年度教育年報

③ 蔵書数

(単位:図書=冊、AV資料ほか=点)

図書	一般図書	7,028
	児童図書	13,140
	視聴覚資料	10
計		20,178

出典:令和7年度教育年報

(6) 相馬ライブラリー

中央公民館相馬館の一室に位置している。

① 施設の概要

建物延面積	135.81 m ²
所在地	弘前市大字五所字野沢41番地1(相馬やすらぎ館内)
開館	平成25年3月
開館時間	午前9時30分～午後5時
休館日	毎週水曜日、年末年始

② 利用状況

(単位:人、冊)

区 分	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
貸 出 者 数	1,301	959	857
貸 出 冊 数	3,553	3,152	2,858

出典:令和7年度教育年報

③ 蔵書数

(単位:図書=冊、AV資料ほか=点)

図 書	一 般 図 書	7,225
	児 童 図 書	4,297
	視 聴 覚 資 料	7
計		11,529

出典:令和7年度教育年報

(7) 旧弘前市立図書館

明治39年、齋藤主・堀江佐吉らにより、日露戦争による利益還元を目的に建築され、市に寄付されたものである。

正面両翼に八角ドームの双塔をもったルネサンス様式を基調とした木造三階建てで、均整のとれた美しい建物であり、昭和6年まで市立図書館として使用された。平成5年に県重宝に指定されている。

当初、現追手門広場の現在地に近い場所に建築されたが、その後民間に払い下げられ、富野町に移築されて下宿と喫茶店になっていたものを市が譲り受け、平成元年現在地に移築復元したものである。

<施設の概要>

建物延面積	261.17 m ²
開館時間	午前9時～午後5時
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)

(8) 郷土文学館

追手門広場内の弘前図書館に併設されており、郷土出身作家等の著作や愛用品を展示、紹介している。

常設展示コーナーでは、陸羯南・佐藤紅緑・葛西善蔵・福士幸次郎・一戸謙三・高木恭造・平田小六・太宰治・今官一ら郷土にゆかりのある9人の作家を紹介。石坂洋次郎記念室は、「石坂洋次郎のあゆみ」「石坂文学と映画」「人と生活」などのコーナーがある。

<施設の概要>

建物延面積	594.26 m ²
施設内容	1階－展示室、ロビー、事務室 2階－石坂洋次郎記念室、ラウンジ
開館時間	午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日	年末年始・展示替期間(3月22日～31日)
観覧料	高校生以上100円、小・中学生50円

※障がい者、65歳以上の市民、市内の小中学生・外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポート対象者は無料。

(9) 百石町展示館

①施設の概要

位置	弘前市大字百石町3番地2
開館	平成16年4月18日
総事業費	5億6,530万円
建築面積	527.94 m ²
床面積	779.66 m ²
構造規模	木造一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造2階建
館内施設	第1展示室(112m ²)、第2展示室(45m ²)、第3展示室(40m ²)、喫茶室、情報コーナー、休憩コーナー、収蔵庫、収納庫、洋和室、湯沸室、事務室

② 利 用 状 況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開館日数 (日)	331	259	359	360	326
利用日数 (日)	253	230	322	320	298
利用率 (%)	70.5	88.8	89.6	88.9	91.4
利用件数 (件)	402	418	610	582	513
参集人数 (人)	20,299	22,756	28,867	27,592	27,084
1日平均入館人員 (人)	61	88	80	76	75

(文化振興課調べ)

(10) 博 物 館

① 施 設 の 概 要

位 置	弘前市大字下白銀町1番地6(弘前公園内)
開 館	昭和52年4月20日
総 事 業 費	6億8,000万円 (平成25年改修) 6億8,394万円
建 築 面 積	1,511.34 m ²
床 面 積	2,279.59 m ²
構 造 規 模	鉄筋コンクリート造2階建地下1階
館 内 施 設	展示ホール、歴史・共用・美術工芸・特別展示室、 エントランスホール、ロビー、保管庫、収蔵庫、荷解室、事務室
展 示 内 容	常設展、企画展、特別企画展

② 利 用 状 況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開館日数 (日)	277	208	283	276	275
展示会回数 (回)	4	5	5	6	6
入館人員 (人)	14,094	13,707	26,751	24,059	21,693
有料一般	6,498	6,499	14,900	13,695	11,457
有料高・大学生	582	455	1,346	922	813
有・無料の小・中学生	1,137	1,736	2,369	1,670	1,291
その他の無料	5,877	5,017	8,136	7,772	8,132
1日平均入館人員 (人)	50	66	95	87	79

注) 「その他の無料」は、65歳以上の市民・視察等の人数。

(11) 鳴海要記念陶房館

<施設の概要>

位 置	弘前市大字賀田字大浦1番地2
開 館	平成15年5月
総 事 業 費	1億824万円
建 築 面 積	280.03 m ²
床 面 積	274.81 m ²
構 造 規 模	鉄筋コンクリート造
館 内 施 設	鳴海要陶房、窯場、展示室、ホール

(12) 高岡の森弘前藩歴史館

① 施 設 の 概 要

位 置	弘前市大字高岡字獅子沢128番地112
開 館	平成30年4月1日
総 事 業 費	15億4,450万円
建 築 面 積	1,700.70 m ²
延 床 面 積	1,636.56 m ²
構 造 規 模	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造2階建
館 内 施 設	展示室、特別展示室、映像・講話室、ロビー、ホール、収蔵庫、荷解室、機械室、備品庫、事務室、資料閲覧室
展 示 内 容	企画展

② 利 用 状 況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1) 展覧会					
開館日数 (日)	280	218	303	282	287
展示会回数 (回)	4	4	4	4	4
入館人員 (人)	6,959	6,885	6,662	5,899	6,643
有料一般	4,269	4,432	4,098	3,851	4,383
有料高・大学生	162	156	150	159	208
有料小・中学生	157	206	198	165	152
無料	2,371	2,091	2,216	1,724	1,900
1日平均入館人員 (人)	25	31	22	21	23
2) イベント等					
イベント等参加者 (人)	1,027	253	763	346	500

注) 「無料」は、65歳以上の市民・市内小中学生・視察等の人数。

(13) 弘前れんが倉庫美術館

① 施設の概要

位 置	弘前市大字吉野町2番地1
開 館	令和2年4月11日(同年7月11日グランドオープン)
整 備 費	28億1460万円
敷 地 面 積	3,606.69 m ²
床 面 積	3,089.59 m ²
構 造 規 模	煉瓦造一部木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造2階建
館 内 施 設	展示室、市民ギャラリー、スタジオ、ライブラリー、ワークラウンジ、エントランス、ホワイエ、収蔵庫、搬入口、機械室、授乳室、ロッカー室、事務室、会議室、応接室
展 示 内 容	企画展
開 館 時 間	午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※金・土曜日に限り各スタジオ、市民ギャラリー、ライブラリーは午後9時まで開館
休 館 日	火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 ※弘前さくらまつり及び弘前ねぷたまつりの期間中は全日開館
観 覧 料	一般1,500円、大学生・専門学校生1,000円 ※展覧会ごとに異なる 高校生以下、市内の外国人留学生、65歳以上の市民、障がい者と付き添い1人、多子家族は無料

② 利用状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1) 展覧会					
開館日数 (日)	234	214	273	273	266
展示会回数 (回)	2	2	2	2	2
入館人員 (人)	26,542	22,834	47,819	36,749	70,387
有料	18,832	15,149	36,886	28,056	52,791
無料	7,710	7,685	10,933	8,693	17,596
1日平均入館人員 (人)	113	107	175	135	265
2) その他入館者					
スタジオ等利用者 (人)	558	1,942	11,174	14,665	21,678
イベント等参加者 (人)	1,160	802	2,099	1,153	1,953
ライブラリー利用者 (人)	1,154	1,793	3,851	4,878	5,830

3 社 会 体 育

(1) 体育施設の概要

(ア) 市民体育館

所 在 地	弘前市大字五十石町7番地
建 築 面 積	3,239.56㎡ (うち競技場 46m×36m=1,656㎡)
竣 工 年 月	昭和47年7月
構 造 規 模	鉄筋コンクリート鉄骨造一部2階建
建 設 費	2億9,050万円
収 容 人 数	4,200名(うち2階固定席900名)
施 設	バスケットボール2面 バレーボール2面 卓球18面 バドミントン10面
種 目	体操 相撲 ボクシング レスリング テニス その他

(イ) 運動公園

所 在 地	弘前市大字豊田2丁目3番地1
敷 地 総 面 積	28.2ha
着 ・ 竣 工	昭和48年度～58年度
総 建 設 費	55億円

<野 球 場>

完 成	昭和54年3月
敷 地 面 積	20,600㎡
グ ラ ウ ンド	中堅122m 両翼100m
観 覧 席	15,050人
夜 間 照 明 付	

<球 技 場>

完 成	昭和52年3月
敷 地 面 積	18,000㎡
競 技 面 積	10,704㎡(人工芝)
コートハウス	144㎡
夜 間 照 明 付	

<克雪トレーニングセンター>

完 成	昭和57年11月
敷 地 面 積	6,126㎡
施 設	主練習場55m×50m 投球練習場 ウエイトリフティング場 トレーニング室 ミーティング室

<テニスコート>

完 成	昭和52年3月
敷 地 面 積	7,400㎡
コ ー ト 数	8コート(人工芝コート)
観 覧 席	1,200人
夜 間 照 明 付	

<陸 上 競 技 場>

完 成	昭和55年6月
敷 地 面 積	29,000㎡
競 技 面 積	20,000㎡ (2種公認全天候型トラック)
観 覧 席	12,000人

<運 動 広 場>

完 成	昭和59年3月
敷 地 面 積	21,080㎡
グ ラ ウ ンド	15,049㎡
ス タ ンド	5,752㎡
夜 間 照 明 付	

(ウ) 岩木山総合公園

所在地 弘前市大字百沢字裾野195番地1

敷地総面積 28ha

着・竣工 平成元年度～平成14年度

総建設費 45億円

施設

< 野 球 場 >

完 成 平成4年6月

敷地面積 21,813㎡

グラウンド 中堅122m 両翼100m

観 覧 席 12,500人

< センターコート >

完 成 平成4年6月

敷地面積 1,644㎡

コート数 1コート

オールウェザー型

砂入り人工芝コート

観 覧 席 固定席1,600人

< テニスコート >

完 成 平成4年6月

敷地面積 11,868㎡

コート数 20コート
(砂入り人工芝コート)

観 覧 席 2,000人

夜間照明付 10コート

< 多目的体育館 >

完 成 平成4年6月

建築面積 3,711㎡ アリーナ40m×41m

構造規模 鉄筋コンクリート地下1階
地上3階・一部鉄骨造

施 設 アリーナ40m×41m
バレーボール2面
バスケットボール2面
バドミントン8面
ちびっ子アリーナ
トレーニング室
その他

< 野 外 ス テ ー ジ >

完 成 平成4年6月

敷地面積 713㎡

建築面積 276㎡

観 覧 席 芝席1,000人

< 多目的グラウンド >

完 成 平成14年5月

敷地面積 21,804㎡

施 設 サッカー場2面

< 宿 泊 所 >

完 成 平成11年8月

延床面積 698㎡

宿泊人員 10室 74人収容

(エ) 弘前B&G海洋センター

所在地 弘前市大字八幡町1丁目9番地1

敷地総面積 2.5ha

竣工年月 昭和52年8月

主要施設

<体育館>

建築面積 1,472m² うち競技場
35m×23m=805m²

構造規模 鉄筋コンクリート造平屋建

施設 バスケットボール1面

バレーボール2面

バドミントン4面

卓球15面

<武道場>

建築面積 450m²

構造規模 鉄筋コンクリート造平屋建

施設 剣道場1面 柔道場1面

<多目的広場>

敷地面積 9,580m²(芝張り)

施設 ソフトボール2面

ゲートボール15面

(オ) 岩木B&G海洋センター

所在地 弘前市大字兼平字猿沢32番地11

敷地総面積 3.6ha

竣工年月 平成5年6月

主要施設

<体育館>

建築面積 984m² うち競技場
27.7m×31m=859m²

構造規模 鉄筋コンクリート造2階建
(一部吹抜)

施設 バスケットボール1面

バレーボール2面

バドミントン3面

卓球15面

<トレーニングルーム>

建築面積 431m²

構造規模 鉄筋コンクリート造

施設 剣道2面

<多目的広場>

敷地面積 25,650m²

施設 サッカー1面

ゲートボール6面

夜間照明付

<上屋根付プール>

25m×13m・6コース(最深部1.2m)

幼児プール

13m×6m(最深部0.4m)

(カ) 笹森記念体育館

所在地 弘前市大字下白銀町2番地1
敷地面積 698㎡(延床面積1,329㎡)
構造規模 鉄筋コンクリート造3階建(一部吹抜)
竣工年月 平成2年7月
総建設費 1億8,550万円
主要施設

<武道場>

競技場面積 390㎡(27m×14.4m)
施設 剣道1面 柔道1面

<競技場>

競技場面積 390㎡(27m×14.4m)
施設 バレーボール1面
バドミントン3面
卓球6面

<トレーニング室>

床面積 60㎡
使用内容 トレーニングマシン一式

(キ) ^{かわにし}河西体育センター

所在地 弘前市大字石渡1丁目19番地1
敷地総面積 2.2ha
竣工年月 平成5年9月
総建設費 12億3,000万円
主要施設

<体育館>

建築面積 2,735㎡ うちアリーナ競技面積28m×34m=952㎡
温水プール 水深1m×15m×3コース(幼児プール 水深0.5m)
構造規模 鉄筋コンクリート造一部地下、地上2階建(一部吹抜)
施設 バスケットボール1面 バレーボール2面 バドミントン4面 卓球15面

<テニスコート>

敷地面積 1,406㎡
使用内容 クレーコート2面

<多目的広場>

敷地面積 8,645㎡
施設 野球・ソフトボール1面 ミニサッカー1面 ゲートボール10面

(ク) 岩木川市民ゴルフ場

所 在 地 弘前市大字清野袋2丁目16番地5
河川占有面積 97,173㎡
9 ホール パー29
コース延長 1,195m(最長ホール約229m 最短ホール約87m)
竣工年月 平成6年4月

(ケ) 南富田町体育センター

所 在 地 弘前市大字南富田町5番地2
敷地面積 2,190㎡
構造規模 鉄筋造2階建
竣工年月 昭和51年3月
主要施設 体育室 718㎡ (バスケットボール1面 バレーボール1面 バドミントン3面)
和室(40畳)

(コ) 金属町体育センター

所 在 地 弘前市大字金属町1番地9
敷地面積 2,329㎡
構造規模 鉄筋造地下1階付平屋建
竣工年月 昭和53年1月
主要施設 体育室 437㎡ (バレーボール1面 バスケットボール1面 バドミントン2面)
和室(25畳)、会議室 96㎡

(サ) 温水プール石川

所 在 地 弘前市大字小金崎字村元125番地
敷地面積 13,281㎡
構造規模 鉄筋コンクリート一部鉄骨造
竣工年月 平成14年10月
総建設費 8億4,900万円
主要施設

< 建築物 > 建築面積 1,800㎡
室内プール 25m×6コース(15m×5.5mの幼児用プール併設)
健康ルーム エアロバイク、ウォークマシン、血圧計あり
研修室、会議室
< 屋 外 > 多目的広場 ソフトボール1面 ゲートボール2面 ミニサッカー2面
駐車場51台

(シ) 鷹揚園庭球場

所 在 地 弘前市大字下白銀町1番地1(弘前公園内)
敷地面積 1,785㎡
竣工年月 昭和26年
施設 テニスコート3面(クレイコート)

(ス) 千年庭球場

所 在 地 弘前市大字小栗山字川合119番地7
敷 地 面 積 2,452㎡
竣 工 年 月 昭和53年4月
施 設 テニスコート4面(人工芝コート、夜間照明付)
コートハウス(木造2階建 更衣室、シャワー、トイレ)、駐車場20台程度

(セ) 小沢運動広場

所 在 地 弘前市大字小沢字御笠見59番地
敷 地 面 積 16,440㎡
竣 工 年 月 昭和53年6月
施 設 野球場1面(中堅100m、両翼90m) ゲートボール場2面(砂舗装)
夜間照明付 駐車場30台程度

(ソ) 弘前市立弓道場

所 在 地 弘前市大字笹森町38番地
敷 地 面 積 1,026.48㎡
竣 工 年 月 昭和44年4月
施 設 射場 6人立ち ※射場からあづちまでの距離15間(約27m)
巻藁道場

(タ) そうまロマンチックスキー場

所 在 地 弘前市大字水木在家字桜井44番地
敷 地 面 積 67,214㎡
竣 工 年 月 平成3年10月(ペアリフト等新設)
施 設 アドベンチャーコース(長さ450m)
コスモコース(長さ550m)
最大斜度25度 最小斜度10度 平均斜度17度
夜間照明付

(チ) 岩木山百沢スキー場

所 在 地 弘前市大字百沢字東岩木山国有林32林班
面 積 205,894㎡
開 設 年 月 昭和39年12月
施 設 リフト(第1ペアリフト1,050m、第2ペアリフト748m、第3ペアリフト989m、
ロープトウ130m)、レストハウス(1Fファーストフード、そばコーナー、
インフォメーション、2Fレストラン、B1F多目的会議室)、
駐車場(第1～3まで500台収容)、夜間照明付

(ツ) 第3市民プール

所在地 弘前市大字八幡町3丁目103番地
敷地面積 3,083㎡
供用開始 昭和46年8月
施設 屋外プール 50m×15m(7コース)、深さ1.1m～1.3m
管理棟、トイレ、シャワー、更衣室
駐車場10台程度

(テ) 城北ファミリープール

所在地 弘前市大字八幡町1丁目9番地1
敷地面積 4,678㎡
供用開始 昭和59年7月
施設 流水プール 一周138m、幅6m、深さ1m、流速1m/s
幼児プール 面積218㎡ 深さ0.3～0.4m
スライダープール 面積132㎡
ウォータースライダー 長さ25m、高さ7.5m、3レーン
プールハウス、トイレ、シャワー、更衣室、ロッカー室

(ト) 悪戸河川敷簡易運動場

所在地 弘前市大字悪戸字鳴瀬69番地先
敷地面積 65,937㎡
供用開始 昭和41年
施設 野球場4面(両翼80m)、ソフトボール場1面(両翼80m)

(ナ) 栄町河川敷簡易運動場

所在地 弘前市大字菰中字中川原地内
敷地面積 11,912㎡
供用開始 昭和52年7月
施設 アーチェリー練習場、ミニサッカー練習場、馬術練習場

(二) 加藤川河川敷簡易運動広場

所在地 弘前市大字清野袋字岡部地内
敷地面積 60,000㎡
供用開始 平成10年4月1日
施設 野球場2面(両翼90m)、ゲートボール場2面(人工芝)
チビッコ広場(遊具・ベンチ等)、トイレ

(ヌ) 境関河川敷簡易運動広場

所在地 弘前市大字境関字富岳地内
敷地面積 27,700㎡
供用開始 平成10年4月1日
施設 多目的広場(60m×120m)
テニスコート2面(ハードコート)

(ネ) 石川河川敷簡易運動広場

所在地 弘前市大字石川字石川地内
敷地面積 15,100㎡
供用開始 平成10年4月1日
施設 多目的広場(芝生)、テニスコート2面(ハードコート)、トイレ

(ノ) 相馬球場

所在地 弘前市大字黒瀧字二ノ松本3番地1
敷地面積 21,620㎡
竣工年月日 平成8年
施設 野球場1面(中堅134m 両翼97m) 夜間照明付、観覧席なし(立見席のみ)

(2) 体育施設別利用状況

(単位:件、人)

区	分	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		件数	人 員	件数	人 員	件数	人 員
鷹揚園	庭球場	673	7,992	804	10,032	884	11,779
弘前市 運 動 公 園	野球場	186	45,595	169	33,681	170	70,930
	球技場	608	28,624	712	35,189	611	37,194
	庭球場	4,760	47,984	4,974	44,320	3,974	46,960
	陸上競技場	71	38,615	67	37,614	64	38,038
	運動広場	157	5,974	143	5,827	136	7,839
	克雪トレーニングセンター	1,152	33,705	1,272	35,319	1,013	30,523
岩 木 山 総合公園	野球場	42	5,184	53	5,832	43	4,970
	多目的グラウンド	60	8,325	57	10,780	49	9,246
	庭球場	570	11,874	613	12,109	456	9,540
	アリーナ	1,230	24,084	1,112	28,307	1,126	21,195
	うち(トレーニング室)	566	695	372	418	554	599
	宿泊所	73	1,424	112	2,253	101	1,517
	野外ステージ	1	30	1	10	0	0
市民体育館		1,856	51,075	1,918	62,589	2,213	64,234
第3市民プール		4	1,046	-	1,293	-	904
城北ファミリープール		-	6,654	-	15,482	-	13,436
弓道場		492	7,339	529	7,622	507	7,667
千年庭球場		1,442	21,914	0	0	1,633	23,514
小沢運動広場		153	2,821	191	4,260	217	4,880
河川敷運動場		1,031	38,156	976	42,856	926	48,237
弘前海洋 センター	体育館	717	26,569	685	29,290	725	28,926
	武道場	626	15,768	665	18,219	712	18,892
	多目的広場	147	7,637	153	7,583	144	6,983
岩木海洋 センター	体育館	1,127	18,053	1,052	19,539	954	22,442
	トレーニングルーム	463	9,916	504	10,207	463	10,268
	多目的広場	239	4,108	227	5,068	239	6,042
	プール	15	2,343	26	1,861	62	3,447
笹森記念体育館		1,317	36,499	1,294	38,522	1,242	39,329
河西体育 センター	アリーナ	996	25,266	1,003	28,658	1,020	27,290
	プール	62	7,284	58	8,790	56	8,805
	テニスコート	101	298	96	366	180	555
	多目的広場	63	3,018	65	3,326	75	3,644
南富田町体育センター		1,642	20,653	1,530	20,704	1,630	22,613
金属町体育センター		949	16,346	917	17,928	1,037	18,341
温水プール石川		870	27,018	811	30,112	720	31,822
岩木川市民ゴルフ場		-	12,216	-	9,898	-	20,533
相馬球場		184	10,078	182	9,994	227	10,170
そうまロマンティックアススキー場		-	151,597	-	94,823	-	165,955
岩木山百沢スキー場		-	261,966	-	316,903	-	285,020

(スポーツ振興課調べ)

4 学 校 給 食

(1) 弘前市東部学校給食センター

所 在 地 弘前市大字末広1丁目3番地5
 竣 工 年 月 日 平成11年3月26日
 給 食 開 始 平成11年4月30日
 調 理 食 数 4,000食／日 米飯、副食(おかず)
 施 設 ① 敷 地 5,555.01m²
 ② 建 物 鉄骨造一部2階建 2,780m²
 ③ 建 設 費 19億1,773万4千円
 ④ 調理方式 ドライシステム

(2) 弘前市西部学校給食センター

所 在 地 弘前市大字茜町3丁目3番地9
 竣 工 年 月 日 平成22年5月12日
 給 食 開 始 平成22年8月24日
 最大調理能力 9,000食／日 米飯、副食(おかず)
 施 設 ① 敷 地 13,270.93m²
 ② 建 物 鉄筋コンクリート造一部
 鉄骨造一部2階建 4,528.07m²
 ③ 建 設 費 21億1,300万2千円
 ④ 調理方式 ドライシステム

(3) 自校式給食校

小 学 校 1 校
 中 学 校 1 校

(4) 給食実施状況

① 完全給食実施校と実施予定日数

小学校 32 校 190 日～ 196 日
 中学校 16 校 185 日～ 194 日

② 給食費(1食あたり)

(単位:円／日)

区 分	平成23年度～ 24年度	平成25年度～ 令和元年9月	令和元年10月～	令和6年7月2日～
小 学 校	240 ～ 260	240 ～ 260	260	320
中 学 校	270 ～ 280	280	300	360

(令和6年7月2日現在)

5 文 化 財

弘前市内には、史跡津軽氏城跡弘前城跡を初め、弘前藩政時代から保存継承されてきた有形・無形の歴史的遺産が多く残されており、令和7年6月末現在で指定を受けている文化財は、国指定と選定が39件、県指定64件、市指定147件の計250件となっている。また、国登録有形文化財が15件、国登録記念物が3件、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財が3件、このほか旧法の重要美術品が1件ある。

市では、これら文化財の保存対策として、これまでも弘前城跡の保存整備などを実施してきたが、最近では、仲町伝統的建造物群保存地区の修理・修景、史跡津軽氏城跡堀越城跡の整備や、無形民俗文化財の用具修理などにも積極的に施策を進めている。また、その他の文化財についても、図書館資料、博物館資料として幅広く収集し、その保存や活用も図っている。

（１）文化財件数一覧

◎指定文化財

（単位：件）

指 定 別	有 形 文 化 財								無 形 文 化 財	民俗文化財		記念物			重 建 保 要 造 存 伝 物 地 統 的 群 区	計
	建 造 物	工 芸 品	彫 刻	書 跡	絵 画	古 文 書	考 古 資 料	歴 史 資 料		有 文 形 化 民 俗 財	無 文 形 化 民 俗 財	史 跡	名 勝	天 然 記 念 物		
国	23	4					2		1		2	2	4		1	39
県	18	12	8	1	4		2		1	1	6		1	10		64
市	12	41	16	7	9	2	31	8	2	2	8	3		6		147
計	53	57	24	8	13	2	35	8	4	3	16	5	5	16	1	250

◎国登録有形文化財

（令和7年6月30日現在）

建造物 15 件

◎国登録記念物

庭 園 3 件

◎記録作成等の措置を講ずべき無形の文化財

無形民俗文化財 3 件（内 2 件は県指定と重複）

◎重要美術品（旧法）

考古学資料の部 1 件

（２）国指定文化財

〈重要文化財〉

種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者
建 造 物	最勝院五重塔	1 基	明41. 4. 23	銅屋町	最勝院
	岩木山神社拝殿	1 棟	明41. 4. 23	百沢字寺沢	岩木山神社
	岩木山神社楼門	1 棟	明41. 4. 23	百沢字寺沢	岩木山神社
	弘前八幡宮本殿・唐門	2 棟	昭11. 9. 18	八幡町1丁目	弘前八幡宮
	長勝寺三門	1 棟	昭11. 9. 18	西茂森1丁目	長勝寺
	弘前城	8 棟	昭12. 7. 29	下白銀町	弘前市
	天守、二の丸辰巳櫓、二の丸未申櫓、二の丸丑寅櫓、				

建 造 物	二の丸南門、二の丸東門、 三の丸追手門、北の郭北門				
	誓願寺山門	1 棟	昭13. 8. 26	新 町	誓願寺
	東照宮本殿	1 棟	昭28. 11. 14	笹森町	弘前市
	津軽為信霊屋	1 棟	昭28. 11. 14	藤代1丁目	革秀寺
	弘前城三の丸東門	1 棟	昭28. 11. 14	下白銀町	弘前市
	熊野奥照神社本殿	1 棟	昭29. 9. 17	田町4丁目	熊野奥照神社
	岩木山神社	4 棟	昭46. 6. 22	百沢字寺沢	岩木山神社
	本殿、奥門、瑞垣、中門		昭61. 1. 22 中門追加		
	旧第五十九銀行本店本館	1 棟	昭47. 5. 15	元長町	弘前市
	石場家住宅	1 棟	昭48. 2. 23	亀甲町	個 人
	弘前学院外人宣教師館	1 棟	昭53. 1. 21	稔 町	弘前学院
	長勝寺御影堂	1 棟	昭61. 1. 22	西茂森1丁目	長勝寺
	津軽家霊屋	5 棟	昭61. 1. 22	西茂森1丁目	長勝寺
	環月臺、碧巖臺、明鏡臺、白雲臺、凌雲臺				
	長勝寺本堂・庫裏	2 棟	平 5. 8. 17	西茂森1丁目	長勝寺
	革秀寺本堂	1 棟	平 5. 8. 17	藤代1丁目	革秀寺
	旧弘前偕行社	1 棟	平13. 6. 15	御幸町	弘前市
工 芸 品	高照神社本殿、中門、西軒廊、 東軒廊、拝殿及び幣殿、 随神門、津軽信政公墓、 廟所拝殿、廟所門	2基8棟	平18. 7. 5	高岡字神馬野	高照神社ほか
	旧弘前藩諸士住宅	1 棟	平28. 2. 9	若党町	弘前市
	木村産業研究所	1 棟	令 3. 8. 2	在府町	木村産業研究所
	太刀 銘友成作	1 口	大14. 4. 24	高岡字獅子沢	高照神社
	太刀 銘真守	1 口	大15. 4. 19	高岡字獅子沢	高照神社
	銅鐘 嘉元四年八月十五日大檀那崇演ノ銘アリ	1 口	昭16. 11. 6	西茂森1丁目	長勝寺
	刀 無銘伝来国光	1 口	昭34. 12. 18		個 人
考古資料	砂沢遺跡出土品土器・土製品	1 括	平12. 12. 4	下白銀町	弘前市
	石器・石製品 附 炭化米 猪形土製品	1 点	平23. 6. 27	下白銀町	弘前市

〈無形民俗文化財〉

弘前のねぷた	1 件	昭55. 1. 28	弘前市	弘前ねぷた保存会
岩木山の登拝行事	1 件	昭59. 1. 21	範囲：弘前市ほか	お山参詣保存会

〈無形文化財〉

津軽塗	1 件	平29. 10. 2	弘前市	津軽塗技術保存会
-----	-----	------------	-----	----------

〈記念物〉

史 跡	津軽氏城跡 弘前城跡弘前城、長勝寺構、新寺構、堀越城跡	1 件	昭27. 3. 29 昭60. 11. 15 堀越城跡追加	下白銀町ほか	弘前市
名 勝	瑞 楽 園 成田氏庭園 對馬氏庭園 須藤氏庭園（青松園）	1 件 1 件 1 件 1 件	昭54. 5. 31 令 2. 3. 10 令 2. 3. 10 令 2. 3. 10	宮館字宮館沢 樹木1丁目 折笠字宮川 前坂字船山	弘前市 個人 個人 個人
史 跡	大森勝山遺跡	1 件	平24. 9. 19	大森字勝山	弘前市ほか

〈重要伝統的建造物群保存地区〉

	弘前市仲町伝統的建造物群保存地区	約 10.6ha	昭53. 5. 31	若党町ほか	弘前市ほか
--	------------------	-------------	------------	-------	-------

（３）国登録有形文化財

種 別	名 称	員 数	登録年月日	所 在 地	所有者・管理者
建 造 物	旧第八師団長官舎（弘前市長公舎）	1 棟	平15. 7. 17	上白銀町	弘前市
	旧藤田家別邸 ・洋館 ・和館 ・倉庫（考古館） ・冠木門及び両袖番屋	4 棟	平15. 7. 17	上白銀町	弘前市
	旧弘前無尽社屋（三上ビル）	1 棟	平15. 7. 17	元寺町	個 人
	旧制弘前高等学校外国人教師館	1 棟	平17. 8. 2	文京町	弘前大学
	石場旅館	1 棟	平24. 2. 23	元寺町	個 人
	翠明荘（旧高谷家別邸） ・洋館 ・日本館 ・奥座敷 ・土蔵 ・門 ・四阿	6 棟	平24. 2. 23	元寺町	タイキファーマシー
	弘前市庁舎本館	1 棟	平27. 8. 4	上白銀町	弘前市

（４）国登録記念物

種 別	名 称	員 数	登録年月日	所 在 地	所有者・管理者
	旧菊池氏庭園（弘前明の星幼稚園庭園）	1 件	平19. 7. 26	紺屋町	明の星学園
	揚亀園	1 件	平19. 7. 26	亀甲町	青森県特産品センター
	丹藤氏庭園（旧三上氏庭園）	1 件	平31. 2. 26	葛原	個 人

(5) 記録作成等の措置を講ずべき無形の文化財

種 別	名 称	員数	登録年月日	所 在 地	所有者・管理者
無形民俗文化財	津軽神楽	1 件	昭51.12.25	常盤坂2丁目	津軽神楽保存会
	久渡寺のオシラ講の習俗	1 件	平11.12.3	坂元字山元	久渡寺
	津軽の七日堂祭	1 件	平21.3.11	百沢字寺沢 鬼沢字菖蒲沢	岩木山神社百沢町会氏子 鬼神社氏子総代

(6) 重要美術品 (旧法)

種 別	名 称	員数	登録年月日	所 在 地	所有者・管理者
考古資料	板石塔婆 正応元年源光氏銘	1 基	昭17.12.16	中別所字葛野	弘前市

(7) 県指定文化財

〈県 重 宝〉

種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者
建 造 物	久祥院殿位牌堂	1 棟	昭30.1.7	西茂森2丁目	隣松寺
	三尊仏及びその厨子堂	1 棟	昭32.1.11	西茂森1丁目	長勝寺
	旧岩田家住宅	1 棟	昭60.4.27	若党町	弘前市
	熊野宮本殿	1 棟	平5.1.22	茜町1丁目	熊野宮
	旧弘前市立図書館	1 棟	平5.1.22	下白銀町	弘前市
	旧東奥義塾外人教師館	1 棟	平5.1.22	下白銀町	弘前市
	日本聖公会弘前昇天教会教会堂	1 棟	平5.4.16	山道町	日本聖公会弘前昇天教会
	巖鬼山神社本殿	1 棟	平5.4.16	十腰内字猿沢	巖鬼山神社
	旧青森県尋常中学校本館	1 棟	平5.7.19	新寺町	青森県
	日本基督教団弘前教会教会堂	1 棟	平5.7.19	元寺町	日本基督教団弘前教会
	袋宮寺本堂	1 棟	平6.4.25	新寺町	袋宮寺
	円明寺本堂	1 棟	平6.4.25	新寺町	円明寺
	報恩寺本堂	1 棟	平6.4.25	新寺町	報恩寺
	本行寺護国堂	1 棟	平7.4.19	新寺町	本行寺
	旧伊東家住宅	1 棟	平17.3.14	若党町	弘前市
	岩木山神社社務所	1 棟	平23.8.19	百沢字寺沢	岩木山神社
	乳井神社五輪塔	1 基	令4.4.13	乳井字外ノ沢	乳井神社
	旧石戸谷家住宅	1 棟	令6.4.8	川合字岡本	弘前市
工 芸 品	短 刀 銘奥州津軽波岡森宗	1 口	昭31.5.14		個 人
	釣燈籠	1 個	昭31.5.14	百沢字寺沢	岩木山神社
	日本刀 銘相州住綱廣	1 口	昭31.5.14	百沢字寺沢	岩木山神社
	津軽信政公着用具足	1 領	昭31.5.14	高岡字獅子沢	高照神社
	日本刀 銘相州綱廣	1 口	昭37.11.16		個 人
	鰐 口 慶長九年奉納銘	1 個	昭38.4.10	十腰内字猿沢	巖鬼山神社
	短 刀 銘奥州津軽住國廣	1 口	昭41.5.25	下白銀町	弘前市
	金梨子地牡丹紋散蒔絵	1 口	昭44.12.15		個 人
	糸巻 太刀拵				
	津軽塗	8 点	平7.4.19	下白銀町	弘前市
	高照神社刀剣類	11口	平12.4.9	高岡字獅子沢	高照神社
	津軽漆塗手板	514枚	平15.4.14	下白銀町	弘前市
	津軽塗 (変わり塗) 五段重箱	2 点	平16.7.16		個 人
	及び弁当箱				

彫 刻	舞楽面	3 面	昭31. 5. 14	百沢字寺沢	岩木山神社
	木彫阿弥陀如来立像	1 軀	昭31. 5. 14	新寺町	西光寺
	薬師如来三門本尊	1 軀	昭32. 1. 11	西茂森 1 丁目	長勝寺
	津軽為信木像	1 軀	昭32. 1. 11	西茂森 1 丁目	長勝寺
	十一面観世音立像	1 軀	昭33. 6. 25	新寺町	袋宮寺
	地藏菩薩像（円空仏）	1 軀	昭37. 6. 29	新寺町	西福寺
	十一面観音像（円空仏）	1 軀	昭37. 6. 29	新寺町	西福寺
	阿弥陀如来像	1 軀	昭37. 6. 29	下白銀町	吉祥寺
絵 画	絹本著色当麻曼荼羅図	1 幅	平 3. 3. 13	新寺町	貞昌寺
	新井晴峰筆	1 双	平16. 1. 21	下白銀町	弘前市
	紙本著色観桜観楓図屏風				
	紙本著色	5 巻	令 2. 9. 4	下白銀町	弘前市
	弘前八幡宮祭礼図巻				
書 跡	絹本著色阿弥陀如来像	1 幅	令 5. 4. 12	新寺町	法源寺
	久祥院殿写経	8 冊	昭30. 1. 7	西茂森 2 丁目	隣松寺
考古資料	蔵手刀	1 口	昭31. 5. 14	田町 4 丁目	熊野奥照神社
	大森勝山遺跡出土の旧石器	10点	平15. 4. 14	下白銀町	弘前市

〈無形文化財〉

	根笹派大音笹流錦風流尺八	3 人	昭56. 6. 23 平23. 4. 6 2人追加認定 令 5. 4. 12 1人追加認定	弘前市	
--	--------------	-----	---	-----	--

〈記念物〉

名 勝	貞昌寺庭園	1 件	平14. 7. 11	新寺町	貞昌寺
天然 記念物	大杉	2 本	昭31. 5. 14	十腰内字猿沢	巖鬼山神社
	燈明杉	1 本	平 5. 4. 16	大沢字堂ヶ平	大沢町会
	向外瀬のモクゲンジ	1 本	平 9. 5. 14	向外瀬 4 丁目	個 人
	天満宮のシダレザクラ	1 本	平10. 4. 22	西茂森 1 丁目	天満宮
	鬼沢のカシワ（鬼神腰掛柏）	1 本	平10. 4. 22	鬼沢字猿沢	鬼神社
	百沢街道および高岡街道の松並木	1 件	平11. 4. 21	百沢ほか	青森県・弘前市
	革秀寺のサルスベリ	1 株	平28. 4. 6	藤代 1 丁目	革秀寺
	弘前公園のアイグロマツ	1 本	平28. 4. 6	下白銀町	弘前市
	弘前公園のネズコ	1 本	平28. 4. 6	下白銀町	弘前市
	弘前公園最長寿のソメイヨシノ	1 本	平28. 4. 6	下白銀町	弘前市

〈有形民俗文化財〉

	高照神社奉納額絵馬	54枚	平 2. 8. 3	高岡字神馬野	弘前市
--	-----------	-----	-----------	--------	-----

〈無形民俗文化財〉

	津軽神楽（記録選択）	1 件	昭31. 5. 14	常盤坂 2 丁目	津軽神楽保存会
	種市獅子（鹿）踊	1 件	昭36. 1. 14	種 市	種市獅子同好会
	一野渡獅子（熊）踊	1 件	昭36. 1. 14	一野渡	一野渡獅子会
	大沢獅子（熊）踊	1 件	昭37. 1. 12	大 沢	大沢獅子舞保存会
	悪戸獅子（熊）踊	1 件	昭37. 1. 12	悪 戸	悪戸獅子舞保存会
	津軽の七日堂祭	1 件	令 4. 4. 13	百沢字寺沢	岩木山神社百沢町会氏子
				鬼沢字菖蒲沢	鬼神社氏子総代

(8) 市指定文化財

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者
建 造 物	黒 門	1 棟	昭53. 3. 30	西茂森 1 丁目	長勝寺
	栄螺堂	1 棟	昭54. 2. 1	西茂森 2 丁目	蘭庭院
	藤原信政公霊所 瑞垣・柵	2 棟	昭61. 1. 8	高岡字神馬野	個 人
	揚亀園揚亀庵	1 棟	平 2. 10. 20	亀甲町	個 人
	高照神社文庫	1 棟	平 7. 11. 9	高岡字神馬野	高照神社
	乳井神社社殿 (旧毘沙門堂)	1 棟	平10. 11. 27	乳井字外ノ沢	乳井神社
	高照神社神饌殿	1 棟	平13. 10. 15	※解体保存中	高照神社
	旧小山内家住宅	1 棟	平13. 11. 9	清水富田字寺沢	弘前市
	旧青森銀行津軽支店	1 棟	平14. 1. 30	百石町	弘前市
	旧藤田家住宅	1 棟	平18. 3. 24	御幸町	弘前市
	平川家住宅	1 棟	平29. 4. 14	若党町	弘前市
	普門院本堂	1 棟	令 3. 5. 25	西茂森 2 丁目	普門院
工 芸 品	弘前城館神厨子堂	1 基	昭38. 3. 20	下白銀町	個 人
	大太刀 (大小揃のうち大)	1 口	昭39. 6. 5	八幡町 1 丁目	弘前八幡宮
	大太刀 (大小揃のうち小)	1 口	昭39. 6. 5	八幡町 1 丁目	弘前八幡宮
	大薙刀 (拵付)	1 口	昭39. 6. 5	八幡町 1 丁目	弘前八幡宮
	日本刀 (来國吉)	1 口	昭44. 8. 2		個 人
	日本刀 (森宗)	1 口	昭44. 8. 2		個 人
	鉄 鐔 (正阿弥)	1 枚	昭46. 7. 22		個 人
	大脇差 (来國吉)	1 口	昭49. 10. 26		個 人
	刀 (盛宗)	1 口	昭49. 10. 26	下白銀町	弘前市
	紺糸威具足 (兜付) 附櫃	1 領	昭51. 11. 27		個 人
	色々威黒漆塗具足 (兜付)	1 領	昭55. 9. 29	下白銀町	個 人
	紺糸威五枚胴具足 (兜付)	1 領	昭55. 9. 29	下白銀町	弘前市
	色々威胴丸 (兜・大袖付)	1 領	昭55. 9. 29	下白銀町	個 人
	紺糸威五枚胴具足 (兜・袖付)	1 領	昭56. 7. 13	下白銀町	個 人
	刀 (盛宗)	1 口	昭57. 1. 27		個 人
	刀 無銘	1 口	昭60. 2. 27	高岡字獅子沢	高照神社
	刀 (勝光)	1 口	昭60. 2. 27	高岡字獅子沢	高照神社
	刀 (獅吼)	1 口	昭60. 2. 27	高岡字獅子沢	高照神社
	刀 (千手院)	1 口	昭60. 2. 27	高岡字獅子沢	高照神社
	刀 (弘前住紀倫賀)	1 口	昭60. 2. 27	高岡字獅子沢	高照神社
	刀 (弘前住紀倫賀)	1 口	昭60. 2. 27	高岡字獅子沢	高照神社
	刀 (弘前住助宗)	1 口	昭60. 2. 27	高岡字獅子沢	高照神社
	脇差 (相州住綱廣 山城國住源綱廣)	1 口	昭60. 2. 27	高岡字獅子沢	高照神社
	脇差 (相模守来國吉)	1 口	昭60. 2. 27	高岡字獅子沢	高照神社
	脇差 (相州住廣次)	1 口	昭60. 2. 27	高岡字獅子沢	高照神社
	短刀 (吉光)	1 口	昭60. 2. 27	高岡字獅子沢	高照神社
	短刀 (大和守秀國)	1 口	昭60. 2. 27	高岡字獅子沢	高照神社
	脇差 (銘肥州河内守 藤原正廣)	1 口	昭60. 2. 27	高岡字獅子沢	高照神社
	刀 (津軽住人國俊)	1 口	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	脇差 (豊後住藤原行光)	1 口	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	劔 (撰津住源正久)	1 口	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社

工 芸 品	薙刀 (陸奥守包保)	1 口	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	薙刀 (陸奥大掾橘盛宗)	1 口	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	薙刀 (兼英)	1 口	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	平三角槍	1 口	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	鞍	1 具	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	梨地金蒔絵文台	1 具	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	梨地金蒔絵硯箱	1 具	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	銅製獅子耳花入	1 口	平 8. 12. 3	下白銀町	弘前市
	唐櫃	1 合	平15. 3. 28	高岡字獅子沢	高照神社
	能面	1 面	平15. 3. 28	下白銀町	弘前市
彫 刻	木造豊太閤坐像	1 軀	昭38. 3. 20	藤代1丁目	革秀寺
	木造十一面観音坐像	1 軀	昭38. 3. 20	石川字大仏	大仏院
	木造素木龍頭	1 頭	昭39. 6. 5	八幡町1丁目	弘前八幡宮
	木造不朱塗獅子頭	1 頭	昭39. 6. 5	八幡町1丁目	弘前八幡宮
	石造狛犬(阿吽)	1 対	昭39. 6. 5	八幡町1丁目	弘前八幡宮
	石造狛犬(阿吽)	1 対	昭49. 10. 26	田町4丁目	熊野奥照神社
	石造狛犬(阿吽)	1 対	昭50. 4. 17	桜庭字外山	多賀神社
	木造釈迦涅槃像	1 軀	昭53. 9. 30	新寺町	貞昌寺
	十一面観音像(円空仏)	1 軀	昭59. 2. 2	西茂森2丁目	普門院
	石造両界大日如来坐像	2 軀	昭62. 1. 21	津賀野字岡本	便心寺
	木造津軽信明坐像	1 軀	平 8. 12. 3	新寺町	報恩寺
	木造津軽寧親坐像	1 軀	平 8. 12. 3	新寺町	報恩寺
	木造津軽監物親守坐像	1 軀	平 8. 12. 3	新寺町	報恩寺
	木造伝覚範法印坐像	1 軀	平 8. 12. 3	新寺町	報恩寺
	木造笠原八郎兵衛坐像 附銘札	1 軀	平24. 4. 13	下白銀町	個人
	木造金剛力士立像	2 軀	令 6. 7. 29	銅屋町	最勝院
書 跡	弘前城の絵図	1 舗	昭38. 3. 20	下白銀町	弘前市
	神社微細社司由緒調書上帳	8 冊	昭38. 3. 20	銅屋町	最勝院
	津軽為信墨付	1 通	昭39. 6. 4	下白銀町	弘前市
	中臣祓	1 幅	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	源氏物語之詞	2 卷	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	衝立	1 基	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	近衛龍山筆津軽富姫弔歌	1 卷	平10. 11. 27	西茂森1丁目	藤先寺
絵 画	津軽為信公画像	1 幅	昭38. 3. 20	藤代1丁目	革秀寺
	紙本墨画淡彩松に虎の図	1 幅	昭56. 7. 13	下白銀町	弘前市
	屏風(新井常寛筆)	1 双	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	信政公葬送図絵巻	1 卷	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	甲州廿四将之図	1 幅	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	刺繍両界曼荼羅	2 幅	平11. 10. 27	笹森町	薬王院
	お山参詣図襖絵	4 面	平15. 3. 28	下白銀町	弘前市
	紙本著色元三大師縁起絵巻・ 慈眼大師縁起絵巻 附箱	9 卷	平26. 7. 4	新寺町	報恩寺
	絹本墨画淡彩反魂香之図 附箱・遊魂図説	1 幅	令 3. 5. 25	坂元字坂元	久渡寺

考古資料	文永の板碑	1 基	昭40. 9. 14	鬼沢字二千苅	個 人
	国吉板碑群	12 基	昭51. 11. 27	国吉字村元	国吉史跡保存会
	板 碑	2 基	昭53. 10. 30	城東中央4丁目	個 人
	三世寺板碑群	7 基	昭61. 11. 18	三世寺字色吉	弘前市三世寺小山 両地区神明宮史蹟 保存会
	板 碑	1 基	昭62. 1. 21	町田字山吹	大石大明神（石神 様）史蹟保存会
	熊野奥照神社板碑	1 基	昭63. 10. 14	田町4丁目	熊野奥照神社
	板碑 天満宮 永仁四年八月十日の板碑	1 基	平 3. 11. 30	兼平字山下	兼平天満宮
	板碑 天満宮 永仁四年八月の板碑	1 基	平 3. 11. 30	兼平字山下	兼平天満宮
	板碑 天満宮 康永三年の板碑	1 基	平 3. 11. 30	兼平字山下	兼平天満宮
	板碑 天満宮 紀年銘なし 種子パーンの板碑	1 基	平 3. 11. 30	兼平字山下	兼平天満宮
	板碑 天満宮 観応四年の板碑	1 基	平 3. 11. 30	兼平字山下	兼平天満宮
	板碑 天満宮 種子イーの板碑	1 基	平 3. 11. 30	兼平字山下	兼平天満宮
	板碑 天満宮 紀年銘なし 種子不明の板碑	1 基	平 3. 11. 30	兼平字山下	兼平天満宮
	板碑 伝一町田老岐守信建公の板碑	1 基	平 3. 11. 30	一町田字村元	個 人
	板碑 新岡、田中家地内 種子パンの板碑	1 基	平 3. 11. 30	新岡字山本	個 人
	板碑 建武二年の板碑	1 基	平 3. 11. 30	新岡字薬師	個 人
	板碑 伝安東義季一族の板碑	1 基	平 3. 11. 30	新法師字稔	個 人
	板碑 伝安東義季一族の板碑	1 基	平 3. 11. 30	新法師字稔	個 人
	板碑 新岡、八幡宮の板碑	1 基	平 3. 11. 30	新岡字山本	新岡八幡宮
	板碑 熊嶋、熊野宮の板碑	1 基	平 3. 11. 30	熊嶋字里見	熊嶋熊野宮
	板碑 永和二年の板碑	1 基	平 3. 11. 30	如来瀬字山田	如来瀬神明宮
	板碑 如来瀬、神明宮の板碑	1 基	平 3. 11. 30	如来瀬字山田	如来瀬神明宮
	乳井神社の板碑群	13 基	平 8. 12. 3	乳井	乳井神社
	外崎の板碑	2 基	平 8. 12. 3	城東北2丁目	弘前市
	薬師堂愛宕神社の板碑群	5 基	平10. 11. 27	薬師堂字熊本	薬師堂愛宕神社
	乳井古堂の板碑群	10 基	平10. 11. 27	乳井字茶臼館	個 人
	弘前八幡宮の板碑	1 基	平10. 11. 27	八幡町1丁目	弘前八幡宮
	小野家墓所の板碑	1 基	平10. 11. 27	田町3丁目	弘前八幡宮
	珠州焼経容器及び蓋石	2 点	平28. 11. 4	下白銀町	弘前市
	土偶（砂沢遺跡出土）	1 点	令 4. 10. 13	下白銀町	弘前市
	ヒスイ大珠（湯口長根遺跡出土）	2 点	令 4. 10. 13	樹木3丁目	弘前市
歴史資料	図像板碑	1 基	昭57. 1. 27	新 町	誓願寺
	刀 朱銘 延寿國時	1 口	昭60. 1. 24	下白銀町	弘前市
	餓死供養名号塔	1 基	平 2. 10. 20	東和徳町	専修寺
	餓死供養題目塔	1 基	平 2. 10. 20	東和徳町	専修寺
	貴田稲城奉納資料	1 式	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	弘前市
	国絵図・城絵図・布陣図等 旗指物（背旗）	1 旒	平 4. 1. 31	高岡字獅子沢	高照神社
	青面金剛像庚申塔	1 基	平 5. 4. 26	悪戸字村元	悪戸町会
	光明真言庚申塔	1 基	平 5. 4. 26	坂元字山下	坂元町会
古文書	お告書付	1 式	平 4. 1. 31	高岡字神馬野	高照神社
	高照神社収蔵古文書類	1 式	平15. 3. 28	高岡字神馬野	高照神社
無 形 （古武道）	卜傳流剣術	1 件	平21. 4. 15	春日町	卜傳流剣術保存会
	當田流剣術	1 件	令元. 11. 1	千年4丁目	當田流剣術保存会

無形民俗	石川獅子舞（熊）	1 組	昭40. 9. 14	石 川	石川獅子舞保存会
	鬼沢獅子踊（熊）	1 組	昭40. 9. 14	鬼 沢	鬼沢獅子踊保存会
	松森町津軽獅子舞	1 組	昭57. 7. 15	松森町	松森町津軽獅子舞保存会
	五代獅子舞	1 組	昭58. 9. 28	五 代	五代獅子舞保存会
	国吉獅子踊	1 組	昭60. 8. 24	国 吉	国吉獅子踊保存会
	鳥井野獅子踊	1 組	昭61. 1. 8	鳥井野	鳥井野獅子舞保存会
	鬼沢のハダカ参り	1 組	平14. 3. 29	鬼 沢	鬼沢公民館
	鬼神社の七日堂祭 （二十九日堂祭）	1 組	平14. 3. 29	鬼 沢	鬼沢公民館
有形民俗	紙漉沢獅子舞	1 組	平27. 12. 24	紙漉沢	紙漉沢獅子舞保存会
	紙本淡彩四季農耕の図 聖観音石像	1 双 1 軀	昭41. 1. 4 昭57. 1. 27	下白銀町 新 町	弘前市 誓願寺
史 跡	吉田松陰来遊の地 附松陰室	262.72 m ²	昭53. 2. 1	元長町	養生会
	曹洞宗津軽山草秀寺	18,807. 41m ²	昭60. 1. 24	藤代1丁目	草秀寺
	堂ヶ平経塚	53,041 m ²	平28. 11. 4	大沢字堂ヶ平	大沢町会
天 然 記 念 物	五本杉	1 本	平10. 11. 5	百沢字寺沢	岩木山神社
	シダレザクラ	1 本	平10. 11. 5	高岡字神馬野	高照神社
	ウラジロモミ	1 本	平10. 11. 5	高岡字神馬野	高照神社
	サワラ	1 本	平10. 11. 5	高岡字神馬野	高照神社
	石割ナラ及びハリギリ	2 本	平10. 11. 5	八幡字長沢	八幡町会
	コブシ	1 本	平10. 11. 5	新法師字稔	個 人

（文化財課調べ）

6 総合学習センター

多様化、高度化する学習ニーズに応え、市民の主体的な生涯学習を推進する中核施設として建設された。

弘前市立東部公民館、弘前市学習情報館（生涯学習課）、弘前市教育センター、市民課城東分室の4つの機能からなる複合施設で、学・社の密接な連携により得られる効果が期待されている。

（１）全体の概要

所在地	弘前市大字末広4丁目10番地1
開館	平成7年10月1日
規模	敷地面積 6,473.67 m ² 建築面積 2,625.74 m ² 延床面積 5,882.80 m ²
構造	鉄筋コンクリート造、地上4階、塔屋1階（展望室）
総工事費	20億円
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	年末年始

（２）各施設の事業の概要

（ア）東部公民館

地区公民館として、各種学級、教室、講座、サークル団体活動などの公民館事業を行っている。

（イ）学習情報館

市民の生涯学習活動の充実を図る施設として、施設全体の運営、貸館業務、ICT講座の開催及び学習情報の収集と学習相談に関する業務を行っている。

（ウ）教育センター

子どもに関する相談支援をはじめとし、教育に関する調査研究、教職員研修、就学支援に係る事業等を行っている。

教育相談機関として「相談支援チーム」を設置している。また、小・中学生を対象とした適応指導教室「フレンドシップルーム」、子どもの学びの場を支援する教育支援委員会事務局「就学支援室」を備えている。就学前幼児を対象に言語等の指導支援をする「幼児ことばの教室」が、土手町施設老朽化により令和6年度から3年間の予定で4階第2～5研修室へ一時移転している。

（エ）市民課城東分室

住民票や戸籍関係、印鑑登録証明書などの各種証明書類の交付業務を行っている。

施設の利用状況（令和６年４月１日～令和７年３月３１日）

区 分	階別	施 設 名	利 用 件 数（件）			利 用 人 員 （人）
			有 料	免 除 無 料	計	
東部公民館	１階	小会議室、中会議室	318	1,180	1,498	33,702
	２階	集会室、茶室、調理実習室、多目的ホール				
学習情報館	２階	大会議室、セミナー室、視聴覚室、工芸室	404	616	1,020	29,430
	３階	コンピュータ研修室				
教育センター	３階	第１研修室	306	105	411	6,502
	４階	第２・３・４・５研修室、科学研修室 （幼児ことばの教室一時移転のため、第２～５研修室は利用を休止している）				
合 計			1,028	1,901	2,929	69,634
月 平 均			86	158	244	5,803

（学習情報館調べ）

※数値等出典「令和７年度教育年報（原稿資料）」

選 挙

- 1 選挙人名簿登録者数の推移 …… 141
- 2 市議会議員一般選挙の状況 …… 141
- 3 市議会議員補欠選挙の状況 …… 141
- 4 各種選挙の状況 …… 142

1 選挙人名簿登録者数の推移

(6月1日登録者 単位:人)

年	男	女	総 数
令 3	66,078	79,227	145,305
4	65,376	78,465	143,841
5	64,630	77,452	142,082
6	63,852	76,389	140,241
7	62,902	75,487	138,389

2 市議会議員一般選挙の状況

(単位:%、人)

執 行 年 月 日	投票率	定 数	立候補者数	当 選 者 得 票 数	
				最 高	最 低
平 27. 4. 26	47.88	28	36	3,501	1,381
平 31. 4. 21	47.93	28	36	4,030	1,546
令 5. 4. 23	42.92	28	34	2,643	1,247

3 市議会議員補欠選挙の状況

(単位:%、人)

執 行 年 月 日	投票率	選挙する数	立候補者数	当 選 者 得 票 数
平 30. 4. 8	53.31	1	2	51,397
令 4. 4. 10	53.30	2	3	28,842 19,551

4 各種選挙の状況

(単位: %、人)

選 挙 名		執 行 年 月 日	有 権 者 数	投 票 者 数	投 票 率
市 議 会 議 員 (一 般)		平 31. 4. 21	145,272	69,627	47.93
		令 5. 4. 23	139,727	59,972	42.92
市 議 会 議 員 (補 欠)		平 30. 4. 8	147,061	78,402	53.31
		令 4. 4. 10	141,694	75,519	53.30
市 長		平 30. 4. 8	147,061	78,532	53.40
		令 4. 4. 10	141,694	75,569	53.33
県 知 事		令 元. 6. 2	145,271	53,294	36.69
		令 5. 6. 4	139,799	76,069	54.41
県 議 会 議 員		平 31. 4. 7	145,519	64,049	44.01
		令 5. 4. 9	139,939	56,376	40.29
衆議院 議 員	小選挙区	令 3. 10. 31	144,373	75,745	52.46
		令 6. 10. 27	139,123	72,985	52.46
	比例代表	令 3. 10. 31	144,373	75,744	52.46
		令 6. 10. 27	139,123	72,949	52.43
参議院 議 員	選 挙 区	令 元. 7. 21	147,262	62,438	42.40
		令 4. 7. 10	143,506	69,065	48.13
	比例代表	令 元. 7. 21	147,262	62,433	42.40
		令 4. 7. 10	143,506	69,054	48.12

消防団・防災

1	消	防	団	143					
	(1)	組	織	機	構					
	(2)	消	防	水	利	施	設	の	状	況
2	防	災	144						
	(1)	地	域	防	災	計	画			
	(2)	主	な	災	害	の	概	要		

1 消 防 団

(1) 組織機構

弘前市 消防団長 〔団長〕(1)	副団長 〔団長〕(1) 第1方面団長兼務	第1方面団 方面副団長 〔副団長〕(1)	4地区団 地区団長〔副団長〕(4) 地区副団長〔分団長〕(4)	16分団(東3、西4、南5、北4) 分団長(16)、副分団長(16)、部長(16)、 班長(32)、団員(179)
	副団長 〔団長〕(1) 第2方面団長兼務	第2方面団 方面副団長 〔副団長〕(1)	6地区団 地区団長〔副団長〕(6) 地区副団長〔分団長〕(6)	31分団(清水4、豊田3、和徳6、堀越5、千年8、石川5) 分団長(31)、副分団長(31)、部長(31)、 班長(62)、団員(379)
	副団長 〔団長〕(1) 第3方面団長兼務	第3方面団 方面副団長 〔副団長〕(1)	5地区団 地区団長〔副団長〕(5) 地区副団長〔分団長〕(5)	38分団(藤代9、船沢9、高杉6、裾野7、新和7) 分団長(38)、副分団長(38)、部長(38)、 班長(76)、団員(429)
	副団長 〔団長〕(1) 第4方面団長兼務	第4方面団 方面副団長 〔副団長〕(1)	3地区団 地区団長〔副団長〕(3) 地区副団長〔分団長〕(3)	18分団(岩木南5、岩木東5、岩木西8) 分団長(18)、副分団長(18)、部長(18)、 班長(36)、団員(282)
	副団長 〔団長〕(1) 第5方面団長兼務	第5方面団 方面副団長 〔副団長〕(1)	2地区団 地区団長〔副団長〕(2) 地区副団長〔分団長〕(2)	8分団(東目屋4、相馬4) 分団長(8)、副分団長(8)、部長(8)、 班長(16)、団員(170)
			本部 本部付隊長〔副団長〕(5)	女性分団分団長(1)、副分団長(1) 部長(1)、班長(2)、団員(25)
団長 (1名)	方面団長 (5名)	方面副団長 (5名)	本部・20地区団 (45名)	111分団 (2,024名)

※ ()内は定員、[]は階級を示す。(令和7年4月1日現在)

(2) 消防水利施設の状況

(単位：箇所)

消 火 栓		防 火 水 槽	計
地 上 式	地 下 式		
6 2 6	1 , 8 7 2	7 4 4	3 , 2 4 2

(令和7年4月1日現在)

2 防 災

(1) 地域防災計画

① 弘前市地域防災計画

平成19年2月に作成し、関係法令等の改正などに伴い、令和5年12月に修正した。

※ 弘前市水防計画（平成20年2月作成）

② 弘前市防災行政無線の設置状況

(ア) デジタル同報系無線

呼出名称	固定局	再送信局	屋外子局	屋外子局 戸別受信機
ぼうさいひろさきしやくしょ こうほう	1基	4基	130基	35基

(イ) デジタル移動系無線

呼出名称	基地局	中継局	車載局	半固定局	携帯局
ぼうさいひろさき	1基	3基	46基	20基	124基

※1 平成25年から平成27年にかけてアナログ方式からデジタル方式へ変更・統合。

③ 災害対策本部組織機構図



	健康こども部 (健康こども部長)	班名	班長	班員
		こども家庭班	こども家庭課長	こども家庭課職員
		国保年金班	国保年金課長	国保年金課職員
		健康増進班	健康増進課長	健康増進課職員
		地域医療班	地域医療課長	地域医療課職員
		スポーツ振興班	スポーツ振興課長	スポーツ振興課職員
	農林部 (農林部長)	班名	班長	班員
		農政班	農政課長	農政課職員
		りんご班	りんご課長	りんご課職員
		農村整備班	農村整備課長	農村整備課職員
	商工部 (商工部長)	班名	班長	班員
		商工労政班	商工労政課長	商工労政課職員
		産業育成班	産業育成課長	産業育成課職員
	観光部 (観光部長)	班名	班長	班員
		観光班	観光課長	観光課職員
		国際広域観光班	国際広域観光課長	国際広域観光課職員
		文化振興班	文化振興課長	文化振興課職員
	建設部 (建設部長)	班名	班長	班員
		土木班	土木課長	土木課職員
		道路維持班	道路維持課長	道路維持課職員
		建築住宅班	建築住宅課長	建築住宅課職員
		建築指導班	建築指導課長	建築指導課職員
	都市整備部 (都市整備部長)	班名	班長	班員
		都市計画班	都市計画課長	都市計画課職員
		地域交通班	地域交通課長	地域交通課職員
		公園緑地班	公園緑地課長	公園緑地課職員
	岩木連絡部 (岩木総合支所長)	班名	班長	班員
		岩木総務班	総務課長	総務課職員
		岩木民生班	民生課長	民生課職員
	相馬連絡部 (相馬総合支所長)	班名	班長	班員
		相馬総務班	総務課長	総務課職員
		相馬民生班	民生課長	民生課職員
	上下水道部 (上下水道部長)	班名	班長	班員
		上下水道班	総務課長	総務課職員
			営業課長	営業課職員
			工務課長	工務課職員
			上水道施設課長	上水道施設課職員
			下水道施設課長	下水道施設課職員

	教育部 (教育部長)	班名	班長	班員
		教育総務班	教育総務課長	教育総務課職員
		学校整備班	学校整備課長	学校整備課職員
		学務健康班	学務健康課長	学務健康課職員
		給食班	学務健康課長 東部学校給食センター所長 西部学校給食センター所長	学務健康課職員 東部学校給食センター職員 西部学校給食センター職員
		学校指導班	学校指導課長	学校指導課職員
		教育センター班	教育センター所長	教育センター職員
		生涯学習班	生涯学習課長 各社会教育施設等館長	生涯学習課職員 各社会教育施設等職員
		文化財班	文化財課長	文化財課職員
	消防部 (消防長)	班名	班長	班員
		消防班	警防課長 消防団長	弘前地区消防事務組合職員 消防団員
	農委連絡部 (農業委員会事務局長)	班名	班長	班員
		農委連絡班	事務局次長	農業委員会事務局職員
	河川等特別対策部 (本部長が指定する部長)	班名	班長	班員
		第1班	部長が指定する建設部課長	当該課職員
		第2班	部長が指定する農林部課長	当該課職員

(2) 主な災害の概要

(単位：戸、千円、人)

区 分	名 称	来 襲 月 日	全半壊 家 屋	浸 水 家 屋		被 害 額	死者	負傷者
				床 上	床 下			
昭和33年	集 中 豪 雨	8. 11				1,355,859	3	92
"	台 風 2 1 号	9. 17	54	1,567	1,484	375,822	—	11
44年	台 風 9 号	8. 23	50	833	1,279	37,489	—	—
47年	豪 雨	7. 8	—	25	97	294,421	—	—
49年	低 気 圧	9. 9	—	40	80	131,106	—	—
50年	集 中 豪 雨	8. 6	—	59	346	6,247,784	22	45
"	集 中 豪 雨	8. 20	37	144	703	9,497,057	—	3
52年	集 中 豪 雨	8. 5	77	1,403	2,190	11,771,582	9	20
56年	台 風 1 5 号	8. 23	90	2,051	3,178	5,072,721	—	5
58年	日 本 海 中 部 地 震	5. 26	4	199	209	1,963,868	—	—
平成2年	台 風 1 9 号	9. 20	22	—	—	1,072,922	—	—
3年	台 風 1 9 号	9. 28	—	16	53	61,112,738	5	15
5年	大 雨	7. 28	361	—	—	—	—	—
9年	低 気 圧	5. 8	—	—	2	544,678	—	—
11年	台 風 1 8 号	9. 24	—	1	16	1,897,081	—	—
		～25	—	—	—			
14年	大 雨	8. 6				—	—	—
		～7	—	—	3			
"	前線による大雨	8. 10				347,905	—	—
		～12	—	1	14			
15年	台 風 1 4 号	9. 13				3,851,644	—	2
		～14	—	—	—			
16年	台 風 1 5 号	8. 19				414,519	—	—
		～20	—	—	—			
"	台 風 1 6 号	8. 30				165,479	—	—
		～31	—	—	—			
"	台 風 1 8 号	9. 7				4,123,516	—	—
		～8	3	—	—			
"	台 風 2 1 号	9. 29				508,142	—	—
		～30	—	—	—			
17年	1月8日からの豪雪	1. 8				3,908,262	3	26
		～3.31	7	4	4			
18年	平成17年12月からの豪雪	12. 25				2,090,625	2	38
		～3.31	—	2	3			
23年	東北地方太平洋沖地震	3. 11				—	—	15
24年	平成23年12月からの豪雪	12. 6				—	3	57
		～3.29	—	1	3			
"	竜 巻	7. 5				—	—	1
25年	平成24年12月からの豪雪	12. 12	9	—	—	—	5	31
		～3.30	1	—	2			
"	台 風 1 8 号	9. 16				3,632,172	—	—
		～17	3	57	127			
27年	平成26年12月からの豪雪	12. 2				—	—	22
		～3.23	4	—	2			
令和4年	大 雨	8. 3				897,931	—	—
		～8.9	—	29	6			
7年	豪 雪	12. 23				6,858,000	2	37
		～3.28	—	—	—			

公 営 企 業

- 1 水 道 事 業 …… 149
 - (1) 沿 革
 - (2) 施 設 の 概 要
 - (3) 普 及 状 況
 - (4) 用 途 別 給 水 状 況
 - (5) 津軽広域水道用水供給事業
- 2 下 水 道 事 業 …… 152
 - (1) 施 設 の 概 要
 - (2) 業 務 の 状 況
 - (3) 整 備 普 及 状 況

1 水 道 事 業

(1) 沿 革

年 月	事 項
平成 18. 2.	弘前市、岩木町、相馬村による市町村合併
19. 3.	弘前市水道事業経営変更届出（弘前市水道事業と岩木水道事業を統合）
22. 4.	下水道三課と組織統合し、上下水道部として組織全体を刷新
28. 4.	弘前市水道事業変更認可（簡易水道事業を上水道事業に統合）

(2) 施設の概要

区 分	概 要
上水道	取水施設 (19) 樋の口浄水場 小杉沢水源地 一本木沢水源 新岡第1・2取水ポンプ場 葛原配水場 蔵助沢水源 百沢取水場 常盤野第1・2取水ポンプ井 上弥生取水場 杉山取水場 相馬1～4号取水井（相馬水源電気棟含む）相馬5・6号取水井 沢田浄水場
	浄水施設 (12) 樋の口浄水場 弥生送水ポンプ場 岩木中央配水場 葛原配水場 百沢配水場 百沢取水場 常盤野配水場 上弥生配水場 杉山配水場 相馬新低区浄水場 相馬低区配水場 沢田浄水場
	送水施設 (7) 樋の口浄水場 常盤坂増圧ポンプ場 富士見台送水ポンプ場 石川送水ポンプ場 乳井送水ポンプ場 弥生送水ポンプ場 相馬新低区浄水場
	配水施設 (21) 常盤坂配水池 常盤坂配水ポンプ場 清水富田配水ポンプ場 原ヶ平配水池 富士見台配水場 石川配水池 乳井配水池 西部高区配水池 西部低区配水池 大森配水池 岩木中央配水場 葛原配水場 百沢取水場 百沢配水場 東目屋浄水場 常盤野配水場 上弥生配水場 杉山配水場 相馬新低区配水場 相馬低区配水場 沢田浄水場
	小規模増 圧ポンプ 場 (16) 小沢第1～3増圧ポンプ場 狼森増圧ポンプ場 大和沢増圧ポンプ場 一野渡ラインポンプ場 小栗山増圧ポンプ場 下湯口増圧ポンプ場 貝沢加圧ポンプ場 細越加圧ポンプ場 大久保増圧ポンプ場 常盤野増圧ポンプ 太平森増圧ポンプ 坂市増圧ポンプ 紙坂増圧ポンプ 藍内増圧ポンプ

(3) 普及状況

上水道の普及状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
給水区域内人口(人)	167,061	164,831	162,666	160,019	157,987
現在給水人口(人)	163,588	161,601	159,512	156,944	154,975
給水戸数(戸)	75,650	75,449	75,523	75,265	75,077
普及率(%)	97.92	98.04	98.06	98.08	98.09
年間総配水量(千 m^3)	18,954	18,798	18,850	18,907	18,724
1日最大配水量(m^3 /日)	57,843	56,028	58,511	55,556	53,412
1日平均配水量(m^3 /日)	51,931	51,501	51,643	51,658	51,299
1人1日最大配水量(ℓ)	353	347	367	354	338
1人1日平均配水量(ℓ)	317	319	324	329	325
年間総有収水量(千 m^3)	16,785	16,638	16,314	16,069	16,149
有収率(%)	88.55	88.51	86.55	85.00	86.25
水源種別	表流水・湧水 地下水・受水 津軽ダム放流水	同 左	同 左	同 左	同 左

注) 平成28年4月1日に簡易水道事業を上水道事業に統合
「令和6年度 決算書」より

(4) 用途別給水状況

(単位: 千 m^3)

年 度	年間有収水量	用 途 別		1 日 当 た り 有 収 水 量
		一 般 用	浴場・プール用	
令和2	16,785	16,670	115	46.0
3	16,638	16,502	136	45.6
4	16,314	16,177	137	44.7
5	16,069	15,917	152	43.9
6	16,149	15,997	152	44.2

(営業係調べ)

(5) 津軽広域水道用水供給事業

津軽地域の将来における水道用水の水量確保のため、3市6町2村を計画地域に定め、新規水源を建設省（現 国土交通省）が岩木川水系浅瀬石川に建設した浅瀬石川ダムに求め、昭和49年に「浅瀬石ダム水道企業団（昭和55年、名称を津軽広域水道企業団に変更）」が設立され、構成市町村が一致協力して水道用水供給事業を実施し、安定した生活用水の供給を図ることとした。

本水道用水供給事業は、昭和63年11月1日から構成11市町村（現9市町村）へ水道用水の供給を開始し、当初の過大な先行投資を避けるため、第1期工事として浄水施設能力を当初計画の半分の61,750m³とした。第2期工事として、浄水施設能力を30,875m³高め、現在の浄水施設能力は、当初計画の3/4の1日最大92,625m³となっている。

津軽圏域中央部広域的水道整備計画の変更により、令和3年度から西北事業部（つがる市、五所川原市市浦地区）へ新たに用水供給を開始した。

＜計画主要諸元＞

項	目	内	容
事業名		津軽広域水道企業団水道用水供給事業	
事業主体		津軽広域水道企業団津軽事業部 （平成5年11月西北地域水道企業団と合併により、事業部制を採用）	
水道用水供給事業経営認可年月日		平成22年3月12日 （当初昭和49年8月7日、変更平成6年3月30日）	
津軽圏域中央部広域の水道整備 変更計画策定年月日		平成20年10月9日（当初昭和54年策定）	
計画目標年次		平成35年度（当初目標年次平成7年度）	
給水対象市町村		弘前市 黒石市 五所川原市 つがる市 平川市（旧平賀町、 旧尾上町） 青森市（旧浪岡町） 藤崎町 田舎館村 板柳町 鶴田町（6市3町1村）	
計画給水人口		397,665人	
計画全体日最大給水量		180,230m³ うち企業団給水分 123,500m³ 自己水源給水量 56,730m³	
計画1人1日最大給水量		453ℓ	
計画日最大取水量		132,800m³（津軽事業部取水分）	
施工年次		昭和49年度～平成5年度 第1期工事 昭和56年度～平成元年度 第2期工事 平成2年度～平成5年度	
給水開始年月日		昭和63年11月1日	
水源の種類別		特定多目的ダム浅瀬石川ダム貯留水	
総事業費		約446億円	

＜令和 6 年度受水者別 1 日平均給水量＞

(単位: $\text{m}^3/\text{日}$)

弘前市	15,755	平川市	6,745	鶴田町	3,838
黒石市	6,682	青森市(浪岡)	4,700	西北事業部	9,091
五所川原市	9,302	田舎館村	1,770		
藤崎町	4,041	板柳町	3,477		

2 下水道事業

本市における下水道は、市街地及びその周辺を岩木川流域関連公共下水道及び特定環境保全公共下水道で整備を進めている。これを除く農村地域は、農業集落排水事業及び小規模集合排水処理施設整備事業によって行っている。令和5年度末現在の普及率は、公共下水道事業及び特定環境保全公共下水道事業が86.0%、農業集落排水事業及び小規模集合排水処理施設整備事業が11.7%となっており、合わせると97.7%となっている。※弘前市下水処理場については平成27年4月1日より隣接する県管理の岩木川浄化センターへ施設統合し、処理機能を廃止している。

(1) 施設の概要

区 分	概 要	
公共下水道	処理場(1)	湯口浄化センター
	ポンプ場(4)	城西中継ポンプ場 桜ヶ丘中継ポンプ場 城東中継ポンプ場 堀越中継ポンプ場
特定環境保全 公共下水道	処理場(2)	百沢浄化センター 常盤野浄化センター
農業集落排水等	農業集落排水処理 施設(13)	東目屋 高杉 船沢 新和鬼檜 裾野新和北 八幡 新岡 大久保 鳥井野 新法師 紙漉沢 一丁木 藍内
	小規模集合排水処 理施設(1)	沢田

(2) 業務の状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年間総処理水量(m³)	21,607,424 *19,946,198	22,722,424 *20,131,116	21,127,712 *19,910,534	21,235,400 *19,192,003
一日平均処理水量(m³)	59,198	62,253	57,726	58,020
年間有収水量(m³)	16,231,909	15,831,303	15,611,086	15,736,022
有収率(%)	81.4	78.6	78.4	82.0
行政人口(人)	164,831	162,666	160,019	157,987
処理区域人口(人)	160,980	158,853	156,313	154,391
普及率(%)	97.7	97.7	97.7	97.7
水洗化人口(人)	147,236	145,559	143,386	141,835
水洗化率(%)	91.5	91.6	91.7	91.9

*雨水を含まない総処理水量

「令和6年度 決算書」より

(3) 整備普及状況

① 公共下水道事業

流域及び 特環の別	処理区名	整備済面積 (ha)	行政人口A (人)	処理人口B (人)	水洗化人口C (人)	管渠延長 (km)	下水道普及率 B/A(%)	水洗化率 C/B(%)
流域関連 公共下水道	弘前処理区 (旧弘前市)	3346.7	131,309	128,296	122,367	748.4	97.7	95.4
	岩木処理区 (旧岩木町)	194.1	5,682	5,626	4,371	44.8	99.0	77.7
	弘前処理区 (旧相馬村)	57.0	1,779	1,779	1,707	19.1	100.0	96.0
特定環境保全 公共下水道	百沢処理区	30.7	485	412	114	10.0	84.9	27.7
	常盤野処理区	13.2	114	96	15	3.3	84.2	15.6
合計		3,641.7	139,369 *157,987	136,209	128,574	825.6	86.2 (Aは総人口)	94.4

* 区域外を含む総人口

(令和6年度末現在)

② 農業集落排水事業

処理区域名	事業年度	処理面積 (ha)	管延長 (km)	処理人口 (人)	普及率 (%)	水洗化率 (%)
東目屋	平5～平9	116.0	20.6	1,536	100.0	75.8
高杉	平6～平11	214.0	26.1	3,139	100.0	76.7
船沢	平9～平14	175.3	25.6	2,163	100.0	73.7
弥生	平27～平30	36.0	8.5	385	100.0	93.2
新和鬼楢	平12～平17	308.1	35.3	3,455	100.0	67.6
裾野新和北	平14～平22	291.3	46.3	3,439	100.0	61.7
八幡	平元～平4	75.0	10.0	1,003	100.0	85.1
新岡	平2～平5	40.0	8.5	644	100.0	71.1
大久保	平5～平7	4.0	0.7	48	100.0	79.2
鳥井野	平7～平11	64.3	10.9	1,035	100.0	74.4
新法師	平12～平15	39.8	4.9	331	100.0	73.7
紙漉沢	昭61～昭63	14.0	5.3	225	100.0	92.9
一丁木	昭63～平3	47.6	10.1	730	100.0	91.2
藍内	平3～平4	5.0	0.9	31	100.0	80.6
計		1,430.4	213.7	18,164	100.0	72.9

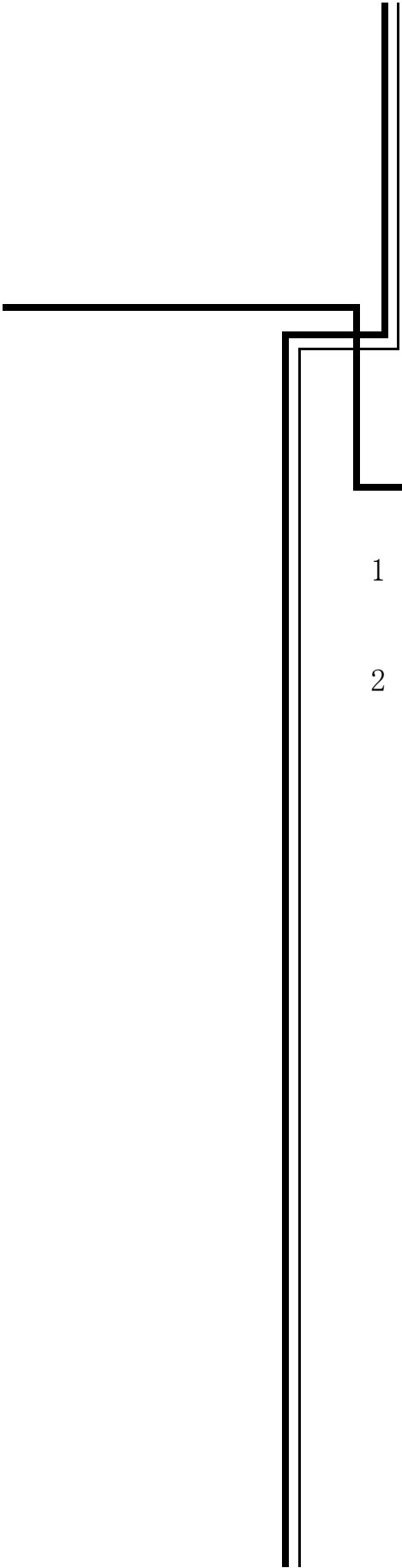
(令和6年度末現在)

③ 小規模集合排水処理施設整備事業

処理区域名	事業年度	処理面積 (ha)	管延長 (km)	処理人口 (人)
沢田	平8	3.5	0.6	18

(令和6年度末現在)

「令和6年度 決算資料」より



広域行政

- 1 広域行政の概要 155
- 2 圏域市町村の位置 156

1 広域行政の概要

令和7年4月1日現在

◎津軽広域連合（平成10年2月1日設立）

構 成 3市3町2村 弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村

〔事業内容〕

津軽広域連合は平成10年2月1日に圏域14市町村をもって全国で8番目、東北では初めての広域連合として設立されました。その後の市町村合併により、現在は8市町村により構成されています。

これまで、津軽広域連合では、広域計画ほか各種計画を策定し、介護認定審査及び障害支援区分判定審査、各種ソフト事業などのさまざまな事務事業を共同で実施しています。

また、平成28年4月から、圏域から排出されるし尿、浄化槽汚泥及び農業集落排水汚泥を処理するための施設「津軽広域クリーンセンター」の管理運営を行っています。

この広域連合制度は、多様化した行政需要に対応するとともに、国からの権限委譲の受け入れ体制の整備、また、既存の一部事務組合の統合など、広域行政の簡素化、効率化を図ることを目的に、平成6年に地方自治法が改正され創設された制度です。津軽広域連合は、関係市町村27万5千人（令和2年国勢調査より）余の圏域住民の理解を得て、それぞれの市町村の個性を生かし、連携をさらに深め、広域行政に取り組んでいます。

◎常 備 消 防

弘前地区消防事務組合（昭和46年4月1日発足）

構 成 弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村

※ 平成25年7月1日に、黒石地区消防事務組合、平川市消防本部、板柳町消防本部と統合しました。

◎ご み 処 理

弘前地区環境整備事務組合（昭和37年2月20日発足）

構 成 弘前市、平川市（旧平賀町、旧碓ヶ関村の区域に限る）、大鰐町、藤崎町（旧藤崎町の区域に限る）、板柳町、西目屋村

黒石地区清掃施設組合（昭和37年2月20日発足）

構 成 黒石市、青森市（旧浪岡町の区域に限る）、平川市（旧尾上町の区域に限る）、藤崎町（旧常盤村の区域に限る）、田舎館村

◎水 道 企 業 団

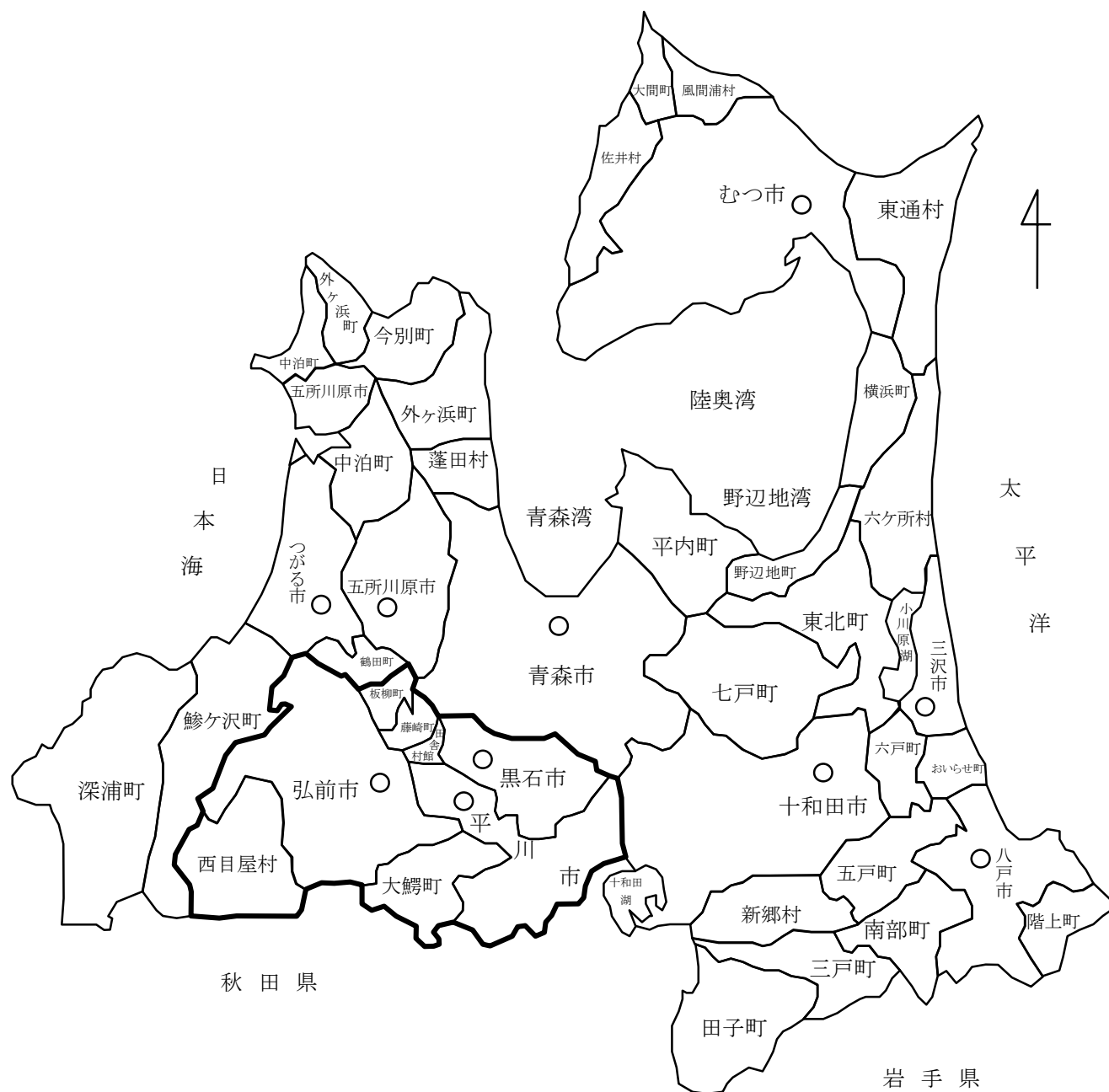
津軽広域水道企業団津軽事業部（昭和49年7月1日発足）

構 成 弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市（旧平賀町、旧尾上町の区域に限る）、青森市（旧浪岡町の区域に限る）、藤崎町、田舎館村、板柳町、鶴田町

久吉ダム水道企業団（昭和55年7月8日発足）

構 成 平川市（旧碓ヶ関村の区域に限る）、大鰐町

2 圏域市町村の位置



友 好 都 市

1	概	要	157
	(1)	北 海 道 斜 里 町		
	(2)	群 馬 県 太 田 市		

1 概 要

(1) 北海道 斜里町

斜里町は、北海道の最北東部に位置し、秀峰斜里岳を仰ぎ、北は雄大なオホーツク海に面し、東には、世界自然遺産の知床を擁し、東北海道を代表する観光地であります。また、小麦などの畑作を中心とした農業や、日本有数の水揚げを誇るさけ・ますを中心とした漁業と、知床を中心とした観光産業が、まちの主な産業として地域を支え、自然と調和したまちづくりをめざしております。

文化4年（1807年）の弘前藩士北方警備が縁となり、昭和58年2月に旧弘前市と友好都市の提携をし、これまで、小中学生のスポーツ交流や、特産品の販売を通じた経済交流など、多くの分野で交流の輪が広がりました。


特に、斜里町へ伝授された「弘前ねぷた」は、「しれとこ斜里ねぷた」として運行され、北海道の夏の風物詩の一つとなっております。

弘前市は、市町村合併により平成18年2月27日に新しい弘前市となったことから、平成18年11月15日に改めて友好都市提携盟約を結び、これまでと同様、包括的な交流を進めていくこととしています。

町 勢

区 分	面積(km ²)	人口(人)	世帯数(世帯)	気温(℃)		
				最高	最低	年平均
斜里町	737.13	10,353	5,463	34.7	-22.7	7.6

※ 人口、世帯数は令和7年6月30日現在。気温は令和6年。

区分	町 章	町 民 憲 章
斜 里 町	 <p>町名「シャリ」の文字を雄々しく羽ばたく鳥形に表現し、町勢の飛躍と発展をイメージしています。円は平和を表象したものです。 (昭和33年9月24日制定)</p>	<p>わたくしたちは、秀峰斜里岳を仰ぎ雄大なオホーツクと知床の自然にはぐくまれた斜里の町民です。</p> <p>わたくしたちは、先人が未開の地にいどんだ開拓の魂をうけつぎ、みんなで手をたずさえ産業の発展と平和で明るい豊かなまちを築くため責任と誇りをもってこの町民憲章を定めます。</p> <p>1 元気で働き、みんなで豊かなまちをつくりましょう 1 きまりを守り、みんなで明るいまちをつくりましょう 1 親切をつくし、みんなで平和なまちをつくりましょう 1 自然を愛しみんなで美しいまちをつくりましょう 1 文化を高めみんなで楽しいまちをつくりましょう (昭和43年9月17日制定)</p>

（２）群馬県 太田市

太田市は、群馬県東南部に位置し、市の南北に利根川、渡良瀬川が流れる自然に恵まれたまちであります。その歴史は古く、中世期には新田義貞がその名を留める新田一族が統治する新田荘として繁栄しました。

産業では、自動車産業を中心とした北関東を代表する工業都市であり、一方、全国有数の生産量を誇る大和芋を始め、紅こだま西瓜などの特産品があり、人・自然・産業・文化が調和した都市として知られております。


太田市尾島地区（旧尾島町）とは、関ヶ原の合戦の功績により、弘前藩に与えられた飛び地領の中心地であったことが縁となり昭和60年からねぷたを通じた交流が行われ、平成3年11月、友好都市の提携をし、これまで青少年交流や物産交流など、多くの分野で交流の輪が広がりました。特に8月14日、15日に行われている「尾島ねぷたまつり」は、北関東でも有数の夏まつりとして発展しております。

市町村合併により旧尾島町は平成17年3月28日に太田市となり、旧弘前市は平成18年2月27日に新しい弘前市となりましたが、平成18年11月15日に改めて友好都市提携盟約を結び、更なる交流の拡大を進めていくこととしています。

市 勢

区 分	面積(km ²)	人口(人)	世帯数(世帯)	気温(℃)		
				最高	最低	年平均
太田市	175.54	222,598	104,055	39.9	-7.1	16.6

※ 人口、世帯数は令和7年6月30日現在。気温は令和6年。

区分	市 章	市 民 憲 章
太 田 市	 <p>かつて、この地域を治めた新田氏の旗印である大中黒をベースに、右下に市名をひらがなで配置。大中黒に脈々と受け継がれる伝統と革新の精神を表現しています。 (平成17年6月28日告示)</p>	<p>わたくしたちは 豊かな自然と歴史のもとで 希望にみちた住みよいまちづくりを目指し 太田市の限りない発展に願いをこめて ここに市民憲章を定めます</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 自然を愛し 歴史を学び 文化を育てる まちをつくります 一 教養をふかめ からだをきたえ 人権を尊重する まちをつくります 一 力をあわせ 知恵をだし 豊かな まちをつくります 一 きまりをまもり 助け合い 明るい家庭で 楽しい まちをつくります 一 環境を大切にして 産業をおこし 生きがいのある まちをつくります <p>(平成18年3月28日制定)</p>

定住自立圏 構想の推進

- 1 定住自立圏構想の推進 …… 159
 - (1) 定住自立圏構想とは
 - (2) 「中心市宣言」
 - (3) 連携する周辺市町村
 - (4) 「定住自立圏形成協定」
 - (5) 「定住自立圏共生ビジョン」
 - (6) 今後の取組

1 定住自立圏構想の推進

(1) 定住自立圏構想とは

国の施策である定住自立圏構想は、人口 5 万人程度以上などの条件を満たす中心市と周辺市町村が、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する自治体間連携の取組です。

(2) 「中心市宣言」

平成23年 3 月23日、第 1 回弘前市議会定例会最終日の本会議終了後の議場において、市長が市民の代表である市議会議員を前に、定住自立圏の形成に向けて、圏域での中心的な役割を担うことを宣言しました。

(3) 連携する周辺市町村

古くから結びつきが深く、圏域形成の意思を有する、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村の 7 市町村と連携しています。

(4) 「定住自立圏形成協定」※¹

弘前市及び黒石市、平川市、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村は、平成23年 9 月の各市町村定例議会に定住自立圏形成協定の締結に関する議案を上程し、すべての議会で原案どおり議決され、平成23年10月12日付けで協定を締結しました。

藤崎町は、平成23年12月の町定例議会に定住自立圏形成協定の締結に関する議案を上程し、議会で原案どおり議決され、平成23年12月13日付けで協定を締結しました。

また、平成24年10月 3 日付けで 4 施策を追加、平成27年 1 月16日付けで 5 施策を追加、平成27年 9 月30日付けで連携施策の取組内容を拡充、平成28年11月 1 日付けで 1 施策を追加、平成29年10月 2 日付けで 1 施策を追加、平成31年 1 月 7 日付けで連携施策の取組内容を拡充、令和元年10月 2 日付けで 2 施策を追加、令和 2 年10月 1 日付けで連携施策の取組内容を拡充する定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結しました。

(5) 「定住自立圏共生ビジョン」※²

弘前市では、弘前圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会※³での検討、形成協定を締結した 7 市町村との協議を経て、圏域全体で目指す将来像とその実現のために必要な具体的取組等を示す「弘前圏域定住自立圏共生ビジョン」を平成24年 2 月29日に策定し、平成29年 3 月31日には「第 2 次弘前圏域定住自立圏共生ビジョン」を策定しました。

令和 4 年 3 月31日には「第 3 次弘前圏域定住自立圏共生ビジョン」を策定し、現在は21施策を実施しています。

(6) 今後の取組

弘前市と周辺市町村で連携する取り組みについて、進行管理を行うとともに、新たに連携して取り組む事業の追加を検討していきます。

※¹「定住自立圏形成協定」は、中心市宣言を行った中心市と、この中心市宣言に賛同した周辺市町村が、相互に役割を分担して人口定住に必要な都市機能や生活機能を確保・充実させ、圏域に住民が暮らし続けることができる定住自立圏を形成することに関して必要な事項を定めるものです。この協定の締結については、各市町村の議会において議決を受けた後、中心市と周辺市町村の 1 対 1 での締結となります。

※²「定住自立圏共生ビジョン」は、中心市宣言を行った中心市が、圏域を対象として、

将来像、形成協定に基づき推進する具体的取組などを記載するものです。

- ※3「弘前圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会」は、取組に係る民間団体や地域の関係者、圏域住民などで構成され、定住自立圏共生ビジョンの策定のために、幅広い意見を求め、検討・協議する場です。

ひろさき 市 政 概 要

令 和 7 年 版

令 和 7 年 10 月 発 行

編 集 ・ 発 行 弘 前 市 議 会 事 務 局

弘前市大字上白銀町1番地1

TEL 0 1 7 2 (3 5) 1 1 2 1
